文部科学省認可通信教育

2026年度第2学期

面接授業シラバス
北関東・甲信越ブロック版

開講期間：2026年10月17日（土）～2027年1月24日（日）

放送大学
教養学部

面接授業シラバス（面接授業時間割表ブロック版）のペーパーレス化について

2026 年度第 1 学期まで、学生の皆様には「面接授業時間割表ブロック版」冊子をお送りしておりましたが、SDGs の目標 12「つくる責任 つかう責任」の廃棄物の大幅削減、目標 15「陸の豊かさも守ろう」の森林の保護の達成に向け、本学の「面接授業時間割表ブロック版」冊子につきましては、原則として印刷物はお送りしないこととなりました。

2026 年度第 2 学期の面接授業シラバスなどの詳細は、下記のウェブサイトでご覧ください。また、システム WAKABA シラバス検索では、開講曜日やキーワードによる検索ができ、ご希望にかなう授業が見つけやすくなりますのでぜひご活用ください。

【面接授業ウェブサイト】
https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/2/syllabus/

【システム WAKABA シラバス検索】
https://www.wakaba.ouj.ac.jp/kyoumu/syllabus/

面接授業シラバスをウェブサイトでご覧いただくことが難しい方へ
ご所属の学習センターで印刷物を配付します。

1．受取方法
（1） 窓口
所属学習センターの窓口で配付します。開所日時にご注意ください。
（2）郵送
面接授業シラバスを送付してほしい旨を便箋等に記載し、「お届け先」を記入したレターパック（ライト）と一緒に、所属学習センターまでお送りください。
印刷物を封入して返送します。学習センター所在地は、本冊子巻末に記載しています。

2．期限
2026 年 8 月 15 日（土）から 2026 年度第 2 学期の科目登録申請が始まりますので、その前までに窓口又は郵送で受け取るようお願いします。これより遅くなると、科目登録申請期限までにお渡しできない可能性がありますのであらかじめご了承ください。

※ご所属以外のブロック版の印刷物を希望する場合
各ブロックの**太字・下線**で示している学習センターで取扱っておりますのでお手続きください。

ブロックは以下７つに分かれています。
・北海道・東北ブロック（北海道、青森、岩手、**宮城**、秋田、山形、福島）
・北関東・甲信越ブロック（茨城、栃木、**群馬**、新潟、山梨、長野）
・南関東ブロック（埼玉、千葉、東京渋谷、**東京文京**、東京足立、東京多摩、神奈川）
・東海・北陸ブロック（富山、石川、福井、岐阜、静岡、**愛知**、三重）
・近畿ブロック（滋賀、京都、**大阪**、兵庫、奈良、和歌山）
・中国・四国ブロック（鳥取、島根、岡山、**広島**、山口、徳島、香川、愛媛、高知）
・九州・沖縄ブロック（**福岡**、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄）

（ライブ Web 授業のシラバスは全てウェブ上で確認するようお願いしております。PDF、冊子は配付していませんのでご了承ください。）

【北関東・甲信越ブロック】の各学習センターで開設される2026年度第２学期面接授業のシラバスを掲載しています。各科目の授業概要や日程等の詳細をご確認ください。
科目登録の方法や履修にあたっての注意事項等は、「 2026年度第２学期面接授業開設科目一覧」でご確認ください。

なお、北関東・甲信越ブロック以外のシラバスは、大学ウェブサイトからご参照いただけますので、ぜひご利用ください。

●面接授業ウェブサイト
全ブロックの面接授業シラバスをPDFで公開しています。
https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/2/syllabus/

●WAKABAシラバス検索
科目名やフリーワードなどを条件指定し、放送授業・オンライン授業・面接授業・ライブWeb授業を横断的に検索することも可能ですので、ぜひご活用ください。
https://www.wakaba.ouj.ac.jp/kyoumu/syllabus/

目　　次

● シラバス
- 茨城学習センター …… 2
- 栃木学習センター …… 16
- 群馬学習センター …… 31
- 新潟学習センター …… 53
- 山梨学習センター …… 65
- 長野学習センター …… 78

● 各学習センター案内図 …… 90

【巻末資料】
● 追加登録申請書

科目コード	2690365
学習センター	茨城学習センター
学習センターコード	08A
クラスコード	K
科目名	**多読多聴で 英語を楽しもう2**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	120
定員	24名
担当講師	ウエダ　アツコ 上田　敦子 茨城大学教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 10月24日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	この授業は、【茨城学習センター及び★茨城大学図書館（1日目：第３時限)】で行います。

授業概要

【授業内容】
この授業では、かんたんな英語の本や素材を使っておこなう多読、多聴の体験を通して、自律的に英語を学べるようになるきっかけを作ります。かんたんな本を読んだり、シャドーイングをすることの意義を理解し、一人で、また、周りの人たちとの交流からも学べることを意識します。初心者から日々英語に触れている方まで、さまざまなレベルの方に参加していただけます。すでに多読や多聴を経験したことのある方も大歓迎です。

【到達目標】
過去の英語学習の記憶を利用しながら、英語に触れる時間を増やすことで、さまざまな「英語を使う」体験ができるようになる。
英語を自律的に学ぶ方法を知り、体験することで、受け身ではなく自立そして自律した学習者になる。
仮に多少理解が不完全だったり情報が曖昧だったとしても、そのまま受け入れたり、推測しながら、次に進めることができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 かんたんな英語をたくさん読む、聴くことの意義ーなぜ多読多聴が効果的か
第2回 かんたんな英語の本を読んでみよう（Graded Readers）
第3回 かんたんな英語の本を読んでみよう（Leveled Readers、絵本）
第4回 音声素材を聴いて、シャドーイングをしてみよう１
第5回 読んできた本について語り合おう
第6回 もっとシャドーイングをしてみよう２
第7回 読み聞かせ会の準備
第8回 読み聞かせ会（読み聞かせの発表）

【学生へのメッセージ】
やさしい英語で、読む／聴く　経験を積み、実際に使えるようになりましょう。正確さばかりを気にせずに、おおらかに、自信をもって、国際言語としての英語のフルーエンシーを高めましょう。

【受講前の準備学習等】
１－４時限目までで指示した内容について、５時限目（２日目）までに準備してきてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１日目の第３時限に、茨城大学の図書館を利用する予定です。そのため、必ず氏名、住所が明記された公的な身分証を持参してください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・英語多読入門ーやさしい本からどんどん読もう！（古川昭夫・上田敦子／コスモピア／¥1,980／ISBN=9784902091885）

【その他（特記事項)】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
2025年度第２学期に開講した科目を、基本的なレベルや考え方はそのまま、トピックや教材は変えて行います。以前履修した方も、初めての方も受講できます。

科目コード	2690373
学習センター	茨城学習センター
学習センターコード	08A
クラスコード	K
科目名	**楽しく学ぶ 中国語と中国文化**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	24名
担当講師	ニシノ　ユキコ 西野　由希子 茨城大学教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	茨城学習センター

授業概要

【授業内容】
中国文化のさまざまな話題・内容に触れながら、やさしく、楽しく中国語を学びます。初めて中国語に触れる方、もう一度学び直したい方のために、発音や文法の基礎からゆっくり練習していきましょう。ことばの背景にある文化・芸術・社会について理解を深め、楽しく学習が進められるよう応援します。意見交換や発言など参加型の授業として進めますので、ぜひ積極的な気持ちで受講してください。

【到達目標】
・中国語の発音、文法の基礎を学び、あいさつや、やさしい中国語の会話、読解ができるようになる。
・中国文化・芸術・社会について理解を深め、関心を持って今後の中国語の学習にいかすことができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 あいさつことば①：中国語の発音①母音、声調：中国文化（1）漢字のはなし
第2回 あいさつことば②：中国語の発音②子音：中国文化（2）料理と食事
第3回 文法①“是”の文章：中国語の発音③苦手をなくそう：中国文化（3）数字の意味
第4回 文法②動詞と目的語：中国語の発音④名前の練習：中国文化（4）季節の行事
第5回 文法③形容詞：会話①天気の話題：中国文化（5）ことばで遊ぶ
第6回 文法④“在”の文章：会話②場所を尋ねる：中国文化（6）テーマのある旅
第7回 文法⑤“有”の文章：会話③趣味を聞く：中国文化（7）歌で仲良く
第8回 文法⑥助動詞：会話④買い物する：中国文化（8）文学・映像作品を楽しむ

【学生へのメッセージ】
興味をもって、楽しく受講していただきたいです。グループやペアで練習をしたり、話し合いや意見交換をしたりしますので、積極的な参加をお願いします。受講生みんなで学びあい、知識や理解を深めていきましょう！

【受講前の準備学習等】
・中国語、中国文化に関し、興味のある分野について調べておいてください。
・授業で学習・紹介した内容について復習を行い、理解を深めていってください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具等

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・やさしくくわしい中国語文法の基礎 改訂新版（守屋宏則、李軼倫／東方書店／¥3,300／ISBN=9784497226020）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2690381
学習センター	茨城学習センター
学習センターコード	08A
クラスコード	K
科目名	**絵画表現入門**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	220
定員	20名
担当講師	カタグチ　ナオキ 片口　直樹 茨城大学教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 12月13日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	この授業は、【１日目は★茨城大学五浦美術文化研究所及び茨城県天心記念五浦美術館、２日目は茨城学習センター】で行います。

授業概要

【授業内容】
絵画表現には水彩画、日本画、油彩画、版画、ペン画など、様々な技法が存在します。本授業では、日本の伝統的な技法である日本画について、北茨城市五浦におけるフィールドワークを通して実地で体験的に学習します。同時に、日本の近代美術の父と呼ばれる岡倉天心（覚三）や五浦の作家（横山大観・菱田春草・下村観山・木村武山）について学びます。２日目は、茨城学習センターにおいて作品制作を行います。かつて日本独自の絵画表現の発展を目指した岡倉天心に思いを馳せつつ、現在の絵画表現について模索します。

【到達目標】
・岡倉天心や五浦・水戸ゆかりの作家を通して、絵画の基礎的な知識や技能を身につけることができる。
・様々な作家や作品に触れることで、自身の表現について思考を深め、絵画制作に生かすことができる。
・絵画表現の魅力に気づき、主体的に様々な絵画の表現・鑑賞活動に取り組むことができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 天心遺跡巡り：茨城大学五浦美術文化研究所（六角堂等）にて講義
第2回 岡倉天心と五浦の作家１：天心記念五浦美術館岡倉天心記念室にて講義
第3回 岡倉天心と五浦の作家２：天心記念五浦美術館講堂にて講義及び企画展鑑賞
第4回 絵画ワークショップ：五浦の自然をテーマとした共同演習
第5回 水戸の作家と絵画表現：横山大観を中心とした絵画表現の講義
第6回 絵画表現１（構想）：これまでの学習をもとに絵画自主制作の構想
第7回 絵画表現２（制作）：これまでの学習をもとに絵画自主制作の完成
第8回 絵画表現３（講評）：絵画自主制作講評会と絵画表現の考察・まとめ

【学生へのメッセージ】
本授業では、様々な活動を通して体験的に絵画表現に触れていただきます。１日目は北茨城市でのフィールドワークとなりますが、現地集合・解散となりますので、くれぐれもお気をつけてお越しください。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。特に、本授業での訪問先（茨城大学五浦美術文化研究所、茨城県天心記念五浦美術館）以外の美術館や画廊などに積極的に出向き、茨城の美術に留まらず様々な絵画表現に触れ、視野を広げておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１日目はフィールドワークですので、運動靴でお越しください。現地集合・解散となりますが、近隣の食堂が少ないため、特に自家用車をお持ちでない方は美術館のレストランを利用するか昼食の持参をお勧めします。美術館の展覧会鑑賞のため、入館料を徴収いたします。詳しくは美術館のHP等でご確認ください。
２日目の絵画制作では、汚れてもよい服装、またはエプロンなどの着用をお勧めします。お手持ちの画材があればお持ちいただくことになります。詳細は１日目にお伝えしますが、事前に購入する必要はございません。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・新訂増補　岡倉天心と五浦（森田義之・小泉晋弥　編／中央公論美術出版／¥3,080／ISBN=9784805508916）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
１日目は、９時50分に茨城大学五浦美術研究所（茨城県北茨城市大津町五浦727-２）入口前に集合してください。
公共交通機関をご利用の場合は、必ずご自身で研究所のHP等でアクセスを確認してください。最寄りの大津港駅から研究所までは徒歩で４０分～５０分ほどかかりますので、タクシーなどを利用されることをお勧めします。お車でお越しの際は、専用駐車場をご利用ください。現地までの往復交通費は各自負担となります。雨天決行です。
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.５参照）

科目コード	2690390
学習センター	茨城学習センター
学習センターコード	08A
クラスコード	K
科目名	**高齢期の社会関係**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	60名
担当講師	トガシ　ヒトミ 富樫　ひとみ 茨城キリスト教大学教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～17:00 10月18日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	茨城学習センター

授業概要

【授業内容】
高齢期は、家族が縮小したり仕事から引退したりして人間関係が変化する時期です。この高齢期の人間関係を社会学的視点から理解を深めます。講義の前半で、社会関係に関する基本的な理論である社会関係論や社会的行為論について講義します。後半では、それらの理論をもとにして、高齢期の人間関係を考えていきます。高齢期に遭遇する困りごとを具体的に想定して、社会関係作りをグループで話し合います。最後に弁論大会を開催して、グループの結論を発表していただきます。

【到達目標】
・社会関係に関する社会的相互行為論と社会関係資本論を理解することができる。
・高齢期に遭遇する社会的・福祉的問題を社会関係の視点から説明することができる。
・高齢期の社会関係を提案することができる。

【授業テーマ】
第1回 社会学の起こりと社会学における社会関係論
第2回 社会関係論と社会的相互行為
第3回 社会関係資本論
第4回 高齢期の社会・福祉的問題とグループ活動
第5回 高齢期の社会関係
第6回 高齢期の社会関係を考えるーグループ活動ー
第7回 高齢期の社会関係を考えるー弁論大会１ー
第8回 高齢期の社会関係を考えるー弁論大会２ー

【学生へのメッセージ】
皆さんは、将来どんな社会関係を作っているか意識されていますか。社会関係は一朝一夕には作れません。将来の高齢期を想像して、今から作れる社会関係を一緒に考えていきましょう。

【受講前の準備学習等】
・高齢期に遭遇する社会的・福祉的問題に関する報道などを、関心をもって見てみてください。
・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
・授業で学修した内容を復習して、理解を深めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
・インターネット検索ができる機器があると望ましいので、用意できる方は持参してください（スマートフォン・タブレット・ノートパソコン等）。学習センターでの無線LAN利用方法については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
・授業では、毎回、講義内容をプリント配付します。プリントへの書込みができるよう、筆記用具を持参してください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・『社会関係の理論』（田中義久／東京大学出版会／¥7,150／ISBN=9784130501729）
・実践ネットワーク分析　関係を解く理論と技法（安田　雪／新曜社／¥3,120／ISBN=9784788507814）
中古品でのみ入手可能です。
・ソーシャル・キャピタル　社会構造と行為の理論（ナン・リン（筒井淳也　他訳）／ミネルヴァ書房／¥3,960／ISBN=9784623051151）

科目コード	2690403
学習センター	茨城学習センター
学習センターコード	08A
クラスコード	K
科目名	**リスクコミュニケーション論**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	60名
担当講師	ナラ　ユミコ 奈良　由美子 放送大学教授
日程 実施時間	11月25日(水) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 11月26日(木) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	茨城学習センター

授業概要

【授業内容】
わたしたちが生きる現代について「現代はリスク社会である」との記述がしばしば用いられます。この記述の意味を論じるときには、①リスクの客観的な様相の局面、②リスクの主観的な認識の局面、そして③リスクへの対処の局面を考えなければなりません。この授業では、まずリスクの様相についておさえたうえで、主にリスクの認識（リスク認知）と対処の局面（リスクコミュニケーション）について具体的な事例を交えながら考えます。
【到達目標】
リスクマネジメントの実践にむすびつけるため、リスクコミュニケーションとは何かを理解したうえで、実際の事例を見ながら手法について知識を得たうえで、具体的な問題にあてはめて考察できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 緒言（授業の構成、授業のねらい、授業と評価の方法）
第2回 リスクの様相（リスク定義、リスクの本質、不確実性、リスクの分類、リスクの実際）
第3回 リスクの認知（1）（主観リスク、客観リスク、ヒューリスティック、認知バイアス）
第4回 リスクの認知（2）（リスクの受容、便益、ゼロリスク要求）
第5回 リスクの認知（3）（個体的要因、文化的・環境的要因、日本人のリスク観）
第6回 リスクコミュニケーション（1）（欠如モデル、リスクコミュニケーションの概念と目的、相互作用プロセス、技法）
第7回 リスクコミュニケーション（2）（信頼、伝統的信頼モデル、主要価値類似性モデル、リスクガバナンス、事例）
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
この授業では、いかに私たちがリスクを客観的には見ていないかということを理解します。さらに、立場の異なる人たちのあいだでリスクに対処するための手法の一つであるリスクコミュニケーションについて学びます。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び筆記試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2690411
学習センター	茨城学習センター
学習センターコード	08A
クラスコード	K
科目名	**持続可能な食生活**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	60名
担当講師	イシジマ　エミコ 石島　恵美子 茨城大学教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 11月29日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	茨城学習センター

授業概要

【授業内容】
本講義では、「持続可能な食生活」の重要性と実現に向けた具体的な方策を学びます。地球環境問題、食糧問題、健康問題といった現代社会の課題と、食生活の密接な関係性について解説します。さらに、持続可能な食生活を実現するための具体的な行動を提案します。それは、地産地消、旬の食材の活用、食品ロス削減、環境負荷の低い食材の選択、伝統食文化の継承、食育の推進など多岐に渡ります。グループワークの時間も設け、参加者皆様と積極的に議論を深めていきたいと考えています。
【到達目標】
講義を通して、食生活における自身の行動と、地球環境や社会全体への影響を理解し、未来世代に繋がる持続可能な食生活の実践の提言を説明できる。
【授業テーマ】
第1回 食生活の現代的な課題
第2回 食品ロスとエシカル消費
第3回 食品ロスの社会的な取り組み
第4回 食品ロスの協働的な取り組み
第5回 地域の食生活－茨城県を事例に－
第6回 健康的な食生活
第7回 安全な食生活
第8回 持続可能な食生活への提言
【学生へのメッセージ】
講義を受けるだけでなく、自身の身の回りの問題をみつめ、課題を設定し、解決方法を考えて実践できるよう、文献調査やグループワークで視野を広げてください。
【受講前の準備学習等】
身の回りの食生活の課題を考え、説明できるようにしておいてください。それについて、何が原因なのかジブンゴトにして考えておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2690420
学習センター	茨城学習センター
学習センターコード	08A
クラスコード	K
科目名	**人間の本質に基づく教育の可能性**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	60名
担当講師	オゴセ　トオル 生越　達 茨城大学教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～17:00 10月24日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	茨城学習センター

授業概要

【授業内容】
スクールカウンセラーとして子どもたちと関わっていると、彼ら／彼女らの自己肯定感の低さや、彼ら／彼女らが居場所を持てないでいることに気づきます。どうしてこのような事態が生じているのでしょうか。本授業においては、まずは子どもたちの問題行動に目を向け、なぜそのような行動が生じているのかを明らかにし、その後、原因が社会の在り方にあることを現代社会の特徴に触れながら明らかにします。最終的には、大人や地域社会はこのような事態に対していったいどうすることが求められるのか、受講生の方々と一緒に検討していきます。

【到達目標】
・子どもたちの問題行動がどのような背景で生じているのかを理解できるようになる。
・人間の本質について理解できるようになる。
・子どもたちの問題行動の背景に現代社会や教育政策の在り方がかかわっていることを理解し、私たち大人や地域社会のどのようなかかわりが求められているのか検討することができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 子どもたちの問題行動について考える～不登校・いじめを中心に
第2回 子どもたちの行動の意味を具体的なエピソードをとおして考える
第3回 学校状況について考える～多忙化がもたらしていること
第4回 教育政策と子どもに寄り添うことの困難について考える
第5回 人間の本質と教育～「つながり」を大切にするということを考える
第6回 現代社会と人間の本質～ダークトライアドやアイヒマン実験等を考える
第7回 子どもの自己肯定感を高めるために私たちにできることを考える
第8回 教育の可能性～全体のまとめ

【学生へのメッセージ】
難しい授業ではありません。受講生のみなさんとこれからの教育の可能性について一緒に考えることができたらと思っています。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
１日目の授業で学修した内容を復習し、理解を深めておいてください。これからの教育において何が大切か、考えがあれば、発表できるようにしておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689189
学習センター	茨城学習センター
学習センターコード	08A
クラスコード	K
科目名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ミズグチ　ススム 水口　進 元常磐大学教授
日程 実施時間	11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 11月15日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15
実施会場	茨城学習センター

授業概要

【授業内容】
人間の心は多面体です。人間の心を知るには多方面から光を当てる必要があります。その光が心理検査です。心理検査には性格検査、知能・発達検査、認知検査などがあります。性格検査には質問紙法、投影法、作業検査法があります。知能・発達検査、認知検査にも様々なものがあります。本授業では主に性格検査について、実習をとおして学びます。受講生の皆さんは、原則として８回の授業すべてに出席し、それぞれの実習についてレポートを提出する必要があります。

【到達目標】
心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。
検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】
第1回 オリエンテーション～心理検査法概説（心理検査を実施する上での倫理的姿勢を含めて）～
第2回 質問紙法について学ぶ（その１）～エゴグラムの実習・解釈～
第3回 質問紙法について学ぶ（その２）～質問紙で理解できる側面（講義）～
第4回 投影法について学ぶ（その１）～統合型HTPテストの実習・解釈～
第5回 投影法について学ぶ（その２）～投影法で理解できる側面（講義）～
第6回 作業検査について学ぶ～内田クレペリン検査の実習・解釈～
第7回 知能・発達検査について学ぶ～新版K式発達検査の用具を提示しながら検査内容について説明する講義）～
第8回 テスト・バッテリーの組み方、レポートの書き方について学ぶ

【学生へのメッセージ】
私は精神科臨床、学校臨床、障害児・者臨床の現場で多くのクライエントさんとかかわってきました。そこでの経験もこの講義の中で伝えることができたらと思います。心理検査の豊かな世界を楽しんでもらえればと思います。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法（'21)」を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
4Bの鉛筆、消しゴム

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689162
学習センター	茨城学習センター
学習センターコード	08A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験3**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ミワ　シュウジ 三輪　壽二 茨城大学教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15
実施会場	茨城学習センター

授業概要

【授業内容】
心理学実験３では、３つの実験を行います。逆向抑制、ストループ現象、囚人のジレンマです。これらの実験で、実験者になっていただいたり、被験者になっていただいたりします。すべての実験に関するレポートを書いていただくことが必須となります。また、心理学の簡単な歴史や心理統計の基礎、初歩的な実験計画の作成なども盛り込んでいます。原則として８回の授業すべてに出席し、すべての実験についてレポートを作成・提出することが必要です。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学の歴史と心理学における実験の意義と実験計画の作成
第2回 実験レポートの書き方と心理統計の基本
第3回 逆向抑制実験１
第4回 逆向抑制実験２
第5回 ストループ現象（効果）実験１
第6回 ストループ現象（効果）実験２
第7回 囚人のジレンマ実験１
第8回 囚人のジレンマ実験２
【学生へのメッセージ】
統計を使うので敷居が高くなると思いますが、実験そのものは面白かったりするかもしれません。最後まで統計をあきらめないようにお願いします。なお、レポート添削等の対応はできないことをご了承ください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
できれば統計に関する本を何でも構いませんから少しでも読んでおいてくださることを期待します。あるいはT検定、χ二乗検定（カイ二乗検定）、ノンパラメトリック検定の統計手法をインターネット等で調べてみてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法('21)」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
可能であれば、電卓、ストップウォッチ（あるいはその機能がある携帯）をご用意ください。充電済みのPCの持ち込みをお勧めします。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
色識別を要する実験課題があります。
なお、会場等の都合により、シラバスにある３つの実験の順番が変わる可能性がありますが、その点はご了承ください。

科目コード	2690438
学習センター	茨城学習センター
学習センターコード	08A
クラスコード	K
科目名	**政治学 ー地方創生の取り組み**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	60名
担当講師	マワタリ　ツヨシ 馬渡　剛 茨城大学教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月15日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	茨城学習センター

授業概要

【授業内容】
本講義では、前半で戦後日本の中央・地方政治レベルにおける歴史を振り返り、どのような力学がそこに存在しているのか見ていきます。後半では日本の現在そして将来大きな課題である地方創生について取り上げます。具体的には、高齢化率は40%超え、日本の40年先をいく課題先進地と称されながらも、ここ数年で30社を超える企業誘致に成功している熊本県天草市を事例にして、地方創生の取り組みについて解説します。

【到達目標】
戦後日本政治の概要について説明ができるようになる。
地方創生の取り組みについて理解する。

【授業テーマ】
第1回 ガイダンス
第2回 戦後政治（1）
第3回 戦後政治（2）
第4回 戦後政治（3）
第5回 熊本県天草市の地方創生（1）
第6回 熊本県天草市の地方創生（2）
第7回 熊本県天草市の地方創生（3）
第8回 まとめ

【学生へのメッセージ】
戦後日本政治の概要（過去）、そして現在進行形の課題、日本の将来について考える素材を提供する予定です。
未来の日本において求められるものは何か考えていきましょう。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
もっぱら現代政治をテーマとして取り上げるため、日々の新聞やテレビ等で報道される政治に関するニュースをフォローしておくことをおすすめします。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2690446
学習センター	茨城学習センター
学習センターコード	08A
クラスコード	K
科目名	**茨城の観光と地域活性化**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	オバラ　ノリヒロ 小原　規宏 茨城大学准教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 11月29日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	この授業は、【茨城学習センター及び★水戸市内（大工町・泉町・南町界隈）２日目１・２時限】で行います。

授業概要

【授業内容】
人間の経済活動のなかで、観光やツーリズム、あるいは余暇活動という現象を取り上げ、それらを人文地理学の立場から検討します。新型コロナ禍において狭義の意味での観光の弱さが露呈しましたが、広義の意味での観光（ツーリズム）は、持続的な社会を構築していくためには今後ますます重要になっていくと考えられています。本講義はこれからの持続的な観光（ツーリズム）の在りようとともに、観光（ツーリズム）を媒介としたまちづくりの方策について、水戸のまちを歩き現況を確認し、茨城を事例として検討していきます。

【到達目標】
観光やツーリズムをハードツーリズムとソフトツーリズムに区分し、それぞれがもたらす地域への影響や地域変容をさまざまな事例に基づいて読み解くことができる。観光やツーリズムが地域振興にどのように役立ってきたか、あるいは地域コミュニティとどのように関わってきたかを読み解くことができる。

【授業テーマ】
第1回 観光とツーリズム
第2回 人文地理学における観光・ツーリズムの捉え方と研究方法
第3回 マスツーリズムとオルタナティブツーリズム
第4回 観光・ツーリズムを媒介とした地域活性化
第5回 観光・ツーリズムから水戸を読み解く①－大工町界隈
第6回 観光・ツーリズムから水戸を読み解く②－泉町・南町界隈
第7回 茨城における観光・ツーリズムを媒介とした地域活性化
第8回 サステナブルツーリズムとその推進へ向けて－茨城を事例として－

【学生へのメッセージ】
２日目の午前中に水戸のまち歩きを実施する予定ですので、ある程度の体力が必要です。大工町を起点として実施し、大学から大工町間は路線バスを利用します。大学－大工町間の往復バス代金は各自負担となります。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
２日目は往復路線バス代金を持参してください（600円程度：バス会社によってはSuicaやPASMOなど全国交通系ICカードが使用できない場合があります）。歩きやすい服装（ズボンや運動靴など）で参加して下さい。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・ツーリズムの地理学：観光から考える地域の魅力（菊地俊夫編／二宮書店／¥3,520／ISBN=9784817604361）
・観光まちづくりの展望　地域を見つめ、地域を動かす（西村幸夫＋國學院大學地域マネジメント研究センター編／学芸出版社／¥2,860／ISBN=9784761528812）

【その他（特記事項）】
まち歩きを２日目の午前中に予定していますが、悪天候の場合には、まち歩きを中止とし、教室で映像を使った講義を行います。
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.５参照）

科目コード	2690454
学習センター	茨城学習センター
学習センターコード	08A
クラスコード	K
科目名	**人権と子どもの教育**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	60名
担当講師	フルヤ　ヒトシ 古屋　等 茨城大学教授
日程 実施時間	2027年1月9日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 2027年1月10日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	茨城学習センター

授業概要

【授業内容】
法を守るとは単に違反しないだけではなく、保護された自由や利益の侵害がなされたら、それを積極的に主張することを含みます。そのため、子どもの権利や自由の保障には、本人のみならず、親や教師による保護や、付近住民の協力や理解を欠かすことができません。この授業では、人権保障の必要性とその理論を学んだ上で、子どもの特性や個性を踏まえて、学校教育において生じるさまざまな問題がどのように解決されるべきであるかを、憲法や各種の教育法、子どもの権利条約などを通じて学んでいきます。
【到達目標】
法の果たす役割を、自由や権利と関連づけて理解することができる。
人権尊重が個性の尊重や伸張にあることを踏まえて、子どもをめぐる教育上の問題を、法的に解決する基礎的な能力を身につけることができる。
【授業テーマ】
第1回 法とは何かー権利との相互関係ー
第2回 人権尊重とは何かー個性と平等ー
第3回 個性の伸長と自由権ー人権の分類ー
第4回 自由権の保障と限界ー公共の福祉ー
第5回 子どもの人権と権利条約
第6回 親権と児童虐待をめぐる問題
第7回 教育の機会均等といじめ防止
第8回 教育の機会均等と不登校対策
【学生へのメッセージ】
法律用語や法の解釈には専門性や技術が伴う場合もありますが、授業の中で時間をとって説明しますので、分からない部分がありましたらお気軽に質問してください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
日頃から新聞などのニュース記事に注目して、社会において生じる問題について、ご自身の意見や感想をもつように心がけてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
条文を参照できるように電子機器類(パソコンやスマートフォン)があると便利です。任意で持参いただいて結構です。
学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・国家と社会の基本法〔第5版〕(上野幸彦・古屋等／成文堂／¥2,750／ISBN=9784792307226)

科目コード	2690462
学習センター	茨城学習センター
学習センターコード	08A
クラスコード	K
科目名	**民際交流の江戸時代**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	60名
担当講師	ソエダ　ヒトシ 添田　仁 茨城大学教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 11月1日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	茨城学習センター

授業概要

【授業内容】
民際交流とは、国家（官）ではなく、個人や民間の団体による国境を越えた交流のことです。江戸時代、海外との移動や交易が厳格に制限されていたことはよく知られていますが、はたしてその実態は？水面下での異文化交流が日本社会にもたらした影響についてお話しします。
【到達目標】
近世日本の国際関係史について、形式（「鎖国」）と実態（「民際交流」）の両面をふまえて説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 蘭癖大名の政治世界
第2回 密貿易の港市長崎
第3回 水戸藩船乗りのベトナム漂流記
第4回 長久保赤水が見た長崎
第5回 徳川光圀が生んだ水戸藩の風景
第6回 常陸灘の漂着船と異国認識
第7回 幕末水戸藩を襲った感染症
第8回 朝鮮人捕虜の末裔の江戸時代
【学生へのメッセージ】
教科書では語られない「鎖国」下の異文化交流史を一緒に学びましょう。
【受講前の準備学習等】
参考文献などを利用して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・江戸のコレラ騒動（高橋敏／KADOKAWA／¥1,100／ISBN=9784044006402）
・大才子 小津久足ー伊勢商人の蔵書・国学・紀行文ー（菱岡憲司／中央公論新社／¥2,750／ISBN=9784121101341）
・「鎖国」を見直す（荒野泰典／岩波書店／¥1,078／ISBN=9784006004125）
・鷹見泉石ー開国を見通した蘭学家老（片桐一男／中央公論新社／¥2,200／ISBN=9784120051623）
・阿蘭陀通詞（片桐一男／講談社／¥1,518／ISBN=9784065226810）

科目コード	2690470
学習センター	茨城学習センター
学習センターコード	08A
クラスコード	K
科目名	**茨城の重要遺跡と野外博物館**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	60名
担当講師	シオヤ　オサム 塩谷　修 元川村学園女子大学教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 12月19日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	茨城学習センター

授業概要

【授業内容】
茨城県内に残る縄文時代から江戸時代にかけての重要遺跡を取り上げ、発掘調査された特色ある遺構・遺物をとおして、野外博物館（遺跡公園）として整備された経緯やその意義について講義します。また、茨城の地域史を特徴づける各遺跡の考古学上の研究成果について解説し、遺跡を見学する際の注目点についても紹介します。
【到達目標】
重要遺跡の発掘調査成果や出土遺物の考古学的分析をとおして、常陸国の歴史的展開や地域色を学び、遺跡の保存と活用の意義が理解できる。
【授業テーマ】
第1回 上高津貝塚・陸平貝塚－縄文時代の大規模貝塚－
第2回 三昧塚古墳・富士見塚古墳－高浜入りの大規模前方後円墳－
第3回 虎塚古墳・十五郎穴横穴墓群－東国の装飾古墳の世界－
第4回 武者塚古墳－古代の髪型「みずら」の発見－
第5回 馬渡埴輪製作遺跡－発掘された埴輪工場跡－
第6回 平沢官衙遺跡－筑波山麓によみがえる古代の郡役所跡－
第7回 土浦城址及び櫓門－都市公園として残された近世の城郭遺跡－
第8回 茨城の重要遺跡が語るもの－保存と公開－
【学生へのメッセージ】
県内の特色ある重要遺跡をとおして、茨城の地域的、歴史的特質や遺跡保存の意義について考えてみましょう。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断し、提示した参考文献などにも目を通して、茨城県内の重要遺跡について自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
ノートと筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・茨城県の歴史散歩（茨城県地域史研究会編／山川出版社／¥1,320／ISBN=9784634246089）
・茨城の考古学散歩（茨城県考古学協会編／東洋書房／¥1,500／ISBN=9784990387525）

科目コード	2690489
学習センター	茨城学習センター
学習センターコード	08A
クラスコード	K
科目名	**近世ユーラシア交流史**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	60名
担当講師	シブヤ　コウイチ 澁谷　浩一 茨城大学教授
日程 実施時間	2027年1月9日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 2027年1月10日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	茨城学習センター

授業概要

【授業内容】
誰もが知っているようにロシアも中国も日本の隣国であり、日本にとって極めて重要な存在です。一方、ロシアと中国というユーラシア東西の巨大国家には長い交流の歴史があるのですが、一般的にはあまり知られているとは言えません。この授業では、モンゴル帝国時代まで遡り、この両者の接触・交流の歴史を日本との関係を視野に入れながらユーラシア規模の視点で捉え直してみたいと思います。授業で扱うのは近代の入口くらいまでとなりますが、今後の中国・ロシアとの関係を考えるためにも必要な歴史的背景を理解しましょう。
【到達目標】
(1) モンゴル帝国のユーラシア世界に与えた影響について理解し、その概略を説明できるようになる。
(2) ロシアと中国の交流の歴史を理解し、ネルチンスク条約及びキャフタ条約の意義について理解し、説明できるようになる。
(3) ロシアと日本、中国と日本の関係史をユーラシア世界の広がりの中で理解し、説明できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 ロシアと中国と日本～ユーラシア世界の中で考える歴史
第2回 モンゴル帝国の拡大と「蒙古襲来」～ユーラシア世界と日本列島
第3回 モンゴル帝国とロシア世界～「タタールのくびき」とロシアのシベリア進出
第4回 モンゴル帝国以後の東部ユーラシアと日本列島～倭寇、日明貿易から「倭乱」へ
第5回 ロシアと清の邂逅～ロシア使節の到来とアムール（黒竜江）情勢
第6回 ロシアと清の交渉～ネルチンスク条約からキャフタ貿易へ
第7回 江戸時代の日中関係と日露関係～大黒屋光太夫の漂流と帰国
第8回 ユーラシア世界と日中関係～明治日本と衰退する清朝
【学生へのメッセージ】
今の世界がどのようにして今の姿になったのか。過去の歴史を振り返る事なしに今を理解する事はできませんし、ましてや未来の事を考える事もできません。長い時間軸で世界史（勿論日本を含みます）を考えましょう。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容に関連する範囲で、高校レベルの世界史に関する知識を整理しておきましょう。その際、同時代の日本の歴史に関してもあわせて整理しておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・『モンゴル帝国と長いその後』（杉山正明／講談社／¥1,408／ISBN=9784062923521）
「興亡の世界史」シリーズ
・『日中関係史』（田中史生編／吉川弘文館／¥3,850／ISBN=9784642083096）
・『日本とロシア　忘れられた交流史』（シュラトフ ヤロスラブ／柏書房／¥2,420／ISBN=9784760156030）

科目コード	2690497
学習センター	茨城学習センター
学習センターコード	08A
クラスコード	K
科目名	**天文学と太陽**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	60名
担当講師	ノザワ　サトシ 野澤　恵 茨城大学教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月1日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	茨城学習センター

授業概要

【授業内容】
天文学について、始まりから最新の話題まで概論的な説明を行います。そして、我々の一番身近な恒星である太陽についても解説します。晴れていれば、太陽観察を行います。また可能であれば、簡単な分光器を作って、光が虹色に分かれることも体験しましょう。最後は太陽と我々の関係となる宇宙天気についてもお話したいです。
【到達目標】
天文学と太陽について、過去から最新の話題まで理解できる。また、太陽と我々の関係の一つとなる宇宙天気について、説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 天文学の最初
第2回 天文学と星座
第3回 天文学概論
第4回 天文学の重要な発見
第5回 太陽概論
第6回 太陽黒点とフレア
第7回 太陽と我々の関係
第8回 宇宙天気
【学生へのメッセージ】
天文学や太陽について興味のある人にお勧めします。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・シリーズ現代の天文学10「太陽」第2版（桜井隆他／日本評論社／¥3,080／ISBN=4535607605）

科目コード	2690500
学習センター	茨城学習センター
学習センターコード	08A
クラスコード	K
科目名	**解析学入門 ー無限級数に触れる**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	60名
担当講師	シモムラ　カツノリ 下村　勝孝 茨城大学教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 12月6日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	茨城学習センター

授業概要

【授業内容】
無限個の数を足したものを無限級数と呼びます。無限級数が導入されてから、様々な関数を解析する解析学が大きく発展しました。数学で特別に重要な e、π、i、1、0という５個の数を結び付ける式「eのπi乗 + 1 = 0」を導くオイラーの公式も、無限級数で鮮やかに導かれます。この講義ではパスカルの三角形を伸ばすと自然に無限級数が現れることから始めて、特に重要なベキ級数に触れた後にオイラーの公式を示して、受講者の皆さんを解析学の世界へ案内します。
【到達目標】
パスカルの半平面、ベキ級数、オイラーの公式について理解し、簡単な説明をすることができる。
【授業テーマ】
第1回 パスカルの三角形を伸ばしてみるーパスカルの半平面
第2回 パスカルの三角形の隙間を探ってみる
第3回 無限級数、特にベキ級数
第4回 関数を展開するーテイラー展開
第5回 e、πと無限級数
第6回 iの導入と複素平面
第7回 オイラーの公式ー複素数の世界で指数関数と三角関数が結び付く
第8回 全体の振り返り
【学生へのメッセージ】
授業の最初に予備知識のアンケートを取ってから授業を進め、なるべく予備知識なしでも話が伝わるように心掛けます。難しそうだと敬遠せず、興味があれば受講してみてください。
【受講前の準備学習等】
高校でパスカルの三角形、等比数列、三角関数、指数関数、複素数について学んでいる場合は、復習しておいてください。教科書をお持ちでない場合は、基礎知識をインターネット等で調べ、自己学習に努めてください。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2690519
学習センター	茨城学習センター
学習センターコード	08A
クラスコード	K
科目名	**植物病理学入門**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	60名
担当講師	ナカジマ　マサミ 中島　雅己 茨城大学教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 12月19日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	茨城学習センター

授業概要

【授業内容】
植物病理学の目的は、病原体とそれが引き起こす病気についての知識と理解を深め、最終的には病気による被害を軽減することです。本講義では植物に病気を引き起こす菌類、細菌、ウイルスの分類、形態、生理について説明するとともに、病原体の植物への侵入方法、病原性について概説します。また併せて、これらの病原微生物が引き起こす主要な病害を取り上げて、病徴、伝染、診断および防除について最新の情報を交えて解説します。
【到達目標】
植物に病気を引き起こす菌類、細菌、ウイルスの感染および発病の機構ならびに防除法について説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 植物病理学とは
第2回 病原体の感染と発病
第3回 菌類病の発生生態（Ⅰ）
第4回 菌類病の発生生態（Ⅱ）
第5回 細菌病の発生生態
第6回 ウイルス病の発生生態（Ⅰ）
第7回 ウイルス病の発生生態（Ⅱ）
第8回 病害の診断と防除
【学生へのメッセージ】
家庭菜園やガーデニングなど、植物の栽培に興味のある方の受講を期待しています。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・植物病理学（第2版）（大木 理／東京化学同人／¥2,970／ISBN=9784807909582）
・植物病理学（第2版）（眞山滋志、土佐幸雄（編）／文永堂出版／¥6,270／ISBN=9784830041389）
・新植物病理学概論（第2版）（白石友紀、秋光和也、一瀬勇規、寺岡徹、吉川伸幸／養賢堂／¥4,400／ISBN=9784842505992）

科目コード	2690527
学習センター	栃木学習センター
学習センターコード	09A
クラスコード	K
科目名	**実践的な英語コミュニケーション**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	120
定員	40名
担当講師	バンウェル　ローリー（バンウェル　ローリー） 宇都宮大学・准教授
日程 実施時間	10月18日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 10月25日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	栃木学習センター

授業概要

【授業内容】
学生が英語の語彙、スピーキング、リスニングのスキルを身に付けて、日常生活で使用できるようにすることを目的としています。
【到達目標】
1．教科書のリスニング問題の要点及び大部分の詳細について理解することができる。
2．リスニングの問題を聞きながらメモを取ることができ、情報を要約することができる。
3．授業中、ペアやグループで、英語でお互いに指示をしたり活動をすることができる。
4．英語で授業中の会話に参加することができる。
5．授業で扱うトピックについて、グループ内でディスカッションをすることができる。
【授業テーマ】
第1回 Your daily life
第2回 Your neighborhood
第3回 Your free time
第4回 Food and drink
第5回 Travel
第6回 Education
第7回 Health
第8回 People
【学生へのメッセージ】
私の指導方針では生徒が教室で英語を使う機会をできるだけ増やし、機会を与えることを重要視しています。つまり、ペアワークやグループワーク、クラスでのディスカッションを多くするということです。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
Active Participation 70%（タスクへの取組み）
Class assignments and quizzes 30%（授業課題と小テスト）

【教科書】
・World Voices 1（Alastair Graham-Marr／ABAX ELT Publishing／¥3,410／ISBN=9781785470677）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2690535
学習センター	栃木学習センター
学習センターコード	09A
クラスコード	K
科目名	**日英語比較を意識した英文法学習**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	120
定員	40名
担当講師	岩﨑　宏之（イワサキ　ヒロユキ） 宇都宮大学・准教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 12月5日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	栃木学習センター

授業概要

【授業内容】
本科目では、日本語との共通点・相違点に着目しながら、英文法を学んでいきます。英文法をそれ単独で学習した場合、英文法を「知識としてそのまま取り込む」という受動的な学びになりがちですが、日本語と英語の比較を取り入れることで、受講生自らの「気づき」を促しつつ、能動的な英文法学習を目指します。また、受講生同士の英会話活動の機会を設け、お互いの交流を深めると共に、学んできた英文法を実際に使用することを通じて、その定着を図ります。
【到達目標】
・基礎的な英文法を習得することができる。
・ある程度高度な英文法にも触れ、本授業後も英文法の学習を続ける目標を見出すことができる。
・外国語学習において、言語間の比較を取り入れることの意義を実感することができる。
・普段何気なく使っている母語にも意識を向け、客観視できるようになる。
・英語でのコミュニケーションをクラスメートと積極的に行うことができる。
【授業テーマ】
第1回 ガイダンス、「日英語の音声」について
第2回「名詞」について
第3回「動詞」について
第4回「冠詞」について
第5回「関係節」について
第6回「語順・態・否定」について
第7回 これまでの振り返りと英会話活動の台本作り
第8回 英会話活動
【学生へのメッセージ】
せっかくの面接授業の機会ですので、ご質問等、遠慮なくご発言ください。
【受講前の準備学習等】
・【11/28（土）の前まで】これまでに学ばれてきた英文法を復習しておいてください。
・【11/29（日）から12/4（金）の間】第1回から第4回までの内容を復習すると共に、お持ちの教材等を使いながら、第5回と第6回の文法項目を予習しておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
電子辞書でも構いませんので、辞書をご持参ください（英会話活動を行う関係上、和英辞書もあった方が良いかと思います）。また、パソコンを持参してインターネット検索しても構いません。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2690543
学習センター	栃木学習センター
学習センターコード	09A
クラスコード	K
科目名	**身体教育学の現在と実践**
科目区分	基盤科目：保健体育
ナンバリング	120
定員	40名
担当講師	イシヅカ　サトシ 石塚　諭 宇都宮大学・教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 11月15日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	この授業は、【栃木学習センター及び★宇都宮大学第一体育館（1日目4時限）】で行います。

授業概要

【授業内容】
近年、体力の低下に留まらず、子どもの「身体の危機」が深刻化しています。本講義では、子どもから高齢者までを取り巻く環境や今日的課題を整理し、現代の保健体育のあり方を多角的に考察します。既存の体育観を問い直し、ニュースポーツの実践や障害者スポーツの現状、さらには「野生の思考」に宿る遊びの知恵など、多様な視点から身体文化を再考します。最新の知見に触れながら、受講者自身が豊かなスポーツライフを構築し、生涯にわたって自身の身体とどう向き合っていくか、その指針を探求します。

【到達目標】
現代社会における身体の変容と今日的課題を理解し、既存の体育観を問い直すことができる。パラスポーツやニュースポーツ等の多様な知見を通じて、身体文化の豊かさを多角的に把握できる。これらを踏まえ、自分自身の生涯にわたる豊かなスポーツライフを主体的に構想・実践できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 現代社会における「身体の危機」と子どもの体力の現状
第2回 運動と健康の再定義：継続を支える心理的要因と自己診断
第3回 身体の拡張と公平性：マルクス・レームの事例から考える
第4回 多様な身体を繋ぐ実践：モルックやピックルボール等の体験
第5回 遊びの知恵と野生の思考：行為の中の省察が生む即興の指導論
第6回 頑張りの空洞化からの脱却：自立した学習者が創る体育授業
第7回 身体活動と心の健康：リフレッシュの機序と豊かな生活の構築
第8回 総括：生涯にわたる自分自身の「身体教育」をデザインする

【学生へのメッセージ】
身体教育の今を共に考えましょう。実技ではモルックやピックルボール等を体験しますが、体力に合わせた参加で構いません。見学も可能です。無理のない範囲で身体を動かし、新たな身体知を発見する時間を楽しみましょう。

【受講前の準備学習等】
事前学習として、文部科学省の体力・運動能力調査結果等を参照し、子どもの体力現状やパラスポーツ、ニュースポーツの概要について調べておいてください。また、日常生活での自身の身体意識を整理しておくことが望ましいです。事後学習では、授業内で扱った理論や実践を振り返り、自身のライフステージに即した運動継続の工夫をまとめてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
初日の第4回に体育館で実技（ボッチャ、モルック、ピックルボール等）を行います。全ての種目は見学での参加も可能ですので、体力に不安のある方もご安心ください。実技を希望される方は、必ず体育館履き（上履き）を持参し、運動しやすい服装で受講してください。また、水分補給用の飲料やタオルも各自用意してください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：保健体育」に該当します。
実技への参加者は「学生教育研究災害傷害保険」加入の手続きをお願いいたします。未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧（P.5参照））

科目コード	2690551
学習センター	栃木学習センター
学習センターコード	09A
クラスコード	K
科目名	**人間の感覚を測る**
科目区分	導入科目：情報
ナンバリング	210
定員	40名
担当講師	ワタナベ　シンイチ 渡邊　信一 宇都宮大学・准教授
日程 実施時間	11月1日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00
実施会場	栃木学習センター

授業概要

【授業内容】
(授業の具体的な進め方)
グループに分かれて簡単な実験の方法を検討し実践し、その結果についてグループでまとめ、考察を行い発表してもらいます。必要に応じてデータのまとめ方について講義を行います。
グループワークが主体の授業となります。
【到達目標】
・感性評価実験の方法や考え方、データをまとめる際に注意すべきことなどを経験することにより、感性評価実験についての楽しさや理解が深められるようになる。
・人間の感覚のような「あいまい」なものをどのように測るのか、その方法をグループで検討し実践すること。
【授業テーマ】
第1回 オリエンテーション・グループ分け
第2回 予備実験とそのまとめ
第3回 実験内容の検討と準備
第4回 実験
第5回 追実験・データのまとめ
第6回 データのまとめと結果の考察
第7回 結果の考察と発表資料の作成
第8回 発表会
【学生へのメッセージ】
日常会話の中で「多い・少ない」、「長い・短い」などあいまいな言葉を使用しています。このようなあいまいな言葉を数値で表す方法をみなさんと勉強しましょう。グループに分かれていただき、グループ毎に簡単な実験について内容と方法を考えて実験を行い、結果について考察・発表してもらいます。自由・活発な意見交換を通して楽しい授業にしたいと考えていますので気軽に受講してください。
【受講前の準備学習等】
心理学・○○心理学（社会、認知、教育など）・人間工学・感性工学というキーワードをもとにご自身の興味あることを調べてください。またアンケート用紙の作成法、データ分析手法（統計）も場合によっては必要となるかもしれません。授業時間が限られていますので深い内容までは議論できないかもしれませんが、この機会に復習と整理されることをお勧めします。
【成績評価の方法】
成績評価は授業中の学習状況及び第8回に行われる発表内容により評価します。

【受講者が当日用意するもの】
電卓（スマホ可）
【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
2011年度第1学期・2015年度第1学期・2022年度第1学期・2024年度第1学期・2025年度第２学期に開講した「人間の感覚を測る」と同じ講義内容です。

科目コード	2690560
学習センター	栃木学習センター
学習センターコード	09A
クラスコード	K
科目名	**ヒトとペットの栄養学**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	アキヤマ　シュリ 秋山　珠璃 栃木県立衛生福祉大学校・非常勤講師
日程 実施時間	11月8日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 11月15日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	栃木学習センター

授業概要

【授業内容】
日本ではペット飼育をしたことがある人は、2人に1人程度いるといわれています。本講義では、ヒトとペットの栄養学の理解を深めることを目的としています。ペットとの健康は家族の健康と同等に大切であることから、栄養学の基礎からペットとの共生に必要な知識を学びます。また、ヒトの栄養学では食事計画の基本から献立作成までを行い意見交換やグループ発表をし理解を深め活用をできるようになることを目指します。
【到達目標】
ヒト及びペットの基礎的な栄養学を理解し、ヒトの食事計画を的確に行えるようになる。
【授業テーマ】
第1回 栄養学の基礎（1）
第2回 栄養学の基礎（2）
第3回 食事計画（1）栄養アセスメント
第4回 ペット栄養学（1）
第5回 ペット栄養学（2）
第6回 食事計画（2）食事アセスメント
第7回 食事計画（3）献立作成
第8回 発表会・まとめ
【学生へのメッセージ】
この講義を通し、これまで以上にヒトやペットの栄養学に興味をもってもらい、これからの健康的な生活に有効に取り入れ、豊かな生活にしていきましょう。わからないことがあればいつでも聞いてください。
【受講前の準備学習等】
・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
・受講前には自身や周りの人の食生活を観察し、メモしておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、スマートフォン、電卓（スマートフォン可）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・ペット栄養管理学テキストブック（一般社団法人日本ペット栄養学会 編／アドスリー／¥6,600／ISBN=9784904419526）

科目コード	2690578
学習センター	栃木学習センター
学習センターコード	09A
クラスコード	K
科目名	**世代別による 体力・健康づくり**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	カトウ　ケンイチ 加藤　謙一 放送大学栃木学習センター・所長(特任教授)
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	栃木学習センター

授業概要

【授業内容】
健康や体力を維持・向上させることは就学前の子どもから高齢者まで共通の大切な問題であるにも関わらず、生活環境が大きく変化してきていることによって、必ずしも望ましいものにはなっていません。その背景には日常生活が機械化されたり、自動化され、強い体力がなくても不便でなくなったり、健康を意識しなくても不都合を感じにくくなっていることが考えられます。本授業では現代の生活環境を踏まえて、世代別にみた体力や健康づくりについて考えていきたいと思います。
【到達目標】
・世代別にみた体力や健康の特徴や重要性を理解することができる。
・世代別に体力づくり・健康づくりを計画することができる。
【授業テーマ】
第1回 運動発達のプロセスと誕生時・乳幼児期の運動・健康
第2回 幼児期の体力（運動発達）と健康
第3回 児童前期の体力（運動発達）と健康
第4回 児童後期および思春期の体力（運動発達）と健康
第5回 成人期の体力（運動発達）と健康
第6回 老年期及び女性の体力と健康
第7回 健康な生活の過ごすための体力づくりの考え方
第8回 自己の体力を把握する
【学生へのメッセージ】
ご自身や家族などの周りの人の体力や健康を考える機会になることを期待しています。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、ご自身の運動経験、体力、健康などについて振り返ってみてください。そして、ご自身の経験について2～3分程度で報告できるようにご準備をお願いします。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
２日目は簡単な運動、体操を実施する予定です。動きやすい服装、運動靴でご参加ください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず授業前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧(P.5参照)）

科目コード	2690586	**授業概要**	**【授業内容】** **----------** **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** **【受講前の準備学習等】** **【受講者が当日用意するもの】** **【その他（特記事項）】** **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** **----------** この科目では、現代家族と衣食住生活に関わる基本的な概念や理論的枠組みの基礎を学び、その現代的課題について理論的、実証的に検討します。加えて、国内外の調査データや資料に基づき、多様化する家族や衣食住生活の様相とその新たな可能性を考察します。 **【到達目標】** 現代家族と衣食住生活に関わる基本的な概念や理論的枠組みを理解できるとともに、多様化する家族や衣食住生活と、その可能性について、自分なりの考えをまとめることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 生活の豊かさと家族 第2回 家族・家庭生活と子ども 第3回 家族・家庭生活と高齢者 第4回 現代家族と家庭生活に関わる資料購読① 第5回 現代家族と家庭生活に関わる資料購読② 第6回 現代の食生活 第7回 現代の衣・住生活 第8回 現代の消費生活・まとめ **【学生へのメッセージ】** 積極的、主体的な参加や課題への取り組みに期待します。 **【受講前の準備学習等】** ・本授業はタブレットやスマートフォン等でも受講できますが、パケット通信量に制限等がある方は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 ・シラバスを確認し、関連内容について自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は資料購読の成果（提出物）と小試験により行います。
学習センター	栃木学習センター		
学習センターコード	09A		
クラスコード	K		
科目名	**現代家族と家庭生活入門**		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	ワタナベ　トキナリ 渡辺　朗生 宇都宮大学・助教		
日程 実施時間	12月13日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 12月20日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	栃木学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 1．持参する端末 種類は問いません（ノートパソコン、タブレット、スマートフォン）。 2．OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。 3．ソフトのインストール Office Wordが必要です（バージョンは問いません）。 4．その他 講義資料（穴埋め形式）は紙でも用意しますが、wordファイルでダウンロードもいただけます。 wordファイルのダウンロードを希望される方は、担当者HP（https://researchmap.jp/tokinariwatanabe）の左側「資料公開」からダウンロードしてください。（講義の1か月前から公開します。） **【教科書】** 教科書は使用しません。
			【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2690594
学習センター	栃木学習センター
学習センターコード	09A
クラスコード	K
科目名	**視覚障害児教育概論**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	フクダ　カナコ 福田　奏子 筑波大学・助教
日程 実施時間	2027年1月9日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 2027年1月10日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	栃木学習センター

授業概要

【授業内容】
目が見えない・見えにくいなどの視覚に障害のある子どもたちが、どのように学んでいくのかということについて、基本的な内容を学習していきます。目が見えない子が触覚を通して学ぶ時や、目が見えにくい子が見えにくい目を通して学ぶ時には、どんな特徴・工夫があるのかについて、受講者の皆さんに実際に体験してもらいながら、考えていきます。視覚に障害のある方が使う点字や白杖、視覚補助具などについても、学んでいきます。

【到達目標】
・目が見えない子が触覚を通して学ぶ時や目が見えにくい子が見えにくい目を通して学ぶ時には、どんな特徴・工夫があるのかについて、体験的に理解し、説明することができる。
・視覚に障害のある方が使う点字について、体験的に理解し、基本的な仕組みを説明することができる。

【授業テーマ】
第1回 視覚障害の定義や程度について
第2回 触覚の特徴について
第3回 点字の歴史と基本的な構成について
第4回 点字の読み書きについて
第5回 視力や視野の検査について
第6回 弱視の子の見え方について
第7回 視覚に障害のある方の歩行について
第8回 視覚に障害のある方の生活について

【学生へのメッセージ】
体験活動や話し合い活動を取り入れたいと思っていますので、積極的に参加していただけると嬉しいです。小さい文字だと見にくい、配布資料がデータで欲しいなどの配慮が必要な方は、遠慮なく教えて下さい。

【受講前の準備学習等】
点字も学習しますので、もし身の回りに点字が書いてあるものを見つけたら、点字の部分を携帯やカメラ等で撮っておいていただけるとありがたいです。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2690683
学習センター	栃木学習センター
学習センターコード	09A
クラスコード	K
科目名	**美味しさと健康を支える食品工学**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	タムラ　マサツグ 田村　匡嗣 宇都宮大学・准教授
日程 実施時間	2027年1月9日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 2027年1月10日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	栃木学習センター

授業概要

【授業内容】
食品を食べることは、生命活動を支えるだけでなく、喜びや楽しみ、健康的な生活にも深く関わっています。食品の加工は、安全性の確保や保存性の向上、美味しさや栄養価の調整など、多くの工夫によって成り立っています。本講義では、穀物を中心に、食品の美味しさ・健康・加工技術について食品工学の視点からわかりやすく紹介し、日常の食への理解を深めることを目的とします。

【到達目標】
食品の美味しさ・健康・加工技術について、食品工学の視点から説明することができる。

【授業テーマ】
第1回 食品工学の概要
第2回 物理単位と物質収支
第3回 官能検査
第4回 食品の美味しさと組織構造
第5回 青果物の加工
第6回 穀物の加工
第7回 食品加工と糖質消化性
第8回 未利用・少利用資源を使った食品開発

【学生へのメッセージ】
講義の中で数学や物理の簡単な計算問題を扱います。官能検査では、学生の皆さんの味覚を使った実験を企画しています。もし、アレルギー等がありましたら検査前にお知らせください。

【受講前の準備学習等】
事前学習
・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
事後学習
・授業で学修した内容や演習問題などを活用して復習を行い、理解を深めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。なお、レポートのテーマの一部は『学生皆さんの生活圏にある未利用・少利用資源を使った食品利用の事例』です。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689162
学習センター	栃木学習センター
学習センターコード	09A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験3**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	16名
担当講師	イシカワ　タカユキ 石川　隆行 宇都宮大学・教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月8日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15
実施会場	栃木学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学の基礎的な実験3種を行います。皆さんはそれらの実験に「実験者」や「参加者（協力者）」として参加し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 オリエンテーション、心理学実験とは
第2回 実験結果の処理とレポートの書き方
第3回 実験1「鏡映描写」解説と実施
第4回 実験1「鏡映描写」分析と考察
第5回 実験2「ストループ効果」解説と実施
第6回 実験2「ストループ効果」分析と考察
第7回 実験3「SD法」解説と実施
第8回 実験3「SD法」分析と考察
【学生へのメッセージ】
実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成時に、パソコンを使用しますので、初歩的なパソコン操作（Word、Excel等）は習得していることを望みます。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
インターネットへの接続はしないため、学習センターでの無線LAN利用申請等は不要です。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法（'21)」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
1．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可)。
2．OSの指定
　Windowsが必要です。
3．ソフトのインストール
　文章作成ソフト Word、表計算ソフト Excelが必要です。
4．その他
　・筆記用具として、できれば鉛筆をお持ちいただくと良いかと思います。
　・USBメモリ（2G以上）をお持ちください。
　・マウスを多用する方は、マウスをお持ちください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
・心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
・色識別を要する実験課題があります。
・持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。
　端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
・レポートは紙媒体、またはメールのデータ添付で提出してもらいますが、紙媒体の場合には学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。

科目コード	2689189
学習センター	栃木学習センター
学習センターコード	09A
クラスコード	K
科目名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	マルヤマ　ジュンイチ 丸山　純一 文星芸術大学・教授
日程 実施時間	10月18日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 10月25日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15
実施会場	栃木学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では、実際に心理検査を行うという体験を通して、理解を深めることを目的としています。特に、検査者や被検査者双方の体験を通して、検査を行うことの意義を学ぶことが中心となります。受講生の皆さんは、原則として全８回の授業にすべて出席し、３つの実習課題すべてのレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。
検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理検査の意義、種類　検査倫理
第2回 検査実習１　ＹＧ性格検査
第3回 検査実習２　ローカス・オブ・コントロール尺度
第4回 テストの信頼性・妥当性　レポートの書き方
第5回 検査実習３　バウムテスト
第6回 主な投影法（ロールシャッハテスト、ＴＡＴ、ＳＣＴなど）について
第7回 知能検査（集団式、ＷＩＳＣなど）について
第8回 心理検査の活用（テスト・バッテリー）
【学生へのメッセージ】
この実習は、検査者や被検査者体験を重視します。心理検査を実施する立場と実施される立場の両方を体験し、心理検査の体験的理解を深めていただく機会になればと考えています。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
鉛筆２、３本（4Bが望ましいが、HB程度でも可）と消しゴム、赤のボールペン、定規（短いものでよい）を用意してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689120
学習センター	栃木学習センター
学習センターコード	09A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験1**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	ニシタニ　ケンジ 西谷　健次 作新学院大学・教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月14日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15
実施会場	栃木学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

この授業は心理学における基礎的実験の実習を行い、データの収集・分析方法の理解、レポートの書き方の習得を目標とします。授業では２種類の実験を行い、それぞれについてレポートを作成します。
受講生の皆さんは、原則８回の授業すべてに出席する必要があります。また、すべての実験についてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 オリエンテーション（心理学実験とは）
第2回 実験の計画立案
第3回「ミュラー・リヤー錯視」実験の実施と解説
第4回「ミュラー・リヤー錯視」実験のレポート執筆指導
第5回「心理尺度の構成」実験の実施と解説
第6回「心理尺度の構成」実験のレポート執筆指導
第7回 統計解析に関する補足
第8回 まとめ（心理統計とレポートの書き方）
【学生へのメッセージ】
「実験者・参加者として実験を体験する」ということそのものに重要な意味があるので、すべての実習に積極的に参加することを求めます。
【受講前の準備学習等】
実習課題の内容についてあらかじめ調べておく必要はありません。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
インターネットへの接続はしないため、学習センターでの無線LAN利用申請等は不要です。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
この授業はBYOD科目です。実験実施はPower Point、データ処理はExcelにより行いますので、ご自分のパソコンにこれらがインストールされていることを確認し、これらのソフトの基本的な使い方については理解しておいてください。
また、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には､放送大学のインターネット配信で｢心理学概論('24)｣、｢心理学研究法('20)｣、｢心理学統計法（'21）｣を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください。
２．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。
３．ソフトのインストール
　ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
　・Excel、Power Pointが必要です。
４．その他
　・ソフトのバージョン指定はありません。
　・マウスを持参してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・実験・実習で学ぶ心理学の基礎（日本心理学会・認定心理士資格認定委員会編／金子書房／¥2,750／ISBN=9784760830312）

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
｢心理学実験１｣、｢心理学実験２｣、｢心理学実験３｣は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2690608
学習センター	栃木学習センター
学習センターコード	09A
クラスコード	K
科目名	**子どもの発達とアタッチメント**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	シバハラ　サキ 柴原　早紀 作新学院大学・講師
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～17:00 11月29日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	栃木学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では、発達心理学の理論を基に、子どもの“心の発達”について学びます。子どもの発達をいくつかのステージに分け、誕生から順を追って“言葉”や“思考”がどのように発達するか、具体例を示しながら解説します。また、アタッチメント理論の視点から、子どもが“他者との関係”を築き、維持し、親密性を獲得していく過程についても解説します。さらに、発達障害や子どもの心の病についても触れ、支援や対策について概観します。これらの学びを通して子どもの心の奥深さに触れていただきたいと思います。

【到達目標】
・生涯発達の考え方を理解し、乳児期から青年期までの心の発達について、各段階の様相を説明できるようになる。
・発達障害や子どもの心の病について概要を理解し、支援や対策について検討できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 導入：子どもの心とは？生涯発達とは？
第2回 乳児期：赤ちゃんの世界とアタッチメント
第3回 幼児期：言葉やイメージを通して他者と関わる
第4回 児童期：思考の発達と人間関係の拡がり
第5回 青年期1：自分らしさを探す旅
第6回 青年期2：他者と関わりながら自分を見つめる
第7回 発達障害や子どもの心の病への理解と支援
第8回 まとめ：大人と子ども

【学生へのメッセージ】
この授業では、グループディスカッションやワークを多く取り入れ、学生間の相互的な学びを促します。積極的に参加し、発言するようにしてください。子どもの気持ちに寄り添い、発達の課程を理論的に理解したいと志す方の受講をお待ちしております。

【受講前の準備学習等】
[事前学習]ご自身の誕生からこれまでの人生を振り返り、各段階でどのような体験をしてきたかを想起できるようにしておいてください。特に幼少期については、近しい人や当時の自分を知る方に、どのような出来事があったかを聞いてみたり、アルバムや日記など、当時を思い出せる記録を見ておいたりすると良いと思います。
[事後学習]各回の授業で取り上げた内容について復習し、用語や理論について理解を深めてください。また、それらについて、自身の体験や日常的に見聞きする具体例と重ね合わせて理解できるようにしてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。なお、レポートのテーマは『授業で取り上げたテーマについて特に関心を持ったものを1つ選び、実体験、あるいは日常生活で見聞きしたこと等の具体例を入れて考察すること』です。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・エピソードでつかむ生涯発達心理学（シリーズ生涯発達心理学 1）（岡本祐子（編集）、深瀬裕子（編集）／ミネルヴァ書房／¥2,860／ISBN=9784623065318）

科目コード	2690616
学習センター	栃木学習センター
学習センターコード	09A
クラスコード	K
科目名	**ものづくりの歴史と機械加工技術**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	サトウ　リュウノスケ 佐藤　隆之介 宇都宮大学・准教授
日程 実施時間	11月29日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 12月6日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	栃木学習センター

授業概要

【授業内容】
わが国の自動車産業や電子機器産業、鉄鋼産業などにおけるものづくりは、技能と技術を融合させて世界に名だたる製品を送り出しています。製品の性能はそれを構成する部品の優劣に左右され、これを支配する因子として機械加工技術が存在します。本講義ではより高度に複雑化するものづくりにおける現在のさまざまな機械加工技術について解説するとともに、省資源化、環境負荷低減に向けた新しい加工技術を紹介します。
【到達目標】
機械加工法の基本原理や加工機構を理解するとともに、工業製品の生産過程やものづくりの仕組みを把握し説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 生産加工技術の変遷
第2回 旋削、フライス、穴あけ加工
第3回 研削加工
第4回 研磨加工
第5回 超音波、放電、電解加工
第6回 レーザ、ビーム加工
第7回 アブレイシブジェット加工、フォトファブリケーション
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
身のまわりの製品がどの様な技術によって、どのくらいの正確さで作られているのか興味を持ってもらえると幸いです。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・生産加工学（井上孝司 他／コロナ社／¥2,750／ISBN=9784339046281）
・機械加工学基礎（松村 隆 他／コロナ社／¥2,420／ISBN=9784339045390）

科目コード	2690624
学習センター	栃木学習センター
学習センターコード	09A
クラスコード	K
科目名	**読書と探究 ー絵本を読み解くー**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	アキヤマ　ミワコ 秋山　美和子 秋草学園短期大学・准教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 10月31日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	この授業は、【栃木学習センター及び★宇都宮大学附属図書館（2日目2～3時限）】で行います。

授業概要

【授業内容】
文学作品を読むと、舞台となった場所、時代背景、登場人物やそこに描かれる様々な事柄に興味・関心を持つことがあります。そうした事柄を思考ツールのウェビングマップを用いて整理し、インターネットの情報や図書館の資料を活用して調べ、作品に対する理解を深め、知識を広げる方法について学習します。授業では、物語絵本を用います。絵本は、絵と言葉で表現されており、作品の理解には双方を読み解く必要があります。物語絵本における探究的な読書を理解することで、他の文学作品の読書にも応用できるようになることをめざします。
【到達目標】
・文学作品に描かれた事柄を探究的に捉えることができるようになる。
・興味・関心を持った事柄を、キーワードとして言語化することができる。
・ウェビングマップの手法を理解し、探究的な読書に活用できる。
・図書館やインターネットの活用方法を知り、調べることができる。
・調べた事柄を分かりやすくまとめ、発表できる。
【授業テーマ】
第1回 文学作品と物語絵本について
第2回 ウェビングマップの作成方法について
第3回 選書した物語絵本について
第4回 図書館やインターネットの活用方法について
第5回 作成したウェビングマップについて
第6回 図書館における調べる活動
第7回 ウェビングマップと選定した資料について
第8回 文学作品への応用について
【学生へのメッセージ】
・物語絵本を読み、興味・関心を持った事柄をウェビングマップに表しましょう。その事柄を調べることで作品への理解が深まり、さらに知的好奇心が刺激されます。探究的な読書を楽しみましょう。
・第3回・第5回・第7回はグループで発表、ディスカッションがあります。
【受講前の準備学習等】
・5分程度で読める物語絵本を1冊選書してください。
・場所、時代背景、登場人物等が具体的に描かれ、調べる活動につながるものを選んでください。
・選書した絵本の内容及び興味・関心を持った事柄について説明できるようにしておいてください。
・公共図書館を利用し、日本十進分類法に基づく資料の排架について理解しておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１日目、２日目とも、選書した物語絵本を必ず持参してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2690632
学習センター	栃木学習センター
学習センターコード	09A
クラスコード	K
科目名	**宗教と文化の歴史**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	60名
担当講師	ワタナベ　ミホコ 渡辺　瑞穂子 國學院大學栃木短期大学・准教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 11月14日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	栃木学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では、宗教文化の一端として暦と祭りについて学びます。呪術や占いなど、現代では迷信とされる慣習があります。この起源はどのようなものだったのかを知ることで、宗教の歴史と構造を理解していきます。私たちの社会生活は時間の観念を基盤としています。暦の制度の導入により、社会秩序は明確化し、儀礼祭祀は恒例化しました。古代以来の時間の概念である太陰太陽暦法のしくみを学ぶと共に、関連する祥瑞思想を取り上げます。祭祀行事と災害疫病との関係を理解することをめざします。
【到達目標】
宗教と暦に関わる現代社会の問題点を理解することができる。
古代の宗教制度の概要を把握し、年中行事の重要事項を理解できる。
災害や疫病に関する歴史と対処法を学ぶことができる。
二十四節気などの季節の指標と恒例行事の関係を学び、通史的な時間軸を身につける。
太陰太陽暦法と暦注の役割を理解し、太陽暦との違いを説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 宗教の始まりについて　～神話にみる呪術と祭祀の起源～
第2回 災異・疫病はどのように鎮め祭られたのか　～祟りと循環型祭祀～
第3回 縁起物と吉凶判断　～祥瑞思想と迷信の歴史～
第4回 暦と祭り　～太陰太陽暦法と年中行事のしくみ～
第5回 旧暦と新暦の違い　～現代社会における問題～
第6回 災疫と祭礼行事の歴史（1）　～御霊と祇園祭～
第7回 災疫と祭礼行事の歴史（2）　～疫病と地域の信仰～
第8回 学習のまとめ　～受講内容の総括～
【学生へのメッセージ】
占いやまじないはどのように始まったのでしょうか。講義では迷信や伝統的慣習の起源を考えます。暦のしくみや祭りをわかりやすく説明し、現代社会での問題を考えます。祭祀の歴史について身近な題材から学びます。
【受講前の準備学習等】
・天気予報やカレンダーで取り上げられる四季の指標に関心をもち、用語をインターネット等で調べておいて下さい。
・天文現象のニュースにふれ、天体の運行やしくみについて基礎的な知識をもちましょう。
・身近な祭礼行事や伝統文化に興味をもち、祭りの事例を理解しておいて下さい。
・シラバス内容で不明な点はあらかじめ学習して下さい。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2690640
学習センター	栃木学習センター
学習センターコード	09A
クラスコード	K
科目名	**米国文学概説**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ヨネヤマ　マサフミ 米山　正文 宇都宮大学・教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 12月19日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	栃木学習センター

授業概要

【授業内容】
19世紀初頭から20世紀半ばまでの米国文学史を概観し、代表的な作家・作品について講義します。
【到達目標】
米国文学の歴史や特徴について基本的な知識を身につける。
【授業テーマ】
第1回 ロマン主義の時代（1）19世紀初頭～
第2回 ロマン主義の時代（2）
第3回 ロマン主義の時代（3）
第4回 ロマン主義の時代（4）、リアリズムの時代（1）19世紀後半～20世紀初頭
第5回 リアリズムの時代（2）
第6回 リアリズムの時代（3）
第7回 リアリズムの時代（4）、リアリズム以降、失われた世代の作家など
第8回 失われた世代の作家など
【学生へのメッセージ】
原則として講義、プリント配布、板書、映像で進めます。受講生はノート取りが中心となります。日本語（資料も含めて）で進めていきますが、必要最低限の英文資料は扱います。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
文房具類
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2690659	**授業概要**	**【授業内容】** アクリル絵具を用いた絵画技法を制作を通して指導します。不透明色や透明色、メディウム等の素材特性と描画の関係について解説します。その後、①重ね塗りと削り出しによるマチエールの実技課題、②写真転写技法の実技課題をとおしてアクリル絵具の多様な表現技法について指導します。これらの課題はいずれも小作品（写真L判程度）をそれぞれ2枚以上制作することとします。 **【到達目標】** ・アクリル絵具の素材特性について理解し、それを生かした描画ができるようになる。 ・写真転写技法の原理を理解し、絵具の重層を組み合わせた表現ができるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 アクリル絵具の素材特性（不透明色、透明色、重色、メディウムの効果等） 第2回 支持体と下地の役割について 第3回 重ね塗りと削り出しによるマチエール①（絵具の重層） 第4回 写真転写技法①（メディウムの塗布と写真の貼り付け） 第5回 重ね塗りと削り出しによるマチエール②（紙やすりによる削り出し） 第6回 重ね塗りと削り出しによるマチエール③（アクリル絵具による加筆） 第7回 写真転写技法②（土台の紙の除去） 第8回 写真転写技法③（アクリル絵具による加筆） **【学生へのメッセージ】** チャレンジ精神で臨んでください。 **【受講前の準備学習等】** 授業で描く小作品は基本的に89㎜×127㎜のサイズで描くことになります。事前に鉛筆やペン等の単色の画材を用いて原寸大の下絵を2案程度描いておいてください。『絵画の教科書　アクリル画編』 古山浩一著　芸術新潮社　等、アクリル絵具の技法に関する書籍を一読し、素材に関する事前知識を深めておいてください。 **【成績評価の方法】** 授業内で実施する実技課題への主体的な取り組みおよび完成作品（２点：マチエール１点、写真転写１点）で評価します。
学習センター	栃木学習センター		
学習センターコード	09A		
クラスコード	K		
科目名	**アクリル絵具の描画技法**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	25名		
担当講師	カブタ　マサヒコ 株田　昌彦 宇都宮大学・教授		
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 12月20日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00		
実施会場	この授業は、【★宇都宮大学峰キャンパス8号館B棟1階図画工作室（両日とも9:40までに栃木学習センター集合。その後一斉に教室まで移動)】で行います。		**【受講者が当日用意するもの】** 水彩画用の筆3～4本：幅10㎜程度の平筆１本、5mm程度の平筆1本、面相筆2本 アクリル絵具：大学でも準備しますが、なるべく準備してください。セットではなくバラ売りのもの５色（赤、青、黄、白、黒）程度でも大丈夫です。100均のものは避けてください。 ペーパーパレット、水入れ、キッチンペーパーもしくは雑巾、写真転写に使用する新聞紙や広告、雑誌 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2690667
学習センター	栃木学習センター
学習センターコード	09A
クラスコード	K
科目名	**コンピュータ工学入門**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ヨコタ　タカシ 横田　隆史 宇都宮大学・名誉教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:40 試験・レポート等 16:40～17:00 12月13日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:35 試験・レポート等 16:35～17:00
実施会場	栃木学習センター

授業概要

【授業内容】
コンピュータの仕組みについて根源的な部分から解き明かしていきます。まずコンピュータとは何かとの問いから始め、最初の電子式計算機の誕生から現在の姿までの歴史を辿ります。次に、ハードウェアの基盤となる論理回路から出発し、コンピュータの基本部分まで説明していきます。そのうえで、ハードウェアの制御をするものとしてのソフトウェアにつなげて行きます。また、コンピュータはプロセッサ（演算装置）だけでは実用上成り立ちません。このためシステムとしての観点についてオペレーティングシステムを含め解説していきます。

【到達目標】
コンピュータの基本的な仕組みや構成を理解し概略を説明できる。また、プログラムが動作する様子を総合的に理解し説明できる。さらにシステムとしてのコンピュータを理解し説明できる。

【授業テーマ】
第1回 コンピュータ（計算するもの）とは
第2回 最初のコンピュータ・いまのコンピュータ
第3回 計算機ハードウェアの根幹をなす論理回路
第4回 計算機ハードウェア
第5回 計算機ハードウェアを動かす仕組み
第6回 計算機ソフトウェア
第7回 システムとしてのコンピュータ
第8回 オペレーティングシステム

【学生へのメッセージ】
昨今ＡＩ（人工知能）などがもてはやされる一方、コンピュータの基本的な部分に関してはブラックボックス化が進んでいるように見受けられます。ともすればコンピュータについて魔法の箱のように見えてしまいますが、原理的な部分では単なる機械でしかありません。本講座によって、コンピュータに対する認識を新たにしてほしいと思います。

【受講前の準備学習等】
（事前学習） パソコンやスマホなどのコンピュータの「なかみ」がどうなっているのか、そのような物が中に入っているのか、調べてみてください。コンピュータが一般化したのは、ほんの最近のことです。それまでの間、人間はどのように「計算」してきたのかについても調べておくと良いです。
（事後学習） 単なる「機械」がコンピュータとして動作する様子をイメージできるよう、授業内容を復習してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・理工系のコンピュータ基礎学（稲垣耕作／コロナ社／¥2,640／ISBN=9784339024135）
・あなたはコンピュータを理解していますか？（梅津信幸／ソフトバンク・クリエイティブ／／ISBN=9784797339499）
絶版ですが、古本で手に入ると思います。
・オペレーティングシステム（改訂2版）（野口健一郎、光来健一、品川高廣／オーム社／¥3,080／ISBN=9784274221569）

科目コード	2690675	**授業概要**	**【授業内容】** 我が国の国土の約2/3を占める森林は、私たちが生存する上で欠かせない基盤です。本講義では、森林と人間の関わり、日本の森林の現状、そして森林が有する多面的機能について解説します。その上で、資源を枯渇させず将来世代へ引き継ぐための整備・管理手法「保続可能な森林管理（Sustainable Forest Management）」について学びます。10/17は教室での座学により理論を学び、10/24は実際のフィールドに赴き、現場での実践的な学びを通して森林管理の実情を体感していただきます。 **【到達目標】** 森林と人間の関わり、我が国の森林の現状、そして森林が有する多面的機能について理解し、「保続可能な森林管理（SFM）」の内容について説明することができる。 **【授業テーマ】** 第1回 森林と人間の関わり 第2回 我が国の森林の現状とモニタリング 第3回 森林が有する多面的機能 第4回 保続可能な森林管理 第5回 森林踏査実習（森の育て方） 第6回 森林踏査実習（様々な森林） 第7回 森林踏査実習（森林管理） 第8回 森林調査実習 **【学生へのメッセージ】** 本授業では座学だけではなく森林のフィールドにおいて森林管理の実情を体感しながら実践的に学んでいただきます。10/24については当日の天候状況において内容を変更することがありますのでご留意ください。 **【受講前の準備学習等】** 我が国の森林・林業についてインターネット等で調べておいてください。シラバスの内容をキーワードとして我が国の森林・林業についてインターネット等で調べて自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	栃木学習センター		
学習センターコード	09A		
クラスコード	K		
科目名	**保続可能な森林管理**		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	マツエ　ケイゴ 松英　恵吾 宇都宮大学・准教授		
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00		
実施会場	この授業は、【栃木学習センター及び★未来農学共創センター森林資源フィールド(船生)(2日目)】で行います。		**【受講者が当日用意するもの】** 10/24では実際に森林（未来農学共創センター森林資源フィールド（船生））において実習を行います。午前・午後で林道を中心に約5km程度の徒歩移動を伴いますので服装・靴（トレッキング／長靴）の準備をお願いします。雨具や飲料も合わせて準備してください。また、当地はヤマビルの生息域になりますので足回りの対策や虫除け等もお願いします。 **【教科書】** 教科書は使用しません。
			【その他（特記事項）】 10/24は未来農学共創センター森林資源フィールド（船生）（栃木県塩谷郡塩谷町船生7556）に現地集合・解散になります。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧 (P.5参照)）

科目コード	2690691	**授業概要**	**【授業内容】** **----------** **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** **【受講前の準備学習等】** **【受講者が当日用意するもの】** **【その他（特記事項）】** **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** **----------** 本講義では、コンピュータネットワークとセキュリティの基本的な内容を幅広く学びます。自宅や各社で使っているネットワーク技術やインターネットを解説する内容が７割程度で、資料を用いた解説と演習を交えながら講義します。セキュリティは、セキュリティ対策として利用される機器で行っていることや、暗号化について解説し、最後に日常的なセキュリティ対策について講義します。 **【到達目標】** 現在主にインターネットで利用されているネットワーク技術について、各階層の違いを意識して説明できるようになる。 ウエブで利用されている通信と主なセキュリティ技術を説明できるようになる。 家庭や企業のLANで利用されている機器やプロトコルを理解し、基本的なネットワーク構成を作れるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 ネットワークの基礎知識とハードウエア 第2回 代表的なアプリケーション：HTTP 第3回 DNS、DHCP、TCPとUDP 第4回 ルーティングとスイッチング 第5回 イーサネット 第6回 ネットワークセキュリティの基本、暗号化 第7回 暗号化 第8回 セキュリティ対策 **【受講前の準備学習等】** パソコンの基本的な操作方法は事前に習得し、ウェブブラウザを利用してGoogle検索などができるようにしていただくようお願いします。パソコンのネットワークの設定や自宅のインターネット接続環境についても調べておくと理解が深まると思います。 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	群馬学習センター		
学習センターコード	10A		
クラスコード	K		
科目名	**情報ネットワークとセキュリティ**		
科目区分	基盤科目		
ナンバリング	110		
定員	20名		
担当講師	ハマモト　ノブクニ 濵元　信州 群馬大学教授		
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 10月25日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	群馬学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** １．持参する端末 ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。 ２．OSの指定 WindowsまたはmacOSが必要です。 ３．ソフトのインストール ブラウザを使用しますが種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。配布資料はpdfで提供しますので、pdfファイルを閲覧するソフトウェア（Adobe Reader等）が必要です。 **【教科書】** 教科書は使用しません。 **【参考書】** ・情報通信ネットワーク（阪田史郎 [ほか] 共著／オーム社／¥3,080／ISBN=4274217973） ・コンピュータネットワーク（アンドリュー・S・タネンバウム, デイビッド・J・ウエザロール著；水野忠則 [ほか] 訳／日経BP社／¥8,800／ISBN=9784822284763） ・ネットワークはなぜつながるのか：知っておきたいTCP/IP、LAN、光ファイバの基礎知識（戸根勤著／日経BP社／¥2,640／ISBN=4822283119） **【その他（特記事項）】** この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 講義資料はウェブブラウザ上で確認しながら進めるため、紙資料の配布は行いません。充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2690730
学習センター	群馬学習センター
学習センターコード	10A
クラスコード	K
科目名	**エクセル基礎演習**
科目区分	基盤科目
ナンバリング	120
定員	15名
担当講師	カワシマ　ヒサノブ 川島　久宜 群馬大学准教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 12月6日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	群馬学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

本講義はマイクロソフト社のExcelを用いた演習を行います。関数を用いた表計算、結果の可視化（グラフ化）、ピポットテーブルを用いた統計処理などを練習します。本講義にはPCの基本操作は含みません。受講者はインターネットやWordなどPCを操作した経験のある方を対象とします。
【到達目標】
表計算ソフト（エクセル）のさまざまな機能について学び、自分の力で関数を用いた統計処理の実行、結果についてのグラフ作成などができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 導入、本講義の到達目標などの伝達、Excelの基本動作
第2回 グラフ作成、他のソフトの連携、関数
第3回 統計関数、グラフとデータの装飾
第4回 データ解析例（平均値、標準偏差、相関係数など）
第5回 統計関数、条件判断
第6回 データベースの処理
第7回 データ分析（ピボットテーブルの利用）
第8回 まとめ（課題回答）
【受講前の準備学習等】
本講義を受講ために、事前にPCの基本的な操作の習得とエクセル等に使用される用語を学習しておいてください。その他、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
　ノートパソコン又はタブレットを持参してください（スマートフォンは不可です）。
２．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。ただし、講義はWindows11、マイクロソフトOffice2024を用いて行います。
３．ソフトのインストール
・表計算ソフトウェア（Excel）を使用します。講義内容の一部にWordなどの他のソフトウェアを用いた説明を含みます。
・講義ではマイクロソフト社製（MS）のExcel2024を使用しますが、演習に支障が無ければ他社の類似したソフトウェアを使用することを認めます。ただし、ソフトウェアの使用方法などについてはサポートできません。
・講義資料をPDFで配布します。ファイルを閲覧する場合はファイルを閲覧できるソフト（例えばAcrobat Readerなど）を準備してください。
４．その他
・講義では Excel2024を用いて説明しますが、以前のバージョンのソフトウェアを使用している場合でも講義は受講可能です。
・マウスを準備することを推奨します。
・講義当日までに講義資料をインターネットからダウンロードしてください。インターネットからダウンロードできない場合は講義当日にUSBメモリなどの外部記録媒体（ウイルスチェック済みのもの）を持参いただき、講義開始前にご連絡ください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2690705	**授業概要**	**【授業内容】** 日本人の成人学習者を対象に、多読（Extensive Reading, ER）を通じて英語力を向上させる方法を学びます。自分のレベルに合った「グレーデッド・リーダー」（簡単な英語で書かれた本）を使いながら、読む力、語彙、理解力を楽しく伸ばします。授業では 読書活動、ディスカッション、ストーリーテリング などを行い、最後にはテストまたは読書レポートを提出します。英語の本を読むのが初めての方でも安心して参加できます。自分のペースで英語を楽しく学ぶことができます。 **【到達目標】** ・自信をもって英語を読み、楽しむことができるようになる。 ・英語を流暢に話し、聴いた内容を理解できるようになる。 ・文脈を通じて語彙と文法を理解できるようになる。 ・読書を通して自分の考えを伝えたり人と意見を交わせることができるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 多読の紹介と本の選び方 第2回 読書目標を立てる & 流暢に読むコツ 第3回 語彙の理解 & 物語の要素を学ぶ 第4回 本のディスカッション & ジャンルの探求（Ⅰ） 第5回 本のディスカッション & ジャンルの探求（Ⅱ） 第6回 ストーリーを伝える & 理解を深める 第7回 本の最終ディスカッション 第8回 振り返り **【学生へのメッセージ】** このコースはすべて簡単な英語で行います。授業への積極的な参加がとても大切です。初日の第１回目の授業で多読本の選び方を伝えますので、それを参考にして２日目の授業までにご自身のレベルに応じた多読本を２冊ご準備いただきます。詳しくは授業でお伝えします。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	群馬学習センター		
学習センターコード	10A		
クラスコード	K		
科目名	**英語で多読**		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	130		
定員	30名		
担当講師	ベルジュロン　シルバン Bergeron Sylvain 放送大学客員准教授		
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 11月29日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	群馬学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具。 ご自身で多読本をお持ちの方は当日２冊ご持参ください。お持ちでない方は、群馬学習センターの図書室で貸出が可能です。１日目の1時限目に図書室で借りていただくお時間を設けますが、時間に限りもございますので、可能な方は各自のレベルに合った多読本を予め借りておいてください。 **【教科書】** 授業当日に補助教材を配付します。
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。 ご用意する多読本は電子ブック（ebook）も可です。ebookは放送大学附属図書館からも利用可能です。本授業はBYOD科目ではありませんが、もしダウンロードした端末を当日持参することができるのであれば、ebookのまま使用しても構いません。（端末はフル充電でご準備ください。）

科目コード	2690713
学習センター	群馬学習センター
学習センターコード	10A
クラスコード	K
科目名	**海外旅行実践英会話13**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	30名
担当講師	ウエハラ　ケイコ 上原　景子 群馬大学名誉教授／育英大学教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 12月20日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	群馬学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では、海外旅行の典型的な場面を設定し、日常生活でも活用できる様々な英語表現を学びます。また、基礎的な文法事項や語彙を復習したり、英語の発音の特徴を学んだりしていきます。これまで学校などで、「英語は難しい、不得意だ」と感じていた方でも安心して学習できるよう、ペアやグループで英語を実際に使っていく活動を数多く行います。教科書は毎時間活用するため、必ずご用意ください。

【到達目標】
・海外旅行の典型的な場面で使われる英語表現が理解できるようになる。
・海外旅行の典型的な場面で使われる英語表現を聞く・話す活動を通して、英語の発音の特性や基本的な文法・語彙に気づくことができる。
・ペア活動やグループ活動を通して、海外旅行の典型的な場面で使われる英語表現を使うことができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 はじめに：本授業の目的と概要、海外旅行の場面と英語表現
第2回 機内と入国審査に活用できる英語表現
第3回 滞在先での活動に活用できる英語表現
第4回 現地での観光に活用できる英語表現、買い物に活用できる英語表現：その1
第5回 買い物に活用できる英語表現：その2
第6回 食事の際に活用できる英語表現：その1
第7回 食事の際に活用できる英語表現：その2、出国や困った時に使える英語表現
第8回 英語の発音上達法、まとめ：今後の英語学習に向けて

【学生へのメッセージ】
この授業は、学習者中心の活動を行い英語のコミュニケーション能力向上を目指します。海外旅行の典型的な場面を設定し、ペアやグループで会話練習を多く行います。英語を使って積極的に交流し、楽しく学びましょう。

【受講前の準備学習等】
教科書は、毎時間使うため、ご用意をお願いします。指定した教科書をよく読んでおいてください。また、教科書についてくる音声を、可能な限りたくさん聞いてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
教科書、授業で使った配布資料、辞書（英和・和英、電子辞書でも紙辞書でも可）、筆記用具

【教科書】
・キクタン英会話（海外旅行編）（一杉武史／アルク／¥1,320／ISBN=9784757424081）
※新装版（ISBN=9784757442016）でも可。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
教科書を用いて授業を進めていくため、受講者は必ず教科書を購入し、授業時に持参してください。

科目コード	2690721	**授業概要**	**【授業内容】** **----------** **この科目は、学習センター又は自宅（Zoom）で受講場所を選択できるハイフレックス型講義です。** **科目コードは同一ですが、クラスコードが異なります。科目登録決定後は変更できませんので、申請時に間違えないようご注意ください。** **HK　→　学習センター** **HL　→　自宅等（Zoom）** **※自宅等（Zoom）での受講を希望する場合は、クラスコード「HL」のシラバスを確認してください。** **----------** 現存する日本最古の歌集である『万葉集』は130年もの間に詠まれた歌を収めています。「『万葉集』を読む１」である今回は、舒明朝から天武朝までに詠まれた歌を中心に読んでいきます。 **【到達目標】** 『万葉集』とはどのような文献かを理解した上で、舒明朝から天武朝までに詠まれた歌の特徴、内容をさまざまな角度から説明することができるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 概説 第2回 伝承の歌人たち 第3回 舒明天皇・中皇命 第4回 有間皇子 第5回 天智天皇・額田王Ⅰ 第6回 額田王Ⅱ・天武天皇Ⅰ 第7回 天武天皇Ⅱ・持統天皇 第8回 大津皇子・大伯皇女 **【学生へのメッセージ】** はじめて受講する人にもよく理解できるよう心がけます。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。レポートは、指定する方法により後日群馬学習センターへ提出いただきます。
学習センター	群馬学習センター		
学習センターコード	10A		
クラスコード	HK		
科目名	**『万葉集』を読む１**		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	220		
定員	30名		
担当講師	スズキ　タカオ 鈴木　崇大 群馬県立女子大学准教授		
日程 **実施時間**	11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15		
実施会場	群馬学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具等 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・入門 万葉集（上野誠／筑摩書房／¥836／ISBN=9784582921809） ・万葉集入門（鈴木日出男／岩波書店／¥946／ISBN=9784005004140）
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2690721
学習センター	群馬学習センター
学習センターコード	10A
クラスコード	HL
科目名	**『万葉集』を読む1**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	220
定員	15名
担当講師	スズキ　タカオ 鈴木　崇大 群馬県立女子大学准教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月8日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15
実施会場	この授業は、【▲自宅等(Zoom)】で行います。

授業概要

【授業内容】

この科目は、学習センター又は自宅（Zoom）で受講場所を選択できるハイフレックス型講義です。
科目コードは同一ですが、クラスコードが異なります。科目登録決定後は変更できませんので、申請時に間違えないようご注意ください。
HK　→　学習センター
HL　→　自宅等（Zoom）
本シラバスは、受講場所を「自宅（Zoom）」とする場合の注意事項等を記載しています。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を必ずご確認ください。
※学習センターでの受講を希望する場合は、クラスコード「HK」のシラバスを確認してください。

現存する日本最古の歌集である『万葉集』は130年もの間に詠まれた歌を収めています。「『万葉集』を読む１」である今回は、舒明朝から天武朝までに詠まれた歌を中心に読んでいきます。

【到達目標】

『万葉集』とはどのような文献かを理解した上で、舒明朝から天武朝までに詠まれた歌の特徴、内容をさまざまな角度から説明することができるようになる。

【授業テーマ】

第1回 概説
第2回 伝承の歌人たち
第3回 舒明天皇・中皇命
第4回 有間皇子
第5回 天智天皇・額田王Ⅰ
第6回 額田王Ⅱ・天武天皇Ⅰ
第7回 天武天皇Ⅱ・持統天皇
第8回 大津皇子・大伯皇女

【学生へのメッセージ】

はじめて受講する人にもよく理解できるよう心がけます。

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
Web会議システムZoomを利用します。無料で利用できますが、あらかじめZoom公式ホームページからサインアップ（利用登録）が必要です。受講にあたっては、事前にZoomでマイク、スピーカー、Webカメラが正しく動作することを確認してください。また、出席確認のため表示名は学籍登録している氏名としてください。
Zoomのアクセス情報等、授業を受講するにあたっての必要な情報は、キャンパスメールアドレスへ配信いたします。システムWAKABAの初期パスワードは、一定期間たっても変更されていないと、ロックアウトされログインできなくなりますので、必ず初期パスワード変更等を行い、メールの利用環境を確認しておいてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。レポートは、指定する方法により後日群馬学習センターへ提出いただきます。

【受講者が当日用意するもの】

筆記用具等
マイク、スピーカー、Webカメラを備え、Zoomが動作するパソコンが必要です。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【参考書】

・入門 万葉集（上野誠／筑摩書房／¥836／ISBN=9784582921809）
・万葉集入門（鈴木日出男／岩波書店／¥946／ISBN=9784005004140）

【その他（特記事項）】

この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
Zoomを利用するためには、一定の条件を満たす通信環境が必要です。例えば、通信状態が安定して維持できる環境が必要であり、ご自宅等でご利用の通信サービスで対応可能であるか必ずご確認ください。なお、Zoomに接続するための通信費やプロバイダ代金等は、受講生各自の負担となります。Zoomに１時間接続すると約0.1～0.5GBのデータ通信量が発生し、４～５時間常時接続すると約0.5～2.5GBのデータ通信量の発生が見込まれます。なお、モバイル端末でのZoomを利用した授業の受講は不可能ではありませんが、長時間の受講にはパソコンでの接続を推奨します。
受講中に通信障害が発生した場合、まず授業科目を開講している学習センターに問合せを行ってください。
なお、ご自身の端末の故障など、本学の責によらない事情で受講できなかった場合、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2690748
学習センター	群馬学習センター
学習センターコード	10A
クラスコード	K
科目名	**補完・代替療法入門**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	スズキ　エリ 鈴木　恵理 群馬県立県民健康科学大学講師
日程 実施時間	12月5日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 12月6日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	群馬学習センター

授業概要

【授業内容】
補完・代替療法とは、病院で受ける治療（いわゆる西洋医学）以外のものの総称です。リラクセーション法やアロマセラピー、マッサージなどが該当します。補完・代替療法に該当するものはとても多いため、すべてを確認することはできません。いくつかのものに対して概要を確認し、いくつかは実際に体験することを通して、自分自身を癒やす（セルフケア）方法の1つとして興味を持っていただけたらと思います。

【到達目標】
1. 補完・代替療法の概要について記述することができる。
2. 補完・代替療法を実施する際の留意点を列挙することができる。
3. 補完・代替療法を手順に基づき実施することができる。
4. 自分自身を癒やす（セルフケア）方法の1つとして補完・代替療法を学修する意義を記述することができる。

【授業テーマ】
第1回 ガイダンス、補完・代替療法とは①
第2回 補完・代替療法とは②
第3回 心を落ち着かせるもの①（リラクセーション法①）
第4回 心を落ち着かせるもの②（リラクセーション法②）
第5回 感覚を通して行うもの（アロマセラピー　など）
第6回 手を使って行うもの（マッサージ　など）
第7回 体を使って行うもの（笑いヨガ　など）
第8回 まとめ

【学生へのメッセージ】
補完・代替療法の実際として、リラクセーション法や笑いヨガなどを体験していただく予定です。【当日用意するもの】にもありますが、動きやすい服装で参加してください。

【受講前の準備学習等】
事前学習として、シラバスの内容を参考に、普段、何気なく行っているものの中に、補完・代替療法がないか、振り返ってください。
振り返る際には、「どのようなときに行うのか」「どのような内容や方法なのか」「どのような変化があったのか」など、できるだけ具体的にしてみてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
両日ともに、動きやすい服装で参加してください。できれば水分の準備もお願いします。
２日目のみ、マッサージで使用するフェイスタオル（またはバスタオル）と、（ベビーオイルがアレルギーなどで使用できない方のみ）ローションかクリームの準備をお願いします。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2690756
学習センター	群馬学習センター
学習センターコード	10A
クラスコード	K
科目名	**臨床心理学3 カウンセリング実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	カトウ　マサヒロ 加藤　昌弘 グループインサイト「こころの相談室」代表
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月1日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15
実施会場	群馬学習センター

授業概要

【授業内容】
基本的なカウンセリング技法を学びます。参加者全員が「話し手」と「聴き手」の役割を交互に行いながら、技法を一つずつ体験的に学習していきます。受講生全員が実習を通して「援助的に係わる力」を向上することが出来れば、講師としてこの上ない喜びです。なお、この授業の単位取得の条件としてレポート作成が必須となります。
【到達目標】
カウンセリングマインドを理解し、基本的なカウンセリング技法を習得し、良き聴き手として相談場面だけでなく、日常生活場面でも活用できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 カウンセリングマインドとは何か
第2回 関わり技法を学ぶ（ノンバーバル・コミュニケーションの実習）
第3回 傾聴技法を学ぶ（ペアワークによるアクティブ・リスニングの実習）
第4回 共感的な理解とは何か（相手の感情に焦点を当てる実習）
第5回 質問技法と明確化技法を学ぶ（「訊く力」をつけるための実習）
第6回 価値観の違いに気づく（グループワークによるプロセス理解の実習）
第7回 リフレイミングと「なぜ？」の活用（ブリーフセラピーの技法実習）
第8回 実際の相談場面で起きる問題について考える
【学生へのメッセージ】
ワークショップ形式の授業のため、受講生全員に積極的な参加を求めます。また、可能な範囲での自己開示が期待されるため、実習中に知り得た他の受講生のプライバシーを、終了後も守れる人の受講に限ります。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して、参考となりそうな心理学科目を放送授業から選び、自己学習に努めて下さい。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況、及び、レポート課題により行います。レポートは、後日、群馬学習センターへの提出を求めます（メールでの提出不可、レポート返却なし）。

【受講者が当日用意するもの】
黒のサインペン。多少汚れても大丈夫な動きやすい服装（スカートではなく、ズボン・スラックスが良い）。机を片付けて椅子に座るため、A4サイズのクリップボード等があるとノートがとりやすいでしょう。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・ベーシック心理学第2版（二宮克美　他／医歯薬出版／¥3,190／ISBN=9784263422236）
・臨床心理学〔改訂版〕（丹野義彦　他／有斐閣／¥4,730／ISBN=9784641053908）
・カウンセリングの実際問題（河合隼雄／誠信書房／¥2,200／ISBN=9784414401196）
・臨床心理学小史（サトウタツヤ／筑摩書房／¥880／ISBN=9784480074829）

【その他（特記事項）】
これまで心理学関係の科目を履修していない学生でも、無理なく参加できるような内容構成にしてありますが、「臨床心理学１-自己の探求-」「臨床心理学２-ストレス対処-」を事前に履修してあると、さらに理解が進むでしょう。

科目コード	2689162
学習センター	群馬学習センター
学習センターコード	10A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験3**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	ヤマグチ　アキヒロ 山口　陽弘 群馬大学教授
日程 実施時間	11月1日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 11月8日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15
実施会場	群馬学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学の基礎的な実験３種を行います。皆さんは、それらの実験を、実験者及び参加者として経験し、得られた結果を分析し、標準的レポートにまとめます。授業を通して、心理学の仮説設定、実験の方法、データ整理と分析、標準的レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、原則として８回の授業すべてに出席し、３つの実験それぞれについて標準的レポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学実験とは（実験の基本、実験の立案・計画について）
第2回「ストループ効果実験」 実施と解説
第3回「ストループ効果実験」 結果の整理と統計的分析
第4回「視覚探索実験」 実施と解説
第5回「視覚探索実験」 結果の整理と統計的分析
第6回「SD法」 実施と解説
第7回「SD法」 結果の整理と統計的分析
第8回 レポートの書き方と執筆指導
【学生へのメッセージ】
１．認定心理士資格取得に係る科目なので、資格取得を目指す学生向けの講義となります。ある程度の心理学全般、心理統計の知識が必要となります。
２．パソコンを使用して実験を行い、レポートもパソコンで作成することになるので、パソコン（Word・Excel）の操作にある程度習熟していることを望みます。
【受講前の準備学習等】
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
次に示す２点のほか、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。
(1) 統計学に関する用語（t検定・有意水準・帰無仮説）などを統計の教科書やネット等で調べておいてください。
(2) Excelの基本操作（データの入力・データの並べ替え［昇順・降順］・平均値を求める・グラフの作成等）に、できる範囲で慣れておいてください。
また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法('21)」を視聴してください。
【成績評価の方法】
授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により評価を行います。（レポートは後日群馬学習センターへ提出します）。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。
２．OSの指定
種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）が、できればPCが苦手な方は、Windows11の方がアシスタントのサポートを受けやすいと思います。得意な方は問いません。
３．ソフトのインストール
(1) ブラウザの種類は問いません（Edge、macOS、chromeOS等）。
(2) 実験データの処理にExcelが必要です。
(3) レポート作成にWord等の文章作成ソフトが必要です。文章作成ソフトの種類は問いません（なお、レポートは手書きによる提出も可とします）。
４．その他
(1) OSがあまりに古すぎると実験の実施に支障がある場合があります。WindowsであればWindows11、MacOSであればMacOS11以上を準備してください。
(2) マウスを持参してください。実験の実施に際しては、パソコン操作において、タッチパネル式は使用不可とします。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
色識別を要する実験課題があります。

科目コード	2690764
学習センター	群馬学習センター
学習センターコード	10A
クラスコード	K
科目名	**子どもの心の問題と支援**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	32名
担当講師	クロイワ　ハツミ 黒岩　初美 放送大学非常勤講師 ホシノ　ススム 星野　進 白鷗大学足利中学校教諭
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 11月8日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	群馬学習センター

授業概要

【授業内容】
子どもが抱えている心の問題は成長過程で生じる要因と特性や気質が複雑に絡んでいます。その要因を心理的、社会的、身体的側面からアセスメントし、どのようなサポートができるか、講義と演習を交えて一緒に考えていきます。さらに、不登校、発達障害（神経発達症）、いじめ等の問題を抱えている子どもと保護者に対してのスクールカウンセリングについてグループワークを通して検討します。

【到達目標】
・子どもの心の問題について、ライフサイクル理論を参考にして心理的、社会的、身体的側面からアセスメントできる。
・不登校、発達障害（神経発達症）、いじめ待等の問題を抱えている子どもと保護者に対してのスクールカウンセリングについて理解し、支援方法を立案できる。

【授業テーマ】
第1回 臨床心理学の基本：理念や活動について（黒岩）
第2回 思春期から青年期の発達課題：視聴覚教材を視聴しながらこの時期の発達課題を探る（黒岩）
第3回 視聴覚教材を視聴後､各自でとらえた発達課題と支援についてまとめる（黒岩）
第4回 思春期から青年期の発達課題と支援についてグループワークを中心に検討し、発表しあう（黒岩）
第5回 アセスメント：心理検査の概要（検査の特色や目的等）と性格検査の演習（星野）
第6回 教育相談活動の実際：思春期の発達の特徴と諸問題に対する支援活動について（星野）
第7回 支援の実際①スクールカウンセラーの支援（黒岩）
第8回 支援の実際②とまとめ（黒岩）

【学生へのメッセージ】
不登校、発達障害（神経発達症）、いじめ等の問題を抱えている子ども達に寄り添う心のケアーとは？子どもたちとその保護者の支援について一緒に考えていきましょう。

【受講前の準備学習等】
子どもたちを取りまく問題（例：いじめ、不登校、発達障害（神経発達症）等）で、受講生が特に気になる問題を取り上げ、解決に向けた支援について、シラバスの内容に沿って自己学習を進めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・面白いほどよくわかる！臨床心理学（下山晴彦監修／西東社／¥1,540／ISBN=9784791618873）
・発達障害と呼ばないで（岡田尊司／幻冬舎　／¥880／ISBN=9784344982680）
・「死にたい」「消えたい」と思ったことがあるあなたへ（河出書房新社編／河出書房新社／¥1,540／ISBN=9784309617275）

科目コード	2689146
学習センター	群馬学習センター
学習センターコード	10A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験2**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	モリ　ケイスケ 森　慶輔 山梨県立大学教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 11月29日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15
実施会場	群馬学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学実験（記憶範囲、メンタルローテーション、要求水準、自由再生による記憶の系列位置効果）に実験者及び参加者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の仮説設定や、実験の方法、データ整理、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席する必要があります。また、すべての実験についてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 自由再生による記憶の系列位置効果に関する実験の実施
第2回 自由再生による記憶の系列位置効果に関する実験のまとめ
第3回 メンタルローテーションに関する実験の実施
第4回 メンタルローテーションに関する実験のまとめ
第5回 要求水準に関する実験の実施
第6回 要求水準に関する実験のまとめ
第7回 記憶範囲に関する実験の実施
第8回 記憶範囲に関する実験のまとめ
【学生へのメッセージ】
認定心理士資格取得に係る科目であり、単位取得には、全授業への出席とすべての実験についてレポートを提出する必要があります。またパソコンで実験を行ったり、レポートを作成することになるので、パソコン（Word・Excel）の操作にある程度習熟していることが必要です。
【受講前の準備学習等】
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
シラバスの内容から判断して、心理学実験や統計に関する書籍を読むなど自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法（'21)」を視聴してください。
【成績評価の方法】
授業内で実施する実習課題への主体的な取り組み（学習状況）とレポートの評点により評価を行います。レポートは、後日、群馬学習センターへ提出します。

【受講者が当日用意するもの】
1．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可です）。
2．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。ただし、あまり古いPCでは実験ができない場合もありますので、Windowsであれば Windows11を準備ください。
3．ソフトのインストール
　文書作成ソフトが必要です。WordやGoogleドキュメント等種類は問いません。
　表計算ソフトも必要です。ExcelやGoogleスプレッドシート等種類は問いません。
4．その他
　マウスの使用を推奨します。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
紙媒体でレポートを提出する場合は、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2689120
学習センター	群馬学習センター
学習センターコード	10A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験1**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	タカハシ　ミホ 髙橋　美保 群馬大学非常勤講師
日程 実施時間	12月20日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 12月27日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15
実施会場	群馬学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学の基礎的な実験３種を行います。皆さんは、それらの実験を、実験者及び参加者として経験し、得られた結果を分析し、標準的レポートにまとめます。授業を通して、心理学の仮説設定、実験の方法、データ整理と分析、標準的レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、原則として８コマの授業すべてに出席し、３つの実験それぞれについて標準的レポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 ガイダンス／３つの実験の概要の解説
第2回 レポートの作成方法
第3回 概念学習の実施
第4回 概念学習の結果の分析・まとめ
第5回 ミュラー・リヤー錯視実験の実施
第6回 ミュラー・リヤー錯視実験の結果の分析・まとめ
第7回 アイコニックメモリ実験の実施
第8回 アイコニックメモリ実験の分析・まとめ
【学生へのメッセージ】
１．認定心理士資格取得に係る科目なので、資格取得を目指す学生向けの講義となります。ある程度の心理学全般、心理統計の知識が必要となります。
２．パソコンを使用して実験を行い、レポートもパソコンで作成することになるので、パソコン（Word・Excel）の操作にある程度習熟していることを望みます。
【受講前の準備学習等】
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
次に示す２点のほか、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。
(1) 統計学に関する用語（t検定・有意水準･帰無仮説）などを統計の教科書やネット等でしらべておいてください。
(2) Excelの基本操作（データの入力・データの並べ替え［昇順・降順］･平均値を求める･グラフの作成等）に、できる範囲で慣れておいてください。
また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には､放送大学のインターネット配信で｢心理学概論('24)｣､｢心理学研究法('20)｣､｢心理学統計法('21)｣を視聴してください。
【成績評価の方法】
授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により評価を行います。（レポートは後日群馬学習センターへ提出します）。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
ノートパソコンを持参してください。（タブレット、スマートフォンは不可。）
２．OSの指定
種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。ただし、あまり古いPCでは実験ができない場合があります。WindowsであればWindows11、MacOSであればMacOS11以上を準備してください。
３．ソフトのインストール
（1）ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
（2）実験データの処理にExcelが必要です。（Excelの「分析ツール」を使う場合があるため、Excel2019以降のバージョンが必要です。）
（3）レポート作成に「Word等の文書作成ソフト」が必要です。Microsoft社のWordかそれに類する文書作成ソフトを使用してください。（バージョンは問いません。）
４．その他
マウスを持参してください（タッチパネル式は不可）。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2690772
学習センター	群馬学習センター
学習センターコード	10A
クラスコード	K
科目名	**環境と経済思想**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	64名
担当講師	クワタ　マナブ 桑田　学 放送大学准教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	群馬学習センター

授業概要

【授業内容】
現代の人間の産業活動に伴う自然破壊、環境汚染、気候変動は、2000年以降、「人新世」と呼ばれる新たな地質学的時代の到来とも言われるほどに、地球に後戻り不可能な変化をもたらしています。グローバルな構造的不平等を伴うこのような地球環境の複合的危機の発生と深刻化には、いかなる思想的契機が存在すると考えられるのでしょうか。本講義では、とくに人間－生態環境の視点から17世紀から現代にいたる西洋近代の社会・経済思想史を再考し、この作業をつうじて経済思想の現代的課題について考えます。
【到達目標】
現代の環境問題について歴史的かつ複層的な見方を身に付け、自分なりの説明を行うことができるようになる。
社会・環境問題への異なる思想的立場からのアプローチと争点を説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 生態的危機の歴史性について考える
第2回 市民社会と植民地主義Ⅰ：ロックとルソー
第3回 市民社会と植民地主義Ⅱ：ルソーとスミス
第4回 化石資本主義の誕生：ジェヴォンズとラスキン
第5回 20世紀転換期の「市場」と「社会」の攻防：ノイラート、ハイエク、ポランニー
第6回「大加速」とリスク社会化する世界
第7回「エコノミーとエコロジー」を再考する
第8回 成長パラダイムをめぐる歴史と現在
【学生へのメッセージ】
本講義は歴史や思想史の観点から現代の環境危機を考えることを狙いとしています。前提知識は特に必要ありませんが、思想・哲学や歴史に関心のある方のほうが興味深く聞けるのではないかと思います。環境問題について「すぐに役立つ知識」ではなく、むしろ迂回してでも問題の歴史性を踏まえて深く考えたいという方の受講を歓迎します。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。参考書に挙げた文献や世界史、社会・経済思想史の概説書などを読んでおくとより理解が深まると思います。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・人新世の経済思想史（桑田学／青土社／¥3,080／ISBN=9784791775347）
・環境と社会思想（桑田学／放送大学教育振興会／¥3,520／ISBN=9784595142192）
・資本主義の次にくる世界（ジェイソン・ヒッケル／東洋経済新報社／¥2,640／ISBN=9784492315491）
・地球を壊す暮らし方（ウルリッヒ・ブラント、マークス・ヴィッセン／岩波書店／¥3,080／ISBN=9784000614757）

科目コード	2690780	**授業概要**	**【授業内容】** フィナンシャルプランニングに基づく資産運用は、これからの日本人の経済生活において、欠かせないものになってきています。本講義では、フィナンシャルプランニング、株式、投資信託をはじめとする金融商品のしくみ、金融商品のリスクの管理方法、資産形成を支援する税制の優遇制度など、日本を中心とする社会経済と金融市場・金融機関の動向のほか、資産運用や証券投資の基礎知識について解説します。 **【到達目標】** パーソナル・ファイナンス、特にフィナンシャルプランニングや証券投資に関する幅広い知識を体系的かつ総合的に理解できるようになる。必要な情報を収集・分析し、証券・金融に関する諸問題について、総合的、論理的に思考して解決策を探究し、自分の考えや判断を論理的に説明することができるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 個人・家計の金融資産の動向 第2回 フィナンシャルプランニングの基礎と実践 第3回 個人・家計の資産運用の基礎（1） 金利、リターン、リスク 第4回 個人・家計の資産運用の基礎（2） 分散投資、長期投資の効果 第5回 個人・家計のための資産運用商品（1） 株式、債券 第6回 個人・家計のための資産運用商品（2） 投資信託 第7回 個人・家計のための税制優遇制度 NISAとiDeCoと資産運用 第8回 パーソナル・ファイナンスのまとめ **【学生へのメッセージ】** 本講座を通して、フィナンシャルプランニングや資産運用について正しい知識を身に付けて、学術的な理解を深め、受講生の実生活にも役立てていけるような講義にしたいと考えています。講義はできるだけ平易に解説していく予定ですが、数式やモデルなど難しいと感じる受講生もいると思います。受講生の理解度により授業進捗が遅れる場合もあるかもしれません。 **【受講前の準備学習等】** 金融広報中央委員会のWEBサイト「知るぽると」で紹介されている記事、資料は金融や資産運用の理解に大変役立ちます。平易に紹介されているものばかりなので、予め目を通しておくなど、自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	群馬学習センター		
学習センターコード	10A		
クラスコード	K		
科目名	**パーソナル・ファイナンスの基礎**		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	48名		
担当講師	モリ　ユウジ 森　祐司 高崎経済大学教授		
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 12月26日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	群馬学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具、ノート、電卓 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・テキスト金融論　第２版（堀江康熙・有岡律子・森祐司／新世社／¥2,750／ISBN=9784883843275）

科目コード	2690799
学習センター	群馬学習センター
学習センターコード	10A
クラスコード	K
科目名	**群馬の考古学6**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	スギヤマ　ヒデヒロ 杉山　秀宏 (公財) 群馬県埋蔵文化財調査事業団資料2課長
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15
実施会場	この授業は、【10月24日（土）群馬学習センター、10月25日（日）★県内各遺跡ほか】で行います。

授業概要

【授業内容】
群馬の歴史は火山災害との闘いの歴史でもあります。計６回にわたる古墳時代から江戸時代にかけての大規模な火山災害のうち、特に古墳時代の浅間山の爆発と榛名山の２回の爆発に伴う被害状況について明らかにします。特に、杉山が調査・報告書作成を担当した、甲を着たまま榛名山の火砕流により被災した男性が出土した金井遺跡群について詳細に説明します。また、参考に平安時代と江戸時代の浅間山噴火による火山災害についても紹介します。古墳時代の被災後の復興について重視してその様相を検討し、火山災害と人間の在り方、社会の変化について実態を明らかにします。
【到達目標】
学生は、歴史の中で特に火山災害によりどのうような被害をどれだけ受けたかを理解することができる。また、その被災にも関わらず、どのようにして復興を成し遂げていったかを把握し、現代の生活の中でも多発している災害に対する心構えを持つことができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 群馬の火山災害時の古墳文化の概要
第2回 群馬の古墳時代火山災害（浅間山、榛名山１）
第3回 群馬の古墳時代火山災害（榛名山２）
第4回 群馬の古墳時代の災害復興と社会の変化
第5回 群馬の古墳文化の概要と浅間、榛名噴火（かみつけの里博物館、日高遺跡）
第6回 榛名山噴火の様相（群馬県立歴史博物館、城山古墳）
第7回 榛名火山災害（Hr-FP）（中筋遺跡、虚空蔵塚古墳、金井東裏遺跡）
第8回 榛名火山災害（Hr-FA、FP後）（黒井峯遺跡、渋川市文化財保護課展示室、群馬県埋蔵文化財調査事業団発掘情報館）
【学生へのメッセージ】
群馬において、古墳時代の浅間山、榛名山の火山災害の被災状況と復興の様子について考古学から分かったことについて詳しく説明いたします。
【受講前の準備学習等】
参考書：『自然災害と考古学』(2013 上毛新聞社)、『古墳人、現る』(2019 上毛新聞社)、『列島の人々は火山災害にどう向き合ってきたのか』(2024 山川出版社)などが参考になります。火
山災害に関する本は、参考書以外にもありますので、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。レポートは後日、群馬学習センターへ提出します。

【受講者が当日用意するもの】
レジュメに書いていないことも授業ではお話ししますので、メモを取る用意をしてください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・『自然災害と考古学』: 災害・復興をぐんまの遺跡から探る（群馬県埋蔵文化財調査事業団 編／上毛新聞社／¥2,200／ISBN=9784863520912）
現在購入できません。図書館等でご利用ください。群馬の火山災害を中心にそれ以外の自然災害についても記述しています。
・『古墳人、現る』-金井東裏遺跡の奇跡-（群馬県埋蔵文化財調査事業団 編／上毛新聞社／¥1,500／ISBN=9784863522312）
現在購入できません。図書館等でご利用ください。金井東裏遺跡について易しく詳細に記述しています。
・『列島の人々は火山災害とどのように向き合ってきたのか』（五味文彦監修、楽畑光博編／山川出版社／¥6,600／ISBN=9784634520318）
日本全国の火山災害について紹介するとともに、杉山が古墳時代榛名山の噴火と被災・復興について、小島敦子氏が平安時代浅間山の噴火・被災・復興について記述しています。

【その他（特記事項）】
この科目は2008年度以前「 専門科目：人間の探究 」に該当します。
10月25日（日）はバスにより古墳等を現地調査しますが、道路事情等により訪問先が変わる可能性もあります。集合場所は、「広瀬川サンワパーキング（城東町立体駐車場）」（１時間100円、10時間を超え24時間まで1,000円）となりますのでご了承ください。バス代の自己負担分は、24名定員とした場合は、一人あたり4,500円程度になります。受講決定者には集合場所、集合時間等を記載したものを通知しますので、必ずご確認願います。
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。学生教育研究災害傷害保険の加入については、面接授業開設科目一覧P.5参照。

科目コード	2690802	授業概要	【授業内容】 ---------- **この科目は、学習センター又は自宅（Zoom）で受講場所を選択できるハイフレックス型講義です。** **科目コードは同一ですが、クラスコードが異なります。科目登録決定後は変更できませんので、申請時に間違えないようご注意ください。** **HK → 学習センター** **HL → 自宅等（Zoom）** **※自宅等（Zoom）での受講を希望する場合は、クラスコード「HL」のシラバスを確認してください。** ---------- 今回は、「日本民俗学の熱き時代―1920年代から30年代前半まで―」をテーマに、日本民俗学の確立期前夜について学びます。南方熊楠、柳田國男、折口信夫、早川孝太郎、渋沢敬三、岡正雄といった著名人が民俗学の確立を目指し切磋琢磨した時代です。今から100年前の出来事ですが、代表的な作品の紹介と興味深いエピソードを用意します。 【到達目標】 日本民俗学確立期前夜について理解し、民俗学の基礎知識を習得できる。さらに日常の文化事象の疑問に対する的確な判断と疑問解決の方法を身につけることができる。 【授業テーマ】 第1回 柳田國男の旅―『雪国の春』『秋風帖』『海南小記』― 第2回 柳田國男のジュネーブ体験 第3回 雑誌『民族』の時代 第4回 折口信夫と新野雪祭り 第5回 早川孝太郎『花祭』と渋沢敬三 第6回 柳田邸の喜談書屋と岡正雄 第7回『山の神とヲコゼ』をめぐる南方・渋沢の反応 第8回『明治大正史世相篇』の反響 【学生へのメッセージ】 100年前の出来事ですが、現在に関連することばかりです。興味を持ってもらえる解説を心がけます。皆さんの積極的な参加を期待します。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	群馬学習センター		
学習センターコード	10A		
クラスコード	HK		
科目名	**民俗学講座6**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	48名		
担当講師	イタバシ　ハルオ 板橋　春夫 神奈川大学大学院非常勤講師		
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 11月21日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00		
実施会場	群馬学習センター		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・日本民俗学の創成と確立―椎葉の旅から民俗学講習会まで―（板橋春夫／七月社／¥6,600／ISBN=9784909544377） ・日本の民俗学―「野」の学問の200年―（福田アジオ／吉川弘文館／¥3,630／ISBN=9784642080248） ・小さき民へのまなざし（川島秀一編／アーツアンドクラフツ／¥2,530／ISBN=9784908028342） ・柳田國男（菅野覚明／清水書院／¥1,320／ISBN=9784389421991）

科目コード	2690802
学習センター	群馬学習センター
学習センターコード	10A
クラスコード	HL
科目名	**民俗学講座6**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	15名
担当講師	イタバシ　ハルオ 板橋　春夫 神奈川大学大学院非常勤講師
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 11月21日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	この授業は、【▲自宅等(Zoom)】で行います。

授業概要

【授業内容】

この科目は、学習センター又は自宅（Zoom）で受講場所を選択できるハイフレックス型講義です。
科目コードは同一ですが、クラスコードが異なります。科目登録決定後は変更できませんので、申請時に間違えないようご注意ください。
HK　→　学習センター
HL　→　自宅等（Zoom）
本シラバスは、受講場所を「自宅（Zoom）」とする場合の注意事項等を記載しています。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を必ずご確認ください。
※学習センターでの受講を希望する場合は、クラスコード「HK」のシラバスを確認してください。

今回は、「日本民俗学の熱き時代―1920年代から30年代前半まで―」をテーマに、日本民俗学の確立期前夜について学びます。南方熊楠、柳田國男、折口信夫、早川孝太郎、渋沢敬三、岡正雄といった著名人が民俗学の確立を目指し切磋琢磨した時代です。今から100年前の出来事ですが、代表的な作品の紹介と興味深いエピソードを用意します。

【到達目標】
日本民俗学確立期前夜について理解し、民俗学の基礎知識を習得できる。さらに日常の文化事象の疑問に対する的確な判断と疑問解決の方法を身につけることができる。

【授業テーマ】
第1回 柳田國男の旅―『雪国の春』『秋風帖』『海南小記』―
第2回 柳田國男のジュネーブ体験
第3回 雑誌『民族』の時代
第4回 折口信夫と新野雪祭り
第5回 早川孝太郎『花祭』と渋沢敬三
第6回 柳田邸の喜談書屋と岡正雄
第7回『山の神とヲコゼ』をめぐる南方・渋沢の反応
第8回『明治大正史世相篇』の反響

【学生へのメッセージ】
100年前の出来事ですが、現在に関連することばかりです。興味を持ってもらえる解説を心がけます。皆さんの積極的な参加を期待します。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
Web会議システムZoomを利用します。無料で利用できますが、あらかじめZoom公式ホームページからサインアップ（利用登録）が必要です。受講にあたっては、事前にZoomでマイク、スピーカー、Webカメラが正しく動作することを確認してください。また、出席確認のため表示名は学籍登録している氏名としてください。
Zoomのアクセス情報等、授業を受講するにあたっての必要な情報は、キャンパスメールアドレスへ配信いたします。システムWAKABAの初期パスワードは、一定期間たっても変更されていないと、ロックアウトされログインできなくなりますので、必ず初期パスワード変更等を行い、メールの利用環境を確認しておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
マイク、スピーカー、Webカメラを備え、Zoomが動作するパソコンが必須です。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・日本民俗学の創成と確立―椎葉の旅から民俗学講習会まで―（板橋春夫／七月社／¥6,600／ISBN=9784909544377）
・日本の民俗学―「野」の学問の200年―（福田アジオ／吉川弘文館／¥3,630／ISBN=9784642080248）
・小さき民へのまなざし（川島秀一編／アーツアンドクラフツ／¥2,530／ISBN=9784908028342）
・柳田國男（菅野覚明／清水書院／¥1,320／ISBN=9784389421991）

【その他（特記事項）】
Zoomを利用するためには、一定の条件を満たす通信環境が必要です。例えば、通信状態が安定して維持できる環境が必要であり、ご自宅等でご利用の通信サービスで対応可能であるか必ずご確認ください。なお、Zoomに接続するための通信費やプロバイダ代金等は､受講生各自の負担となります｡Zoomに１時間接続すると約0.1～0.5GBのデータ通信量が発生し、４～５時間常時接続すると約0.5～2.5GBのデータ通信量の発生が見込まれます。なお、モバイル端末でのZoomを利用した授業の受講は不可能ではありませんが、長時間の受講にはパソコンでの接続を推奨します。受講中に通信障害が発生した場合、まず授業科目を開講している学習センターに問合せを行ってください。
なお、ご自身の端末の故障など、本学の責によらない事情で受講できなかった場合、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2690810
学習センター	群馬学習センター
学習センターコード	10A
クラスコード	HK
科目名	**機械学習入門**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	320
定員	23名
担当講師	マツウラ　ツトム 松浦　勉 放送大学客員教授／ 群馬大学医学部附属病院先端医療開発センター研究員
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15
実施会場	群馬学習センター

授業概要

【授業内容】

この科目は、学習センター又は自宅（Zoom）で受講場所を選択できるハイフレックス型講義です。
科目コードは同一ですが、クラスコードが異なります。科目登録決定後は変更できませんので、申請時に間違えないようご注意ください。
HK　→　学習センター
HL　→　自宅等（Zoom）
※自宅等（Zoom）での受講を希望する場合は、クラスコード「HL」のシラバスを確認してください。

機械学習とは、データ群から「機械」（コンピューター）が自動で「学習」し、データの背景にあるルールやパターンを発見して予測などに利用する方法論の総称です。この講義では機械学習の考え方の基礎から応用までを解説します。また、代表的な手法のいくつか（線形回帰、決定木、パーセプトロンなど）についてアルゴリズムとその数理的背景も講義します。

【到達目標】

機械学習の考え方を理解し、主要な機械学習の方法論とそれらの数理的背景について説明することができる。

【授業テーマ】

第1回 機械学習とは何か
第2回 線形回帰
第3回 決定木
第4回 k-最近傍法とk-Means法
第5回 パーセプトロン（1）
第6回 パーセプトロン（2）
第7回 Pythonによる機械学習の実演
第8回 ディープラーニング

【学生へのメッセージ】

シラバス記載の項目に関して、事前に概略をざっと学習しておくと講義が理解しやすいと思います。
講師のパソコンで機械学習の実演（プログラム言語はPython）も行いますが、Python未経験の方でも受講可能です。

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。インターネットへの接続はしないため、学習センターでの無線LAN利用申請等は不要です。

【成績評価の方法】

成績評価は課題レポートにより行います。課題内容は第8回目（10月25日第4時限の後半）に説明します。レポートは後日群馬学習センターへ提出します。レポートはメール提出も認めます（学習センターのメールアドレスへ送付）。

【受講者が当日用意するもの】

ノート、筆記用具

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【参考書】

・Pythonで動かして学ぶ！あたらしい機械学習の教科書 第3版（伊藤真／翔泳社／¥2,970／ISBN=9784798171494）
・見て試してわかる機械学習アルゴリズムの仕組み 機械学習図鑑（秋庭伸也／翔泳社／¥2,948／ISBN=9784798155654）

科目コード	2690810
学習センター	群馬学習センター
学習センターコード	10A
クラスコード	HL
科目名	**機械学習入門**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	マツウラ　ツトム 松浦　勉 放送大学客員教授／ 群馬大学医学部附属病院先端医療開発センター研究員
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15
実施会場	この授業は、【▲自宅等(Zoom)】で行います。

授業概要

【授業内容】

この科目は、学習センター又は自宅（Zoom）で受講場所を選択できるハイフレックス型講義です。
科目コードは同一ですが、クラスコードが異なります。科目登録決定後は変更できませんので、申請時に間違えないようご注意ください。
HK　→　学習センター
HL　→　自宅等（Zoom）
本シラバスは、受講場所を「自宅（Zoom）」とする場合の注意事項等を記載しています。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を必ずご確認ください。
※学習センターでの受講を希望する場合は、クラスコード「HK」のシラバスを確認してください。

機械学習とは、データ群から「機械」（コンピューター）が自動で「学習」し、データの背景にあるルールやパターンを発見して予測などに利用する方法論の総称です。この講義では機械学習の考え方の基礎から応用までを解説します。また、代表的な手法のいくつか（線形回帰、決定木、パーセプトロンなど）についてアルゴリズムとその数理的背景も講義します。
【到達目標】
機械学習の考え方を理解し、主要な機械学習の方法論とそれらの数理的背景について説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 機械学習とは何か
第2回 線形回帰
第3回 決定木
第4回 k-最近傍法とk-Means法
第5回 パーセプトロン（1）
第6回 パーセプトロン（2）
第7回 Pythonによる機械学習の実演
第8回 ディープラーニング
【学生へのメッセージ】
シラバス記載の項目に関して、事前に概略をざっと学習しておくと講義が理解しやすいと思います。
講師のパソコンで機械学習の実演（プログラム言語はPython）も行いますが、Python未経験の方でも受講可能です。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。インターネットへの接続はしないため、学習センターでの無線LAN利用申請等は不要です。
Web会議システムZoomを利用します。無料で利用できますが、あらかじめZoom公式ホームページからサインアップ（利用登録）が必要です。受講にあたっては、事前にZoomでマイク、スピーカー、Webカメラが正しく動作することを確認してください。また、出席確認のため表示名は学籍登録している氏名としてください。
Zoomのアクセス情報等、授業を受講するにあたっての必要な情報は、キャンパスメールアドレスへ配信いたします。システムWAKABAの初期パスワードは、一定期間たっても変更されていないと、ロックアウトされログインできなくなりますので、必ず初期パスワード変更等を行い、メールの利用環境を確認しておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は課題レポートにより行います。課題内容は第8回目（10月25日第4時限の後半）に説明します。レポートは後日群馬学習センターへ提出します。レポートはメール提出も認めます（学習センターのメールアドレスへ送付）。

【受講者が当日用意するもの】
ノート、筆記用具
マイク、スピーカー、Webカメラを備え、Zoomが動作するパソコンが必要です。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・Pythonで動かして学ぶ！あたらしい機械学習の教科書 第3版（伊藤真／翔泳社／¥2,970／ISBN=9784798171494）
・見て試してわかる機械学習アルゴリズムの仕組み 機械学習図鑑（秋庭伸也／翔泳社／¥2,948／ISBN=9784798155654）

【その他（特記事項）】
Zoomを利用するためには、一定の条件を満たす通信環境が必要です。例えば、通信状態が安定して維持できる環境が必要であり、ご自宅等でご利用の通信サービスで対応可能であるか必ずご確認ください。なお、Zoomに接続するための通信費やプロバイダ代金等は、受講生各自の負担となります。Zoomに1時間接続すると約0.1～0.5GBのデータ通信量が発生し、4～5時間常時接続すると約0.5～2.5GBのデータ通信量の発生が見込まれます。なお、モバイル端末でのZoomを利用した授業の受講は不可能ではありませんが、長時間の受講にはパソコンでの接続を推奨します。受講中に通信障害が発生した場合、まず授業科目を開講している学習センターに問合せを行ってください。
なお、ご自身の端末の故障など、本学の責によらない事情で受講できなかった場合、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2690829	**授業概要**	**【授業内容】** ロボットはどのように動作するのか、またどのように動かすことができるのでしょうか。ロボットのメカニズム、ダイナミクス、制御そしてそのプログラムの概要を理解しましょう。主なトピックは、デジタル回路、アクチュエータ、センサ、ネットワーク、制御設計、組込みソフトウェアです。（会場に設置のパソコンを使用します。BYOD科目ではありません。） **【到達目標】** ・デジタル回路の基本を理解し、簡単な回路を構成できるようになる。 ・IoTの仕組みを理解する。 ・ロボット制御に必要なプログラミング言語Pythonを学修し、基本的なプログラムを作成できるようになる。 ・ロボット制御の基本を理解する。 **【授業テーマ】** 第1回 ロボットの概要と実験演習環境 第2回 プログラミング言語Python（1） 第3回 プログラミング言語Python（2） 第4回 アクチュエータとセンサ（1） 第5回 アクチュエータとセンサ（2） 第6回 アクチュエータとセンサ（3） 第7回 デジタル回路（1） 第8回 デジタル回路（2） **【学生へのメッセージ】** プログラミング言語Pythonでプログラムを作成します。講義では、プログラミングが初めての方にも分かるように説明しますが、文字入力、マウス操作などＰＣの基本的な操作方法は習熟していることを前提としています。 **【受講前の準備学習等】** どのようなプログラミング言語でも良いので、プログラムを作成し実行することができると良いです。必須ではありません。その他はシラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
学習センター	群馬学習センター		
学習センターコード	10A		
クラスコード	K		
科目名	**ロボットプログラミング**		
科目区分	専門科目：情報		
ナンバリング	320		
定員	25名		
担当講師	モテギ　カズヒロ 茂木　和弘 群馬大学准教授		
日程 実施時間	12月6日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 12月13日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	この授業は、【★群馬大学太田キャンパス】で行います。		**【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 駐車場は群馬大学太田キャンパスが入居する、テクノプラザおおた立体駐車場が利用できます。受講決定者には利用案内、集合場所、集合時間等を記載したものを通知しますので、必ずご確認願います。「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。学生教育研究災害傷害保険の加入については、面接授業開設科目一覧P.5参照。

科目コード	2690837
学習センター	群馬学習センター
学習センターコード	10A
クラスコード	K
科目名	**尾瀬の自然と その適正な利用**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	カトウ　カズヒロ 加藤　和弘 放送大学教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～17:00 第５時限　19:00～20:30 10月18日(日) 第１時限　 9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～16:15
実施会場	この授業は、【★群馬県利根郡片品村内旅館及び尾瀬ヶ原】で行います。

授業概要

【授業内容】
尾瀬は、福島県、新潟県、群馬県にまたがる盆地とそれを囲む一群の山岳からなる一帯です。盆地には大規模な高層湿原である尾瀬ヶ原が形成され、他地域には生育しない植物を多く含む特徴的な生物相が認められます。多数の観光客が訪れることで、自然環境保全と利用の調和をいかに図るかが問題となっています。また、シカによる湿原の踏み荒らしや食害は、野生動物の個体数管理という問題を投げかけています。これらの問題について、尾瀬ヶ原のガイドお二人の説明もいただきながら、教室での講義と現地の巡検を通じて理解を深めていただきます。
【到達目標】
観光など人間による自然資源の利用が、自然環境保全にどのような問題を生じさせるのか、尾瀬の事例を通じて理解し、自然資源の適切な利用について適切な根拠に基づき議論できるようになる。
生物間相互作用のあり方の変化が生態系の変化をももたらし得ることを尾瀬の事例を通じて理解し、大型野生動物の個体数管理や外来生物対策について適切な根拠に基づき議論できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 尾瀬の現況
第2回 尾瀬における自然保護の歴史
第3回 自然地域の過剰利用によって生じる問題
第4回 尾瀬における保全と利用の調和（グループ討論）
第5回 フィールド授業　尾瀬を取り巻く亜寒帯針葉樹林の現状（鳩待峠～山ノ鼻）
第6回 フィールド授業　尾瀬ヶ原の保全と利用1（山ノ鼻とその周辺）
第7回 フィールド授業　尾瀬ヶ原の現状
第8回 フィールド授業　尾瀬ヶ原の保全と利用２（竜宮小屋周辺）
【学生へのメッセージ】
尾瀬での巡検を伴うため、少人数でのクラス編成とします。安全確保の観点から、山歩きの経験を持ち、尾瀬での巡検に参加可能な学生を対象とします。初日の講義の時間の中で課題について意見交換する場を設け、各受講者に発言を求めます。
【受講前の準備学習等】
尾瀬の自然保護に関する文献1つ以上に目を通しておいてください。思い当たるものがないかたは、以下を熟読しておいてください。環境省「尾瀬ビジョン」「新・尾瀬ビジョン」（タイトルをキーワードにしてWebで検索すると、環境省のサイトが見つかり、そこでPDFを閲覧、ダウンロードできます）。尾瀬の地名や主要な動植物の名前を予め把握しておくと、授業の理解が容易になります。可能であれば他地域の事例を紹介した資料等も事前にお読みください。シカ食害の事例も含め、他地域と尾瀬との比較を通じて理解を深めることができます。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。レポートは、後日、群馬学習センターへご提出いただきます。

【受講者が当日用意するもの】
山歩きが可能な服装、宿泊用の物品（着替え、洗面用具など）、筆記用具。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
授業は変則時間で行い、利根郡片品村内の旅館に宿泊となります。（宿泊手続きは学習センターで一括して行います。）公共交通機関を使用して現地にお越しになる際は、受講決定後に送付する通知をご確認いただくと共に、時刻表などご自身で必ず事前確認を行ってください。
現地までの交通費、宿泊料等は各自負担となりますのでご承知おきください。（食事3食と宿泊料で8,250円程度、宿から尾瀬までの交通費往復で1,750円程度を予定しています。）「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入して下さい。学生教育研究災害傷害保険の加入については、面接授業開設科目一覧P.5を参照してください。

科目コード	2690845	**授業概要**	**【授業内容】** 初日は、星までの距離の測り方や星がなぜ輝くのか？、星の誕生と死とは？　を学びます。夜間は、県立ぐんま天文台において大型望遠鏡を見学したり、各種の天体を観望したりします。２日目は、望遠鏡を組み立てて、太陽黒点観測の実習とその整約を行います。また、太陽が地球に及ぼす影響や最新の天文情報を紹介します。学習内容の順序は、天候によって大きく変更されることもあります。 **【到達目標】** 地球近辺の宇宙から宇宙の果てまで、どのように観測されているのか、またどのように理解されているかを学び、さらに天体観測を実体験することにより、現代における天文観測を理解できるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 星までの距離の測り方 第2回 星はなぜ輝く？ 第3回 星の誕生と終末 第4回 県立ぐんま天文台見学 第5回 望遠鏡の組み立て・基本的操作 第6回 太陽黒点観測と最近の太陽活動 第7回 我々の生活に影響を及ぼす太陽 第8回 天文学最新のトピックの紹介 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【レポート課題テーマ】 以下の二つのテーマのうち、どちらかの選んでレポートを作成しなさい。 １：星の一生と我々人類の関係を記述しなさい。 ２：太陽活動、とくに太陽フレアがあなたの生活に及ぼす影響を書きなさい。
学習センター	群馬学習センター		
学習センターコード	10A		
クラスコード	K		
科目名	**観測天文学入門**		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	シモジョウ　マスミ 下条　圭美 自然科学研究機構国立天文台准教授		
日程 実施時間	11月27日(金) 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 第５時限 19:00～20:30 11月28日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		**【受講者が当日用意するもの】** 懐中電灯、筆記用具を持参してください。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
実施会場	この授業は、【群馬学習センター、★群馬県立ぐんま天文台】で行います。		**【その他（特記事項）】** 11月27日（金）は授業開始時間が異なります。第４回は群馬学習センターからぐんま天文台まで貸切バスで移動して天体観測を行います。バス代の自己負担分は、20名定員とした場合、一人あたり4,000円程度になります。受講決定後に詳細な案内を送付しますので必ずご確認ください。「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。学生教育研究災害傷害保険の加入については、面接授業開設科目一覧P.5を参照してください。

科目コード	2694026
学習センター	新潟学習センター
学習センターコード	15A
クラスコード	K
科目名	**日本語リテラシー演習**
科目区分	基盤科目
ナンバリング	110
定員	28名
担当講師	タキウラ　マサト 滝浦　真人 放送大学教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 10月18日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15
実施会場	新潟学習センター

授業概要

【授業内容】
「論理的な文章」が書けるようになりたいですよね。それは難しいでしょうか？ 否、それほどではありません。学校の作文の授業で、「思ったままに書く」ようにといつも言われましたが、じつはその方がずっと難しいです。
「論理的な文章」とは、“まとまっていて”、“つながっている”文章です。ならば、“まとめ方”と“つなぎ方”を学びましょう。やるべきことがわかれば、自分で添削ができるようになります。そこが目的地です。

【到達目標】
論理的な文章とはどのような文章のことかを理解し、“まとまり”と“つながり”をともに備えた、読者が一読して同じ理解を得られるわかりやすい文章を自分でも書けるようになる。

【授業テーマ】
第1回 文章の目的と種類：　文体練習で遊（学）んでみよう！
第2回「パラグラフ」を知ろう！：　“まとまり”と“つながり”を操れるように
第3回 “つながり”としての「論理」：　接続語と仲良しになろう！
第4回「パラグラフ」で書こう！：　説明の文章ってどんな文章？
第5回「推論」の形：　入口から出口までの運転の仕方
第6回 レポートとは？：　タイトルから考察まで
第7回 添削は自分でする！：　「自己添削」という考え方
第8回 さあ書いてみよう！：　課題文を書いて仕上げよう

【学生へのメッセージ】
授業内で実際に書く文章がたくさんある科目です。その意欲がある方だけ履修してください！

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
ノートと筆記用具と、自分の文章を客観視できる広い心を持ってお出かけください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。
・レポートは授業終了の1週間ほど後に設定される提出期限までにあらためて提出していただきます。（第8回の後半は授業がありません）
・この授業は放送授業科目「日本語リテラシー」の演習科目・面接授業版です。オンライン授業科目「日本語リテラシー演習（'18）」および2015年度1学期に行った面接授業科目「論理的な文章を書くための２日間」と同様の内容を扱う予定ですので、同科目を履修済みの方は登録をご遠慮ください。

科目コード	2694034
学習センター	新潟学習センター
学習センターコード	15A
クラスコード	K
科目名	**健康科学**
科目区分	基盤科目
ナンバリング	120
定員	60名
担当講師	ムラヤマ　トシオ 村山　敏夫 新潟大学准教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 12月13日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	新潟学習センター

授業概要

【授業内容】
健康に関する科学的基礎を理解し、豊かな人生を過ごすために思考を深め実践力を高めることを目的とします。運動、栄養、休養の基礎的な知識から睡眠や入浴など実生活で応用できる健康生活のポイントを説明します。本講義では、科学的な視点から健康を取り巻く社会課題をクローズアップし、様々な論点を自身で思考を深めることで自分自身や家族に対してより豊かな時間の過ごし方を実践できることのスキルを身につけることとします。

【到達目標】
健康に関する知識を習得し、健康的で幸せな生活を送るための理解ができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 余分な脂肪を落とす
第2回 からだづくりのための運動
第3回 子供の健康
第4回 高齢者の健康
第5回 コンディショニング（入浴と健康）
第6回 コンディショニング（睡眠と健康）
第7回 スポーツから学ぶチームワーク
第8回 スポーツと健康とまちづくり

【学生へのメッセージ】
みなさんにとって、本講義が体を動かすことの重要性を感じることができる時間になればと思います。楽しく学びましょう。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。

科目コード	2694042	**授業概要**	**【授業内容】** 今、虐待や貧困、いじめなど、子どもや家庭をめぐる様々な出来事が起きています。この授業では、これらの出来事を子どもの権利の観点からとらえ、その支援方法を学びます。まず、子どもの権利の基本を確認し、子どもや家庭に起きている出来事を子どもの権利侵害／擁護の観点から、支援の必要性を理解します。その後、具体的な支援方法について、理解を深めます。 **【到達目標】** ・子どもや家庭に生じている課題を、子どもの権利の観点から理解し、説明することができる。 ・子ども家庭支援を行うことは、支援を受ける／行うことは、課題の解決・緩和につながることを知る。 **【授業テーマ】** 第1回 なぜ、子どもや家庭を支援するのか 第2回 子どもの権利が守られていない　その１　経済的困窮・虐待 第3回 子どもの権利が守られていない　その２　障がい・疾病 第4回 子どもの権利が守られていない　その３　演習 第5回 子ども家庭を支える　その１　妊娠期～乳幼児期 第6回 子ども家庭を支える　その２　学童期 第7回 子ども家庭を支える　その３　青年期・若者 第8回 子ども家庭を支える　その４　居場所と役割 **【学生へのメッセージ】** 子ども家庭への支援は双方向。社会が子ども家庭を支え、子ども家庭が社会を支える。子どもが権利を守られることで、子どもはもちろん、大人や地域も活性化されていきます。子ども家庭を支援することの意味を一緒に学んで行きましょう。 **【受講前の準備学習等】** ・子ども家庭に関する社会状況等について、事前学習を行ってください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	新潟学習センター		
学習センターコード	15A		
クラスコード	K		
科目名	**はじめての 子ども家庭支援**		
科目区分	導入科目：生活と福祉		
ナンバリング	220		
定員	28名		
担当講師	コイケ　ユカ 小池　由佳 新潟県立大学教授		
日程 実施時間	12月5日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 12月6日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	新潟学習センター		**【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・子どもの人権をどうまもるのかー福祉施策と実践を学ぶー（山縣文治／放送大学教育振興会／¥2,640／ISBN=9784595322648） **【その他（特記事項）】** この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2694050
学習センター	新潟学習センター
学習センターコード	15A
クラスコード	K
科目名	**映像から学ぶ ロシアの経済と社会**
科目区分	導入科目：社会と産業
ナンバリング	220
定員	60名
担当講師	ミチガミ　マユ 道上　真有 新潟大学准教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 10月18日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	新潟学習センター

授業概要

【授業内容】
ロシア経済・社会の特徴を、市民生活、文化、地理、民族、歴史など側面に焦点をあて、イメージしやすいよう様々な映像資料を使いながら学びます。ロシアがもつ多様性、ロシアとは何か、日本と比較しながらその特徴を捉えるとともに、異文化社会との共生を考えます。

【到達目標】
１）ロシアの地理や地域の特色について説明できる。
２）ロシアの文化、社会について理解を深め、異文化との共生を考えることができる。
３）ロシアの政治、経済について知識を習得し、国際情勢について深く理解することができる。

【授業テーマ】
第1回 ロシア経済のこれまでと現在
第2回 ロシア経済の現状と今後：経済制裁、復興、課題、地域格差
第3回 スラブ、ユーラシアとは何か：歴史、地理、自然、民族、都市
第4回 映画「デルス・ウザーラ」から見るロシア：民族、自然、開発
第5回 映画「デルス・ウザーラ」から見る北東アジア共生社会の今昔
第6回 映画「モスクワは涙を信じない」から見るソ連とロシア：男女
第7回 映画「モスクワは涙を信じない」から見るロシアの市民社会
第8回 まとめ

【学生へのメッセージ】
この授業は、ロシア経済の専門的な内容ではなく、社会を深く理解するためのカギを理解する入門的な内容です。動画視聴にかかる時間や学生の理解度や授業の進捗によって、授業内容が変更になることがあります。

【受講前の準備学習等】
地図を見てロシアとその周辺諸国について予習してください。
ロシアとその周辺諸国に関するニュースやトピックを読んでおいてください。
授業後にその日の内容について確認し、友達、知人、家族などと話し合う、説明してみると理解が定着しやすいです。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・分断化する世界とグローバル経済（溝口由己編著／ミネルヴァ書房／¥3,080／ISBN=9784623096794）
　この書籍の中で授業の参考になる内容は、道上真有「第4章　戦争のさなかでロシア経済を学ぶ」になります。
・格差で読み解くグローバル経済（溝口由己編／ミネルヴァ書房／¥3,300／ISBN=9784623083206）
　この書籍の中で授業の参考になる内容は、道上真有「第6章　ロシア経済の内実とは何か」になります。
・現代ロシア政治入門　第２版（横手慎二／慶應義塾大学出版会／¥2,640／ISBN=9784766423464）
・ロシアの政治と外交（放送大学教材）（横手慎二編／放送大学教育振興会／¥2,750／ISBN=9784595315589）
・現代ロシア政治（油本真理・溝口修平編／法律文化社／¥2,970／ISBN=9784589042798）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2694069	**授業概要**	**【授業内容】** 本講義では、まず「なぜ人工知能やデータサイエンスを学ぶのか？」という問いに対して、社会で起きている変化と科学技術の進展の観点から考えることからスタートし、人口知能を設計してみます。次に、人工知能を基盤としたデータ駆動型科学について学びます。重力波物理学・天文学、安全運転、スポーツ、医療、教育、OR：オペレーションズ・リサーチ（社会的課題を科学的視点で解決を導き出す学問）など、多様なテーマに人工知能が応用されていることを学び、人工知能のさらなる可能性について議論します。 本講義では、数人でグループになり、ディスカッション（グループワーク）も行います。 **【到達目標】** 1. なぜ人工知能やデータサイエンスを学ぶのか？を様々な社会的な変化を踏まえて、説明することができる。 2. 人工知能のさらなる可能性について、説明することができる。 **【授業テーマ】** 第1回 人工知能・データサイエンスとは？なぜ学ぶのか？ 第2回 人工知能・データサイエンスのメリット・デメリット 第3回 人工知能・データサイエンスの応用・適用事例 第4回 人工知能を体験1 第5回 人工知能を体験2 第6回 人工知能を体験3 第7回 人工知能・データサイエンスの先端応用・適用例1 第8回 人工知能・データサイエンスの先端応用・適用例2 **【学生へのメッセージ】** 人工知能やデータサイエンスと聞くと何をイメージしますか？身の回りで、すでに活用されつつあります。そんな人工知能を学んでみませんか？ **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。講義では、PCやインターネットを使用する場面があります。PCの基本的な操作ができるとなお良いです。（ただし、PCがなくても受講できるように配慮します。） **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	新潟学習センター		
学習センターコード	15A		
クラスコード	K		
科目名	**データサイエンスと人工知能**		
科目区分	導入科目：情報		
ナンバリング	220		
定員	22名		
担当講師	タカハシ　ヒロタカ 髙橋　弘毅 東京都市大学教授		
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 10月18日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	新潟学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 必須ではありませんが、講義では、PCやインターネットを使用する場面がありますので、できる限りPCを持参ください。ただし、PCがなくても受講できるように配慮します。学習センターでの無線LAN 利用については、システムWAKABA 学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 **【教科書】** 教科書は使用しません。 **【参考書】** ・データサイエンスリテラシー 応用事例と演習から学ぶ「誰も」が身につけたい力（高橋弘毅、市坪誠、河合孝純、山口敦子／実教出版／¥2,530／ISBN=9784407352573） **【その他（特記事項）】** この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2694077
学習センター	新潟学習センター
学習センターコード	15A
クラスコード	K
科目名	**教育とジェンダー**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	コダカ　サホミ 小高　さほみ 青山学院大学非常勤講師／ 日本女子大学学術研究員
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	新潟学習センター

授業概要

【授業内容】
ジェンダーは、学校教育やそれぞれの人生とどのようにつながっているのでしょうか。この疑問について、本授業の前半では、学校制度の歴史を概観しつつ、戦後に誕生した男女共学家庭科をめぐる実践を手がかりに、日本の学校教育における「男女平等」の変遷や、国連の女性差別撤廃条約に批准によって可視化された教育問題をひも解いていきます。後半では、ジェンダー研究の基本的概念、主な理論や課題を手がかりに、教育におけるジェンダー問題を探究していきます。
【到達目標】
・性差と性役割が異なる概念であることを説明することができる。
・ジェンダーについて、事例を挙げて説明することができる。
・「あたりまえ」を問い直し、新たな関係性を築くことに関心を持っている。
【授業テーマ】
第1回 性差別を見つめる
第2回 日本の学校制度と「男女平等」
第3回「男女共学」家庭科をめぐる実践
第4回 国連女性差別撤廃条約と学校教育
第5回 ジェンダー概念をつかむ
第6回 ジェンダー研究（1）かくれたカリキュラム
第7回 ジェンダー研究（2）進路選択と職業選択
第8回 フェミニズムと教育
【学生へのメッセージ】
本授業は、ジェンダーを見つめ、対話する参加型授業です。例えば、「男」か「女」で分けられてきたことをとらえ直すアクティビティや、資料教材を読み解くペア/グループワークなどを行います。
【受講前の準備学習等】
日常生活の中で「男」か「女」で分けられていることに遭遇した時、男女別にする理由やその時の感情をメモしておきましょう。子どもの頃の教科書（小中高、教科は問わない）がもしお手元にあれば、1冊持参してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・ジェンダーで学ぶ社会学［第４版］（伊藤公雄・牟田和恵・丸山里美【編】／世界思想社／¥2,090／ISBN=9784790717966）
・はじめてのジェンダー論 改訂版（加藤秀一／有斐閣ストゥディア／¥2,090／ISBN=9784641151413）

科目コード	2694085
学習センター	新潟学習センター
学習センターコード	15A
クラスコード	K
科目名	**生活習慣病治療と実験動物**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	28名
担当講師	オオタ　タケシ 太田　毅 京都大学大学院農学研究科教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 11月1日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	新潟学習センター

授業概要

【授業内容】
食事の欧米化や車社会化など生活習慣の変化に伴い、糖尿病、肥満症、動脈硬化症といった生活習慣病を罹患する患者さんが急増しており、新薬開発を含めた生活習慣病の新規治療法の開発は、世界的に重要な課題です。医薬品開発研究において実験動物の果たしてきた役割は大きく、本授業では、どの様な実験動物がどの様に貢献してきたか実例をあげながら解説していきます。
【到達目標】
生活習慣病の治療法開発のために使用される実験動物の存在意義を理解し、動物実験の必要性についても議論を尽くせるようになる。
【授業テーマ】
第1回 Introduction（生活習慣病とは、実験動物とは）
第2回 各種実験動物の特性
第3回 実験動物の病態生理学（肝臓、腎臓、心臓）
第4回 実験動物の病態生理学（膵臓、眼、神経）
第5回 医薬品開発
第6回 創薬研究
第7回 実験動物を用いた創薬研究例
第8回 新規モデル動物の開発
【学生へのメッセージ】
実験動物の人類への貢献について、医薬品開発の観点から解説します。動物実験の意義についても理解を深めて頂ければと思います。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689162
学習センター	新潟学習センター
学習センターコード	15A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験3**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	22名
担当講師	ホンマ　ユウコ 本間　優子 新潟青陵大学教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	新潟学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学の基礎的な実験を３つを行います。皆さんは「実験者」や「参加者（協力者）」として実験データを取得して整理し、その結果をレポートにまとめて提出することで、心理学実験の方法、データ整理、レポートの書き方を理解することを目指します。実験は受講生同士でコミュニケーションをとり、ペアや小グループを組んで行います。受講生の皆さんは、原則として８ 回の授業すべてに出席し、３つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学実験に関する基礎知識、レポートの書き方
第2回 実験１：鏡映描写（実験）
第3回 実験１：鏡映描写（データ整理・解説）
第4回 実験２：囚人のジレンマ（実験）
第5回 実験２：囚人のジレンマ（データ整理・解説）
第6回 実験３：触２点閾（実験）
第7回 実験３：触２点閾（データ整理・解説）
第8回 全体のまとめ
【学生へのメッセージ】
・実験を体験することに重要な意味がありますので、積極的に参加して頂けたらと思います。結果をもとに、人の心の働きについて一緒に考えてみましょう。
・実験にはパソコンは使いませんが、レポートの作成にパソコンを使用しますので、基本的なパソコン操作はできることを前提に授業を進めます（USBメモリーからファイルをダウンロードできる、USBメモリーにファイルを保存できる、Wordで文書作成できる、Excelに文字や数値を入力できる）。
・１名につき１つ、USBメモリーが配布される予定です。そちらにレポートのひな形のファイルを入れてお渡しします。各自のパソコンにダウンロードし、ひな形を用いて授業中にレポートを作成し、USBメモリーに保存してもらいます。それを教員が回収することでレポート提出とします。
【受講前の準備学習等】
・実験結果に影響する可能性があるため、授業で行う実験については事前学習をしないでください。
・インターネットへの接続はしないため、学習センターでの無線LAN利用申請等は不要です。
・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
・ノートパソコンを持参してください。
（講師が配布するUSBメモリーはType-Aのものです。持参するノートパソコンのUSBポート（差し込み口）がType-C（幅約8mm）だけでType-A（幅約14mm）のポートがない場合（比較的新しいPCやMacBook Airなど）は、Type-Aメス-Type-Cオスの変換アダプターまたはUSBハブを持参してください。）
２．OS の指定
・Windowsが望ましいです。
３．ソフトのインストール
・Word、Excel が必要です。（Googleスプレッドシートの使用は認めません。）
４．その他
・計算機（スマホの計算機アプリでも可）を持参してください。
・マウスを持参してください。
・ソフトのバージョン指定はありません。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３ は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2689120
学習センター	新潟学習センター
学習センターコード	15A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験1**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	22名
担当講師	ニイクニ　ケイユウ 新国　佳祐 新潟青陵大学准教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 11月8日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	新潟学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学の基礎的な実験３種を行います。皆さんはそれらの実験に「実験者」や「参加者（協力者）」として参加し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、原則として８回の授業すべてに出席し、３つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 オリエンテーション、心理学実験とは、レポートの書き方
第2回 実験１：「ミュラー・リヤー錯視」実施
第3回 実験１：「ミュラー・リヤー錯視」解説
第4回 実験２：「アイコニックメモリ」実施
第5回 実験２：「アイコニックメモリ」解説
第6回 実験３：「集中学習・分散学習」実施
第7回 実験３：「集中学習・分散学習」解説
第8回 まとめとレポート執筆指導
【学生へのメッセージ】
実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等にパソコンを使用しますので、基本的なパソコン操作（Word、Excel等）は習得されていることが望まれます。
【受講前の準備学習等】
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください。
２．OSの指定
　Windows11、もしくは、MacOSであること。
３．ソフトのインストール
　極力、WordおよびExcelがインストールされているパソコンを持参してください。
　どうしても難しい場合は、Googleドキュメント・スプレッドシートなどの代替ソフトでも可とします。
４．その他
　・ノートパソコンは、物理キーボード付きであること（キーボードのついていないタブレット等は不可、iPadも不可）。
　・マウスを持参してください。
　・授業中にメールでレポート提出してもらいます。提出先のメールアドレスは、授業中にお知らせします。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2689146		**【授業内容】** **----------** **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** **【受講前の準備学習等】** **【受講者が当日用意するもの】** **【その他（特記事項）】** **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** **----------** 心理学の基礎的な実験３種を行います。皆さんはそれらの実験に「実験者」や「参加者（協力者）」として参加し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、原則として８回の授業すべてに出席し、３つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。 **【到達目標】** 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 オリエンテーション、心理学実験とは、レポートの書き方 第2回 実験１：「系列位置効果」実施 第3回 実験１：「系列位置効果」解説 第4回 実験２：「大きさの錯視」実施 第5回 実験２：「大きさの錯視」解説 第6回 実験３：「メンタルローテーション」実施 第7回 実験３：「メンタルローテーション」解説 第8回 まとめとレポート執筆指導 **【学生へのメッセージ】** 実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等にパソコンを使用しますので、基本的なパソコン操作（Word、Excel等）は習得されていることが望まれます。 **【受講前の準備学習等】** インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。 事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
学習センター	新潟学習センター		
学習センターコード	15A		
クラスコード	K		
科目名	**心理学実験２**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	22名		
担当講師	ニイクニ　ケイユウ 新国　佳祐 新潟青陵大学准教授		
日程 実施時間	11月14日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 11月15日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	新潟学習センター	**授業概要**	**【受講者が当日用意するもの】** １．持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 ２．OSの指定 Windows11、もしくは、MacOSであること。 ３．ソフトのインストール 極力、WordおよびExcelがインストールされているパソコンを持参してください。どうしても難しい場合は、Googleドキュメント・スプレッドシートなどの代替ソフトでも可とします。 ４．その他 ・ノートパソコンは、物理キーボード付きであること（キーボードのついていないタブレット等は不可、iPadも不可）。 ・マウスの使用を推奨します。 ・授業中にメールでレポート提出してもらいます。提出先のメールアドレスは、授業中にお知らせします。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2694093
学習センター	新潟学習センター
学習センターコード	15A
クラスコード	K
科目名	**パーソナリティ心理学入門**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	60名
担当講師	ナミカワ　ツトム 並川　努 新潟大学准教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 11月29日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	新潟学習センター

授業概要

【授業内容】
「パーソナリティ（性格）」は、私たちにとって日常会話にも出てくるような身近なものである一方で、見ることも触ることもできない非常にとらえどころのないものでもあります。この授業では、そのような「パーソナリティ」が、科学としての心理学の領域でこれまでどのように研究されてきたのかについて、主なパーソナリティの理論や、他者のパーソナリティの認知の仕方、パーソナリティの測定方法などを中心に紹介していきます。臨床的な視点よりも、実証的な研究による知見を中心に扱います。
【到達目標】
パーソナリティ心理学の主要な理論（類型論、特性論など）について説明できる。
パーソナリティの認知や、発達に関する代表的な研究や考え方について説明できる。
パーソナリティの測定について、特徴や課題について論じることができる。
【授業テーマ】
第1回 パーソナリティとは？
第2回 パーソナリティの理論（類型論、特性論）
第3回 パーソナリティの理論（その他の理論）
第4回 パーソナリティの認知
第5回 パーソナリティの発達
第6回 パーソナリティの測定（質問紙法、投映法）
第7回 パーソナリティの測定（作業検査法、知能検査）
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
この授業は、心理学やパーソナリティについて初めて学ぶ人を主な対象とします。簡単な実習も行いながら、パーソナリティ心理学や社会心理学的な観点から、「性格」について考えて行きたいと思います。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況（授業内で行うミニテストを含む）及び、レポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・性格とは何か（小塩真司／中央公論新社／¥902／ISBN=9784121026033）
・Big Fiveパーソナリティ ・ハンドブック　５つの因子から「性格」を読み解く（谷伊織・阿部晋吾・小塩真司／福村出版／¥3,520／ISBN=9784571241055）

科目コード	2694107
学習センター	新潟学習センター
学習センターコード	15A
クラスコード	K
科目名	**日常生活の中の科学や技術**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	60名
担当講師	テラシマ　ショウジロウ 寺島　正二郎 新潟工科大学教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 10月25日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	新潟学習センター

授業概要

【授業内容】
今日の我々の生活を支えている科学や技術は古くからの経験や知恵によって進歩し、多くの試行錯誤によって発展してきました。この科学や技術の進歩は、日常生活から生まれたニーズに基づくものから、その時代の社会的背景に発端を持つものまで様々です。この講義では、身の回りにある生活必需品に焦点をあて、そこに活かされている科学や技術、発達の歴史や社会への波及効果などについてお話しします。
【到達目標】
我々が日々の生活の中で当たり前の様に利用しているモノやコト、具体的には、エネルギー、建築物、家電製品、日用品、インスタント食品、医療や福祉などの「仕組みや構造」、「利用されている技術」、「発展の経緯や社会的な波及効果」などについて興味を持つことができる。また、それらについて簡単な説明ができる他、今後の発展に繋がる意見交換などができる様になると更に望ましい。
【授業テーマ】
第1回 エネルギー１（発電）
第2回 エネルギー２（乾電池、燃料電池）
第3回 家電製品１（テレビ）
第4回 家電製品２（電子レンジ）
第5回 衣食住の“住”（エレベーター）
第6回 衣食住の“食”（インスタントコーヒー ・インスタントラーメン）
第7回 衣食住の“食”（宇宙食）
第8回 衣食住の“衣と医”（チャック、コンドーム／時間の都合で後半は、お話しできない可能性があります）
【学生へのメッセージ】
日常生活の中にも様々な科学や技術が使われています。科学や技術の面白さや素晴らしさを感じてもらい、少しでも興味を持ってもらいたいと思います。講義中には随時、皆さんからクイズにお答え頂きます。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
元気と笑顔！
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2694115
学習センター	新潟学習センター
学習センターコード	15A
クラスコード	K
科目名	**ジェンダーから考える映像表現**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	60名
担当講師	イシダ　ミノリ 石田　美紀 新潟大学教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 11月1日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	新潟学習センター

授業概要

【授業内容】
映像メディアにおいてジェンダー表現はいかなる社会的・政治的・経済的・メディア的要件によって作り出されているのかを考察します。本講義ではまず、映画の誕生から物語映画の発達とその産業化を理解します。そして、1945年以降の日本、つまり戦後日本に焦点を当て、日本における映像とジェンダーの関係を考えます。太平洋戦争終戦から占領期にかけて、社会はアメリカの影響を受けながら変化していき、映像メディアにおけるジェンダー表現も、戦前とは異なるものになっていきました。60年代にはアニメと呼ばれる新興のメディアも誕生し、身近な娯楽として親しまれてきました。これらの映像表現の仕組みを学びながら、ジェンダー表現について議論していきます。

【到達目標】
・物語映画の発達と産業化を理解する。
・大衆娯楽においてジェンダー表現を成立させる政治的・社会的・技術的・経済的・メディア的要因を理解できるようになる。
・日本とアメリカの政治的・文化的交流を理解できるようになる。
・自身の視聴覚的経験を客観的に言語化し、他者と議論ができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 映像における身体とジェンダー ：実写映画とアニメーションの違いと物語映画の発達
第2回 映像を視聴する身体とジェンダー ：視聴者である「私」とは何かと物語映画の産業化
第3回 占領期における実写映画とジェンダー ：キスと自由恋愛1
第4回 占領期における実写映画とジェンダー ：キスと自由恋愛2
第5回 アニメにおけるジェンダー1
第6回 アニメにおけるジェンダー2
第7回 映像制作における女性の貢献1
第8回 映像制作における女性の貢献2

【学生へのメッセージ】
講義中に多種多様な映像を視聴します。
自分の目で見て、耳で聞くことを積極的に意識して、講義に参加してください。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・文庫 天皇と接吻: アメリカ占領下の日本映画検閲（平野共余子／草思社／¥1,980／ISBN=9784794225214）
・アニメと声優のメディア史　なぜ女性が少年を演じるのか（石田美紀／青弓社／¥2,200／ISBN=9784787234780）

科目コード	2694123
学習センター	新潟学習センター
学習センターコード	15A
クラスコード	K
科目名	**日本近代文学と〈漂流〉**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	28名
担当講師	ホリ　リュウイチ 堀　竜一 新潟大学名誉教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 12月13日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	新潟学習センター

授業概要

【授業内容】
〈漂流〉のモチーフを中心に、〈船・航海〉〈洪水・方舟〉といったモチーフにも着目しながら、日本近現代の文学作品を読み深めます。具体的に、〈漂流〉のモチーフの井伏鱒二『漂民宇三郎』、吉村昭『漂流』、三浦綾子『海嶺』、西條奈加『バタン島漂流記』、〈航海〉のモチーフの三浦哲郎『少年讃歌』、加賀乙彦『高山右近』、津島佑子『ジャッカ・ドフニ　海の記憶の物語』、〈洪水・方舟〉のモチーフの安部公房『方舟さくら丸』等といった文学作品を取り上げます。実際に作品に親しみ、〈漂流〉〈船・航海〉〈洪水・方舟〉等のモチーフについて考察します。

【到達目標】
・文学テクストの具体的な読みを通して、〈漂流〉〈船・航海〉〈洪水・方舟〉等の問題群について理解できるようになる。
・幕末期の漂流記や『ロビンソン・クルーソー漂流記』の翻訳、明治期・大正期、昭和戦前～戦中期の作品も視野に収めつつ、主に昭和戦後期、平成～令和期の、〈漂流〉〈船・航海〉〈洪水・方舟〉に関わる文学作品に親しみ、日本近現代文学史を辿り直すことができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 日本近現代文学と〈漂流〉〈船・航海〉〈洪水・方舟〉概観、井伏鱒二『漂民宇三郎』を読む
第2回 吉村昭『漂流』を読む
第3回 三浦綾子『海嶺』を読む
第4回 西條奈加『バタン島漂流記』を読む
第5回 三浦哲郎『少年讃歌』を読む
第6回 加賀乙彦『高山右近』を読む
第7回 津島佑子『ジャッカ・ドフニ　海の記憶の物語』を読む
第8回 安部公房『方舟さくら丸』を読む

【学生へのメッセージ】
授業では、講師自身の興味・関心・視点から、作品の一部を紹介するにとどまります。授業と並行して、実際に作品を手に取り、自分なりに作品全体をじっくり読み味わって頂きたいと思います。

【受講前の準備学習等】
・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
・開講時に作品本文（一部抜粋）を配布します。休み時間などに目を通してください。
・興味があれば、本そのものを入手し、全体をお読みください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2694131
学習センター	新潟学習センター
学習センターコード	15A
クラスコード	K
科目名	**植物の機能形態学**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	28名
担当講師	ハヤシ　ヤスコ 林　八寿子 新潟大学准教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 11月29日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	新潟学習センター

授業概要

【授業内容】
植物の組織や構造について学び、根、茎、葉の役割や機構を理解します。また、生存に必要な微量物質をどのようにして得ているのか、環境から受けるストレスに対してどのように反応して生き延びているか、どのように生殖しているのかなどを知り、植物という生物が進化の結果獲得した巧みな構造の役割や環境への適応機構について知識を深めます。

【到達目標】
植物の構造や生殖の仕組みについて知り、また、植物が生きるために必要な栄養素を得るためにどのような努力をしているかを理解し、環境から受ける様々なストレスに対してどのような生き延びるための機構を進化の過程で獲得しているかを説明することができる。

【授業テーマ】
第1回 植物の組織と構造
第2回 根、茎、葉の構造と機能
第3回 維管束の役割
第4回 成長に必要な微量物質とその獲得機構
第5回 光合成
第6回 環境適応機構①
第7回 環境適応機構②
第8回 生殖と発芽

【学生へのメッセージ】
植物の体の構造はどのようになっているのか、根をおろしてしまうと移動できない植物がどのように環境からのストレスと闘っているのかなどについて、あまり知らないけれど興味があるという人は受講してください。なお、授業の最初に、成績評価とは関係なく学生の皆さんが自分で自分の理解度を確認できるように、小問リストを配ります。授業を受けながらその小問の答えを考えていくと重要点が理解できると思います。また、その小問に対する簡単な解答は授業の最後に配布しますので、授業後の復習に役立ててください。

【受講前の準備学習等】
できるだけ、基礎知識がなくても理解できるように工夫して説明しますが、一部、化学的な知識が必要です。化学を全く知らない人は、共有結合、イオン結合、ATP、プロトンなどについて調べておいてもらうと良いです。あとは、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
授業の終わりに、「授業を受けて最も興味を持ったトピックスについて、自ら解説してもらう」などのレポートを提出してもらいます。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2694140
学習センター	新潟学習センター
学習センターコード	15A
クラスコード	K
科目名	**放散虫学実習**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	マツオカ　アツシ 松岡　篤 新潟大学名誉教授／千葉工業大学招聘研究員
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	新潟学習センター

授業概要

【授業内容】
放散虫は海にすむ単細胞のプランクトンです。シリカ（SiO2）の殻をもち、多彩な化石記録を残しています。化石記録から５億年の進化史を追うことができます。放散虫は、日本の周辺海域にも生息しています。日本の国土をつくる地層の中にも殻がたくさん入っています。ただ、サイズが小さいためもあって、その存在に気づいている人は多くありません。この放散虫学実習では、地質試料から放散虫化石を取り出し、顕微鏡観察用のスライドを作成し観察します。名前の調べ方のポイントについても解説します。

【到達目標】
講義中に提供される地質試料を適正に処理することにより放散虫化石を取り出し、身近な道具をつかってスライドづくりができる。顕微鏡観察やスケッチなどをとおして、放散虫の形状を的確に把握できるようになる。観察結果をもとに図鑑や配布資料などを参照することにより、放散虫の分類の基礎がわかるようになる。

【授業テーマ】
第1回 放散虫はどこにでもいる身近な生物
第2回 地質試料から放散虫の殻を取り出そう
第3回 顕微鏡観察用のスライドを作成しよう
第4回 殻の形をスケッチしてみよう
第5回 放散虫の進化史をたどってみよう
第6回 放散虫トランプを使って分類を理解しよう
第7回 放散虫の名前を調べてみよう
第8回 放散虫を扱った研究テーマを考えてみよう

【学生へのメッセージ】
放散虫はどこの海にでもいる身近な海洋生物です。日本列島の地層のなかにも、たくさんの殻が含まれています。生きている放散虫や化石放散虫を自分で探しだし、観察できるようになることを期待しています。

【受講前の準備学習等】
放散虫について自分なりに調べてみてください。私のResearchmapには、文献リストがあります（https://researchmap.jp/Amatsuoka/published_papers）。質問内容を事前にまとめておくとよいでしょう。放散虫に関係する参考文献は下記のウェブページからも入手できます。Rad-Info 放散虫情報（https://sites.google.com/view/radinfo/）。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
タオル（スライド作成の際に水を使うため）、もしあればルーペか虫眼鏡。

【教科書】
授業当日に補助教材を配付します。

【参考書】
・ほうさんちゅう―ちいさなふしぎな生きもののかたち（松岡篤（監修）、かんちくたかこ（文）／アリス館／¥1,540／ISBN=9784752008958）
・日本の海産プランクトン図鑑 第２版（岩国市立ミクロ生物館 監修、末友靖隆 編著／共立出版／¥2,750／ISBN=9784320057289）
・ずかん プランクトン（日本プランクトン学会 監修／技術評論社／¥2,838／ISBN=9784774148090）
・微化石　顕微鏡で見るプランクトン化石の世界（谷村好洋・辻彰洋 編著／東海大学出版会／ISBN=9784486019442）
（絶版になっています。放送大学附属図書館に所蔵されています。新潟学習センター図書室で閲覧することも可能です。）
・新版 微化石研究マニュアル（尾田太良・佐藤時幸（編）／朝倉書店／¥2,420／ISBN=9784254162752）

【その他（特記事項）】
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧 (P.5参照)）

科目コード	2694433
学習センター	山梨学習センター
学習センターコード	19A
クラスコード	K
科目名	**五感で楽しむ 中国茶・台湾茶文化**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	20名
担当講師	リン　ギンテイ 林　吟貞 山梨大学非常勤講師
日程 実施時間	11月14日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 11月15日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	山梨学習センター

授業概要

【授業内容】
本講義では、奥深い中国茶の世界を入り口に、初心者から学べる中国語の基礎と、その背景にある豊かな文化を総合的に学びます。
１日目は発音の要であるピンインと四声を徹底し、茶葉や茶器の名称を通じて正しい音節を身につけます。
２日目は、台湾出身の講師ならではの視点で、近年人気の高い台湾の茶館文化や飲茶の習慣を深掘りします。
歴史的な「茶馬古道」から、現代のカスタマイズ注文、健康に役立つ「養生」の知恵まで、旅先で役立つ生きた表現を習得します。
数種類の茶葉を比較し、淹れ方を体験する時間も設け、五感をフルに活用して学ぶ２日間です。

【到達目標】
１．中国語の基本発音を理解し、代表的な茶葉や茶器、点心の名称を正確に発音できるようになる。
２．指示代名詞や量詞、基本動詞を用いて、お茶を淹れる手順や好みの味を簡単な中国語で説明できるようになる。
３．台湾の茶芸館等の実場面を想定し、注文や挨拶、感想の授受といった基本的なコミュニケーションを中国語で行うことができる。

【授業テーマ】
第1回 茶の歴史とピンインの基礎：四声と母音をマスターする
第2回 六大茶類の名前で学ぶ：子音の出し方と色の中国語
第3回【体験】茶器の名称と数え方：指示代名詞と量詞を学ぶ
第4回 美味しいお茶を淹れる：手順を説明する動詞と基本文型
第5回 台湾の茶館文化と旅の会話：場所の表現と好みの伝え方
第6回【体験】養生文化と感想の表現：状態を表す形容詞と語彙
第7回 実践ロールプレイ：茶館や飲食店での注文と交流を試す
第8回 ２日間の総復習：お茶を囲んだ会話実践と学習成果の確認

【学生へのメッセージ】
お茶の香りに癒やされながら、楽しく中国語の基礎を学びませんか？
台湾出身の講師が、本場の淹れ方や文化を五感で味わう体験を通してお伝えします。
初心者大歓迎です！一緒に美味しい時間を過ごしましょう！

【受講前の準備学習等】
【事前学習】中国語の発音の仕組みや、六大茶類（緑茶・烏龍茶等）の分類について、インターネットや書籍等で事前に調べておいてください。
【事後学習】各回の講義内容を振り返り、配布資料の「学習記録欄」も活用しながら、学んだ発音や知識を整理してください。これらは２日目の試験準備となります。

【成績評価の方法】
成績評価は、筆記試験および口頭試問の結果により行います。筆記試験では、講義で扱ったお茶に関する語彙の習得と発音表記の理解度を、口頭試問では基本の発音を確認します。授業を通して学んだ「生きた中国語」の定着度を最終時限の試験によって総合的に評価します。

【受講者が当日用意するもの】
１．筆記用具
２．ティッシュペーパーまたはハンドタオル（試飲の際、机にこぼれた滴を拭くなど、衛生管理のために使用します）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
本授業では、中国茶・台湾茶の試飲を行います。カフェインの摂取を控えている方や、茶葉等にアレルギーをお持ちの方は、受講前にご自身の体調をご確認ください。

科目コード	2694441	**授業概要**	**【授業内容】** 幅広い年齢層の運動が苦手な方を対象とした授業です。骨や筋肉を鍛えるのではなく、楽しく技を学びましょう。授業の中では散歩とキャッチボールを行います。授業時間内に少し汗をかいてもらって、身体を動かす知恵を楽しく学んでもらえる時間にしたいです。授業にはグループディスカッションをふんだんに取り入れて、皆さんで知恵を共有できればと考えています。 **【到達目標】** 環境の変動を捉え、そこになじむ動きを立ち上げる知恵を得られるようになること。自分自身だけでなく、他の受講生を知恵も取り入れて拡大できればよりよいと考えます。 **【授業テーマ】** 第1回 歩行の力学と神経科学 第2回 この世と自身の動きを捉える生き物の知覚運動システム 第3回 学内散歩を実現する頭と身体の仕組みを、教室で理解する 第4回 学内散歩を実現する頭と身体の仕組みを、歩いて理解する 第5回 自分の身体を自由自在に動かす「知覚運動学習」の仕組み 第6回 ジャグリングの要領を身体で覚える 第7回 ジャグリング学習の仕組みを頭で理解する 第8回 頭と身体を使って世の中とつながるシステム設計 **【学生へのメッセージ】** おしゃべりしながら、身体を動かしながら、楽しく私たちの頭と身体を動かす情報処理の仕組みを知りましょう。必要なのは万全の体調、それだけです。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	山梨学習センター		
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		
科目名	**からだのうごきの科学**		
科目区分	基盤科目：保健体育		
ナンバリング	110		
定員	20名		
担当講師	キジマ　アキフミ 木島　章文 山梨大学教授		
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 12月20日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		**【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
実施会場	山梨学習センター		**【その他（特記事項）】** この科目は2009～2015年度「共通科目：保健体育」に該当します。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2694450	**授業概要**	**【授業内容】** **----------** **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** **【受講前の準備学習等】** **【受講者が当日用意するもの】** **【その他（特記事項）】** **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** **----------** 「音と絵の対話」の続編です。音や音楽と絵をはじめとした様々な視覚的なものとの関連について考えたり感じ取ったり、関連を基に受講生のみなさんと音楽をつくったりします。芸術家の作品に関連する音や音楽から、映像や風景の音など身近なものまで取り上げます。音や音楽の聴き方・見方、視覚的なものの見方・聴き方を問い直してみたいと思います。 **【到達目標】** 音や音楽と視覚的なものとの関連について、授業で取り上げた内容や授業での体験を基にして説明することができる。 **【授業テーマ】** 第1回 日本絵画における時間性 第2回 現代音楽と現代絵画 第3回 パウル・クレーの絵を基にした音楽 第4回 レゴブロックとソングメーカーを用いた制作 第5回 絵本と音楽 第6回 映像と音楽 第7回 環境音楽 音響彫刻 第8回 絵を基にした音楽づくり **【学生へのメッセージ】** グループワーク、個別ワークに積極的にご参加ください。 **【受講前の準備学習等】** 音や音楽と視覚的なものの関連について、「これはおもしろい！」というものを見つけておいてください。また、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	山梨学習センター		
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		
科目名	**音と絵の対話2**		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	220		
定員	15名		
担当講師	コジマ　チカ 小島　千か 山梨大学教授		
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00		
実施会場	この授業は、【山梨学習センター及び★山梨大学音楽総合演習室（山梨大学甲府キャンパス内)】で行います。		**【受講者が当日用意するもの】** ・1日目（第4回）はインターネット上での音楽制作を行います。スマートフォン、タブレットも可能ですが画面が小さいので可能であればノートパソコンをご持参ください。 ・音楽制作の授業ではインターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN 利用については、システム WAKABA 学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 OS 等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 パソコン、スマートフォン、タブレットのいずれかの機器の持ち込みは、必須なのでOS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 同機器については、事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。機器に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。

科目コード	2694468	**授業概要**	**【授業内容】** **----------** **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** **【受講前の準備学習等】** **【受講者が当日用意するもの】** **【その他（特記事項）】** **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** **----------** コンピュータは、同じ結果を得る場合でも、処理手順（アルゴリズム）によって処理の速さや効率が大きく変わります。本授業では、アルゴリズムの重要性について、身近な例や簡単な実習を通して学びます。具体的には、数字の並べ替え（ソート）を題材とし、人間の手作業を出発点として、並べ替えの方法の違いを体験し、考え方の重要性を理解します。あわせて、C言語による簡単なプログラムを用い、考えた手順をコンピュータで確かめることで、アルゴリズムの基礎的な考え方を身につけます。 **【到達目標】** 手順の違いによって処理の効率が変わることを理解し、簡単な例についてプログラムで確かめることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 アルゴリズムとは？ 第2回 バブルソート 第3回 挿入ソート 第4回 選択ソート 第5回 データの質による違い 第6回 マージソート 第7回 データの量による違い 第8回 手法の比較 **【学生へのメッセージ】** 主として、アルゴリズムについて学んだ経験がない方を対象とします。C言語プログラミングの経験がない方でも受講可能です。実習を行いますので、キーボードを見ながらで構いませんが、文字入力に苦労しない程度の初歩的なコンピュータのスキルが必要です。 **【受講前の準備学習等】** ・受講の準備として、異なる数字が書かれた複数のカードがでたらめに並んでいるときに、それらを数字の小さい順に並べ替える方法を考えておいてください。その方法を言葉で説明できるようにするとともに、できるだけたくさんの方法を考えてみてください。 ・ファイルのコピーなどコンピュータの基本的な使い方の復習をしておいてください。 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	山梨学習センター		
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		
科目名	**はじめてのアルゴリズム**		
科目区分	導入科目：情報		
ナンバリング	220		
定員	15名		
担当講師	ハットリ　モトノブ 服部　元信 山梨大学教授		
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 1．持参する端末 ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可です）。 2．OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。 3．ソフトのインストール ブラウザが必要です。Chromeを推奨します。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・明快入門C　スーパービギナー編（林晴比古／ソフトバンククリエイティブ（株）／¥1,760／ISBN=9784797374612） C言語初心者用の本です.
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2694476
学習センター	山梨学習センター
学習センターコード	19A
クラスコード	K
科目名	**試して学ぶ人工知能**
科目区分	導入科目：情報
ナンバリング	210
定員	15名
担当講師	ゴウ　ケンタロウ 郷　健太郎 山梨大学教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 11月15日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	山梨学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。

【受講前の準備学習等】

【受講者が当日用意するもの】

【その他（特記事項）】

を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

人工知能やAIと呼ばれるものは、いまや生活の中に溶け込んでいます。私たちの使うシステムやサービスの背景には人工知能が実際に活躍をしています。この講義では、人工知能を理解するための第一歩として、その特徴を平易に説明します。さらにコンピュータを使った簡単な実習をとおして、内容の理解を深めます。この講義の終了時には、人工知能で何ができるのか説明できるようになります。

【到達目標】

・人工知能の基本的な考え方を理解し、人工知能で何ができるのか説明できるようになる。
・生成AIの使い方についてその特徴を把握し、利点や欠点を的確に説明できるようになる。

【授業テーマ】

第1回 人工知能とは何か
第2回 さっそく使ってみよう
第3回 生成系AI：文章生成
第4回 生成系AI：プロンプト作成
第5回 生成系AI：画像生成
第6回 応用編：AIを作る１
第7回 応用編：AIを作る２
第8回 ふりかえりとまとめ

【学生へのメッセージ】

この講義ではコンピュータを使った実習を行います。初歩的なコンピュータのスキルが必要です。

【受講前の準備学習等】

・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

１．持参する端末
　・ウェブカメラ付きのノートパソコンを持参してください（物理キーボード付きのタブレットは可能・スマートフォンは不可）。
２．OSの指定
　・種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。
３．ソフトのインストール
　・ブラウザを使用しますが種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。
４．その他
　・ソフトのバージョン指定はありません。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】

この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2694484
学習センター	山梨学習センター
学習センターコード	19A
クラスコード	K
科目名	**はじめての森林整備と資源活用**
科目区分	導入科目：自然と環境
ナンバリング	210
定員	20名
担当講師	イド　ナオキ 井戸　直樹 合同会社森のたね代表
日程 実施時間	2027年1月9日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 2027年1月10日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	山梨学習センター

授業概要

【授業内容】
日本の大部分は森林であり、世界的にみても高い森林率であり、われわれは多くの多面的機能を享受しています。ただ、森林内では多方面の問題に直面しており、里山の荒廃、人工林の手入れ不足、獣害問題、資源の未活用など、多くの課題が山積みとなっています。本授業では、日本の森林や生態系について正しく理解し、林業や里山保全や野生動物対策などの実際の取り組みを紹介しながら、森林保全や狩猟で使用する道具の使用法などを学びます。また、講義だけでなく、樹木を見分けるコツや、野生動物資源のワークショップなどの体験の学習をおこないます。
【到達目標】
多様な森林や生態系について理解し、それぞれの森林問題について説明できる。また、その解決に向けた取り組みである森林整備や資源活用について理解し、森林や自然環境を見る目を養うことで、森林保全活動や野生動物対策の重要性を説明できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 日本の森林の現状（講義）
第2回 森林や樹木を見るコツ（実習）
第3回 森づくりと林業（講義）
第4回 森林整備の道具に触れる（実習）
第5回 野生動物対策と狩猟（講義）
第6回 狩猟の道具に触れる（実習）
第7回 野生動物の資源活用ワークショップ（実習）
第8回 ふりかえりとまとめ
【学生へのメッセージ】
森林とのかかわりの少ない未経験者を対象としています。森林を理解することで、自然をみる目が大きく変化します。知っているようで知らない、森林の魅力を感じてもらい、今後の森林問題へ関心を深めてもらいたいです。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2694492
学習センター	山梨学習センター
学習センターコード	19A
クラスコード	K
科目名	**がん医療の最前線**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	310
定員	25名
担当講師	イタクラ　ジュン 板倉　淳 山梨大学医学部非常勤講師
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00
実施会場	山梨学習センター

授業概要

【授業内容】
平成19年に始まったがん対策推進基本計画も令和5年からは「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す」を掲げた第4期計画が始まっています。この間、生存率の向上に反映される著しい医療の進歩を遂げると同時にがん医療を取り巻く社会環境や人々の考え方も大きく変わりつつあります。この講座ではこれらの変遷を「がんの疫学」、「がんの診断」、「がん検診の意義」、「がんの治療」をテーマに、さらに第4期計画でも主要テーマとなっている「がん検診」「がんとの共生」を加え学習を行います。
【到達目標】
国民の健康保険を理解するため、最新の「がんの疫学」、「がんの診断」、「がん検診の意義」、「がんの治療」を学習し、自ら「がんとの共生」を考えることでがん対策推進基本計画の目指すところを説明できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 がんの疫学－1
第2回 がんの疫学－2
第3回 がんの診断
第4回 がん検診の意義
第5回 がんの治療－1
第6回 がんの治療－2
第7回 がんとの共生－1
第8回 がんとの共生－2
【学生へのメッセージ】
この10年余りで、生存率の向上に反映されるようにがん医療は著しい進歩を遂げています。同時にがん医療を取り巻く社会環境や人々の考え方も大きく変わりつつあります。この講座では最新の情報を提供するとともに、相互の経験や考えを共有することによりこれからのがん医療を一緒に考えていきたいと思います。
【受講前の準備学習等】
自分自身や周囲で経験あるいは見聞きした「がん医療」について、感じたこと、疑問に思った事をまとめておいてください。
【成績評価の方法】
授業中の学修と情報共有の参加状況及び、「がんとの共生」をテーマに自らの考えをまとめていただきレポートあるいは発表を行っていただきます。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2694506
学習センター	山梨学習センター
学習センターコード	19A
クラスコード	K
科目名	**紡ぐ・織る ー服飾の原点の技法**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	15名
担当講師	オカマツ　メグミ 岡松　恵 山梨大学准教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 11月1日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	山梨学習センター

授業概要

【授業内容】
人はどのようにして衣服をつくってきたのでしょうか？衣服の原料となる繊維は塵のように軽く、細いものです。このような繊維をコントロールして衣服にまでするには、幾つかの重要な技法の発見が必要であったことは想像に難くありません。授業では簡単な道具を用い、羊毛を紡いでミニマフラーを織ります（糸車や織機は使いません)。「紡ぐ（撚る）」、「織る」といった服飾の原点とも言える技法を講義や実習で学びながら、衣服つくりの道筋を辿ってみましょう。
【到達目標】
・「撚る」技法や「織る」技法について説明することができる。
・実際に羊毛を紡いで糸をつくり、平織の布を製作することができる。
・講義や実習から得た知見を活かし、自身の衣生活をより良いものにする手立てを提案することができる。
【授業テーマ】
第1回 紡ぐ（１服飾の原点となる技法：撚る）
第2回 紡ぐ（２羊毛のカーディング）
第3回 紡ぐ（３スピンドルを使って糸を紡ぐ）
第4回 紡ぐ（４双糸をつくる）
第5回 織る（１服飾の原点となる技法：織る）
第6回 織る（２整経）
第7回 織る（３手織り）
第8回 着装とまとめ
【学生へのメッセージ】
糸紡ぎや機織りの未経験者を対象としています。製作進度等によっては各回の内容が変わる場合もあります。授業は技法の理解や習得を目指しています。市販品のような立派なものはつくれませんのでご注意下さい。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。マフラーのサイズは製作の速度にもよりますが、幅15㎝長さ75㎝程度の小さなものを予定しています。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具。感染予防や羊毛から出るホコリを防ぐために、マスクのご準備・着用をお願いします。動きやすく汚れても良い服装でお越し下さい。水分補給のための飲み物は、フタの閉まる容器のものをお願いします。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項)】
製作工程は、学生どうしで二人組、またはグループになって行うものが多いです。

科目コード	2694514
学習センター	山梨学習センター
学習センターコード	19A
クラスコード	K
科目名	**臨床心理学実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	サトウ　ヒトミ 佐藤　仁美 放送大学准教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 10月25日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	山梨学習センター

授業概要

【授業内容】
臨床心理学の基礎を、体験を通して学びます。ある課題への問題解決や、（ソーシャルディスタンスを取りながら）グループ討議などを行い、自分自身と他者の理解を深めていきます。簡単なロールプレイ等、実際に動いて身体を通して学んでいく予定ですので、動きやすい服装で、体調管理を万全にして受講にのぞんでください。各コマ課題があり、スモールステップ形式で深めていきますので、全コマ出席できる方に限ります（遅刻早退は不可)。課題ごとにレポートを課します。
【到達目標】
実習を通して学ぶことで、自己理解・他者理解・相互理解につなげていき、臨床心理学の基礎を理解できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 ウォーミングアップ
第2回 自己へのアプローチ１
第3回 問題解決の方法
第4回 シェアリングとまとめ
第5回 自己へのアプローチ２
第6回 自己表現と他者表現１
第7回 自己表現と他者表現２
第8回 まとめ・質疑応答
【学生へのメッセージ】
課題を出しますが、答えが用意されているというものではなく、受講生各人の中に、その答えはあります。積極的に参加してください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。授業当日、「いま、ここで」を大切に授業展開します。心身の健康を整え、臨んでください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
12～24色程度の色鉛筆・クレヨン・パステルなど、自身が使いやすいもの。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689162
学習センター	山梨学習センター
学習センターコード	19A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験3**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	サカイ　アツシ 酒井　厚 東京都立大学教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 12月6日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15
実施会場	山梨学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。

【受講前の準備学習等】

【受講者が当日用意するもの】

【その他（特記事項）】

を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

この授業では、心理学の基礎的な研究テーマを基に、実験心理学でよく使用される方法と考え方を学びます。具体的には、実験者や実験参加者として参加し、データを収集してそれを処理し、得られた結果とそこから考察できることをレポートにまとめるという、研究の一連の作業を学びます。
研究テーマは「鏡映描写」、「ストループ効果」、「囚人のジレンマ」の３種類です。原則として８コマすべての授業に出席し、授業終了後に、３つすべての実験についてレポートを提出していただきます。

【到達目標】

心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】

第1回 心理学研究のやり方とレポートの書き方
第2回 鏡映描写１：実験
第3回 鏡映描写２：データの処理と解説
第4回 ストループ効果１：実験
第5回 ストループ効果２：データの処理と解説
第6回 囚人のジレンマ１：実験
第7回 囚人のジレンマ２：データの処理と解説
第8回 まとめ

【学生へのメッセージ】

心理学の実験研究は、データを計算して結果にまとめる作業を伴うものです。授業での班活動やレポート作成のために、パソコンで文字・数字を入力することが求められます。皆さんが研究のプロセスを実際に体験しながら、心理学の奥深さを共に学んでいきましょう。
なお､紙媒体でレポートを提出した方で返却を希望する方は申し出てください｡また､レポートに関するコメント等は行いません。

【受講前の準備学習等】

インターネットへの接続はしないため、学習センターでの無線LAN利用申請等は不要です。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください｡ただし､実習課題について､あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には､放送大学のインターネット配信で｢心理学概論('24)｣､｢心理学研究法('20)｣､｢心理学統計法('21)｣を視聴してください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及び学術レポートの評点により行います。レポートは期限を設定の上、後日提出していただきます。

【受講者が当日用意するもの】

１．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください。
２．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等)。
３．ソフトのインストール
　・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ)、Google Chrome（クローム)、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス)、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
　・Wordが必要です。
　・Excelが必要です。
４．その他
　・マウスを持参してください。
　・ソフトのバージョン指定はありません。
　・ワードとエクセルが入っているパソコン
　・筆記用具（黒鉛筆、赤鉛筆）
　・グループ内でデータのやりとりをするので､USBメモリを必ず持参してください。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【参考書】

・心理学実験・研究レポートの書き方　学生のための初歩から卒論まで（B．フィンドレイ（細江達郎・細越久美子訳）／北大路書房／¥1,430／ISBN=9784762820465）

【その他（特記事項）】

充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。色識別を要する実験課題があります。

科目コード	2689189
学習センター	山梨学習センター
学習センターコード	19A
クラスコード	K
科目名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ワタベ　ユキコ 渡部　雪子 山梨大学准教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 12月13日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	山梨学習センター

授業概要

【授業内容】
心理検査によるアセスメントの基礎知識について解説するだけでなく、実際に心理検査を体験し、各種心理検査の採点方法・解釈について理解することを目的としています。自分自身が心理検査を体験しながら、心理検査の理論や査定（アセスメント）について検討していきます。臨床現場における心理検査の実施にあったって気を付けるべきことや活用の仕方についても学びます。
※原則として８回の授業すべてに出席し、３種類すべてのレポートを提出する必要があります。

【到達目標】
心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。
検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】
第1回 オリエンテーション（心理検査とアセスメントについて）
第2回 心理検査の種類と概要
第3回 検査実習①エゴグラム
第4回 解説＋心理検査①レポート執筆指導
第5回 検査実習②文章完成法・PFスタディ
第6回 解説＋実習②レポート執筆指導
第7回 検査実習③（バウムテスト・風景構成法）
第8回 心理検査の活用と注意点＋総まとめ

【学生へのメッセージ】
様々な心理検査について学びを深め、実際に体験しながらご自身の結果について考察していきます。心理検査の結果がどのように活かされていくのかについて理解するために、臨床現場で用いられる所見形式に沿ってレポートを作成します。この授業を通じて自己理解や他者理解を深めていただければと思います。

【受講前の準備学習等】
・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
・実習で使用する心理検査についてあらかじめ調べておく必要はありません。
・「心理学概論」等で既習の「心理学の研究方法」、「パーソナリティー心理学」、「臨床心理学」等について復習をしておいてください。
・パソコンを持参してレポート作成を行うことも可能です。パソコンを持参してのレポート作成は、メールでの提出となりますので、キャンパスメールの使用ができるようにしておいてください。
・パソコンを持参の場合、インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
・この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
・鉛筆２、３本と消しゴム、赤のボールペン、定規（短いものでよい）
・色鉛筆（12本入り）
・レポートをPCを用いて作成される場合には、ノートパソコンを持参してください。
・レポートは紙媒体での提出も可能です。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・心理的アセスメント（公認心理師の基礎と実践）（津川律子(著 編集)、遠藤裕乃(著 編集)、酒井佳永（著）、遠矢浩一（著）小山充道（著）、武山雅志（著）&11その他／遠見書房／¥2,740／ISBN=9784866160641）

【その他（特記事項）】
パソコンを持参する場合は、事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。

科目コード	2689146
学習センター	山梨学習センター
学習センターコード	19A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験２**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	15名
担当講師	オノダ　リョウスケ 小野田　亮介 山梨大学准教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 12月20日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15
実施会場	山梨学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。

【受講前の準備学習等】

【受講者が当日用意するもの】

【その他（特記事項）】

を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学における基礎的実験として「記憶範囲」「メンタルローテーション」「要求水準」の3つを取り上げます。受講生の皆さんは、これらの実験に実験者あるいは参加者として取り組み、分析結果をレポートとしてまとめます。授業を通して、心理学の実験方法、データ分析の方法、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、原則として全8回の授業にすべて出席し、３つの実験すべてについてレポートを作成・提出する必要があります。

【到達目標】

心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】

第1回 オリエンテーション：心理学実験とは
第2回 記憶範囲：実験
第3回 記憶範囲：データ分析・レポート執筆指導
第4回 メンタルローテーション：実験
第5回 メンタルローテーション：データ分析・レポート執筆指導
第6回 要求水準：実験
第7回 要求水準：データ分析・レポート執筆指導
第8回 全体のまとめ

【学生へのメッセージ】

実験の実施とデータ分析、およびレポート作成にはパソコンを用います。基本的なパソコン操作（Word、Excelの計算や図表作成を含む）については、あらかじめ各自で習得していることが望ましいです。

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
WordやExcelの基本的な操作について確認しておくことをお勧めします。
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業内で実施する実験課題への主体的な取り組みの状況、およびレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

１．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください。
２．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）
３．ソフトのインストール
　ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
　・Wordが必要です。
　・Excelが必要です。
４．その他
　・マウスを持参してください。
　・ソフトのバージョン指定はありません。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】

充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2694522
学習センター	山梨学習センター
学習センターコード	19A
クラスコード	K
科目名	**クリスタル科学**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	タケイ　タカヒロ 武井　貴弘 山梨大学教授 ワタウチ　サトシ 綿打　敏司 山梨大学教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～17:00 11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～17:00
実施会場	この授業は、【山梨学習センター及び★山梨大学クリスタル科学研究センター】で行います。

授業概要

【授業内容】
クリスタル（結晶）は、宝飾産業を地場産業の一つとする山梨県に密接に関わっています。山梨大学のクリスタル科学研究センターでは、これまで、水晶、ルビーやルチルなどの人工合成技術を開発してきており、現在ではその技術を機能性無機材料へ応用する研究を行っています。本講義では、クリスタルに慣れ親しんでもらうためにクリスタルの基礎について科学的に解説するとともに人工水晶などのクリスタル作りの実習を行います。
【到達目標】
・結晶の特徴と社会における役割、また、山梨県における結晶に関する産業の位置づけを理解し説明できる。
・結晶の合成方法を理解し説明することができる。
・結晶の水熱合成実験を通じて、水溶液からの結晶生成について理解し説明できる。
・融液からの結晶生成実験を通じて、融液からの単結晶の育成について理解し説明できる。
・結晶の光学特性や特性の測定などについての知識を深め、理解できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 結晶とは（武井・綿打）
第2回 結晶はどのようにしてできるか（武井・綿打）
第3回 人工水晶を作ろう１（溶解→析出による結晶育成）（武井・綿打）
第4回 結晶の顕微鏡観察（武井・綿打）
第5回 人工宝石を作ろう１（融解→凝固による結晶育成）（武井・綿打）
第6回 人工水晶を作ろう２（武井・綿打）
第7回 人工宝石を作ろう２（武井・綿打）
第8回 物質の色（武井・綿打）
【学生へのメッセージ】
結晶に関する基礎知識を学び、人工宝石の合成、顕微鏡観察および分光器の作製などの実習を行います。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び各回で課す小テストにより行います。

【受講者が当日用意するもの】
センター内移動用に上履きをご持参ください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2694530
学習センター	山梨学習センター
学習センターコード	19A
クラスコード	K
科目名	**ワインの基礎知識**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	22名
担当講師	ヤナギダ　フジトシ 柳田　藤寿 山梨大学特任教授
日程 実施時間	2027年1月9日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～17:00 2027年1月10日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～14:35 試験・レポート等　14:35～15:20 第４時限　15:30～17:00
実施会場	この授業は、【山梨学習センター及び1月10日（日）のみ★山梨大学ワイン科学研究センター】で行います。

授業概要

【授業内容】
ワインに関する基礎を学びます。ワインの原料である「ぶどう」、アルコールを造る「酵母」やワイン醸造法等の基礎知識や最新の日本ワイン情報を身につけていただきます。また、講義の後半には、実際のワイン醸造現場での学習も行います。さらに、ワインを美味しく味わうために、実際にワインのテイスティングを体験実習します。
【到達目標】
赤ワインや白ワインの醸造方法の違いや、日本ワインの最新情報を説明することが出来る。
【授業テーマ】
第1回 ワインとブドウ
第2回 ワイン醸造と微生物
第3回 海洋酵母ワインと赤池幻酵母ワイン、開府500年スパークリングワイン
第4回 ワインと健康
第5回 日本ワインについて
第6回 ワインのテイスティングについて
第7回 ワイン科学研究センターの説明と見学
第8回 ワインの保存方法及びワインを飲むときの正しいマナーについて
【学生へのメッセージ】
注１）面接授業２日目最終講義終了後、ワインのテイスティングの講習を行います。
注２）テイスティングには受講者全員の参加を希望します。
注３）20歳未満、車での来校者は受講出来ません。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
面接授業２日目第３時限に簡単なレポートを課し、その評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
テイスティング代として、当日2,000円いただきますのでご用意ください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2694549
学習センター	山梨学習センター
学習センターコード	19A
クラスコード	K
科目名	**文化資源としての景観**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	キクチ　ヨシト 菊地　淑人 山梨大学准教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 11月29日(日) 第１時限　9:00～10:30 第２時限 10:35～12:05 第３時限 13:00～14:30 第４時限 14:40～15:25 試験・レポート等 15:25～16:10
実施会場	この授業は、【山梨学習センター及び11月29日（日）のみ★甲州市勝沼ぶどうの丘】で行います。

授業概要

【授業内容】
ひとと自然の関わりあいのなかで形成された景観を「文化的景観」（cultural landscape）といいます。文化遺産保護のなかで制度的に位置づけられた語であり、視覚的な景観とともに、それをかたちづくる地域のシステムを価値づけ、保全継承しようとする考え方です。
本科目では、講義と現地見学を通じて、その概念、価値理解の方法、保全・継承と地域づくりのあり方などについて学ぶとともに、文化的景観が文化遺産保護制度にとどまらず持続可能で豊かな社会創造に果たす役割を議論することで、文化資源としての文化的景観の役割・展望について考察します。
【到達目標】
文化的景観の概念・考え方を理解し、身近な地域を文化的景観として捉え、その活かし方などを考えることができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 景観とは？／日本における景観論
第2回 文化的景観の登場：世界遺産と文化的景観
第3回 日本における文化的景観：文化財保護法と文化的景観
第4回 文化的景観として地域を読み解く
第5回 現地見学：勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観
第6回 現地見学：勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観
第7回 現地見学まとめ／文化的景観の価値と保全・活用
第8回 文化的景観概念の広がり
【学生へのメッセージ】
座学における学びと日本有数のブドウ産地・ワイナリー醸造地である勝沼の文化的景観の現地見学を通じて、文化資源としての景観のみかた、活かし方の基本を学習していきましょう。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
２日目午前は「勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観」に関する現地見学（まちあるき）を実施します。歩きやすい服装・靴等（雨天の場合は雨具）、飲み物などを用意してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観調査報告書（山梨大学大学院総合研究部生命環境学域菊地研究室、甲州市教育委員会文化財課 編／甲州市／）
非売品（公共図書館等でご覧ください）甲州市ホームページでPDFにて閲覧可（https://www.city.koshu.yamanashi.jp/docs/2021061600037/）
・歴史は景観から読み解ける: はじめての歴史地理学（上杉和央／ベレ出版／¥1,870／ISBN=4860646347）

【その他（特記事項）】
１日目は山梨学習センター講義室、２日目は甲州市勝沼町内（午前）及び甲州市勝沼ぶどうの丘会議室（午後）で実施します。現地へのアクセス、集合時間・場所などについては、科目登録決定後、詳細を学習センターより受講者に通知します。
※現地見学では3時間程度をかけて、6～7km程度を徒歩で移動する予定です（少雨実施）。歩く距離がやや長いため、体調管理には十分気をつけてください。
※見学施設の入館料等が必要となります（自己負担100円程度）。
※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2694557
学習センター	山梨学習センター
学習センターコード	19A
クラスコード	K
科目名	**富士山ー火山と水ー**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ウチヤマ　タカシ 内山　高 山梨県富士山科学研究所研究員／ 都留文科大学教養部学校教育学科非常勤講師
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 11月29日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	山梨学習センター

授業概要

【授業内容】
富士山が世界文化遺産に登録されてから、富士山への関心は海外でもさらに高まっています。しかし、富士山について自然科学的な側面から学ぶ機会はなかなかありません。特に、自然科学的な側面の内、火山としての富士山、まためぐみとしての水に関する、最新の自然科学的成果について解説も多くありません。
本講義では、火の山富士山として日本列島の誕生とかかわりが深く、三つのプレートが衝突する得意な地質的位置から、火山として富士山の成り立ちまで基礎的なことを学びます。そのうえで、水の山富士山として、豊富に湧き出す水の由来とめぐみについて学びます。
【到達目標】
富士山を例として火山噴火の現象を理解し、災害から自分の身を守るために、どうすればよいかを理解できる。また、火山の大きなめぐみについて自然科学的側面から理解できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 火の山富士山　日本列島の誕生から富士山の成り立ち
第2回 火山の基礎と噴火様式
第3回 富士山の噴火の歴史
第4回 火山の噴火災害から身を守る
第5回 水の山富士山　どこを流れている?
第6回 様々な水質とその起源
第7回 水の山富士山　そのめぐみ
第8回 全体のまとめ
【学生へのメッセージ】
富士山は「火の山」火山として荒ぶる山としての認識、かたや「水の山」として清涼な水の大きな水瓶となっています。このような富士山の光と影について、自然科学的側面から一緒に考えていければと思います。
【受講前の準備学習等】
シラバスを参考にして、参考図書を読んで自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
富士山に関する情報、特に火山及び水資源に関する情報を集めてみてください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・富士山噴火　その日に備える（藤井敏嗣／岩波書店／¥1,100／ISBN=9784004320852）
火山の学習として、特に活火山富士山の成り立ちとその防災減災について、学べます。
・地学雑誌　小特集：富士山の地下水（地学雑誌、126巻（2017）1号）2.（地学雑誌、129巻（2020）5号（内山　高ほか／東京地学協会／¥0）
次のURLから、該当する論文のPDFファイルをダウンロードすることができます。
https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jgeography/126/1/_contents/-char/ja/
・富士山境目図鑑（山梨県富士山科学研究所／丸善出版／¥2,420／ISBN=9784621305119）
富士山の5合目以上の自然環境動植物ことや活火山として富士山の成り立ち等を解説されています。
・現場で熱を感じ探る　火山の仕組み（宇井忠英／ベレ出版／¥2,420／ISBN=9784860647360）
火山噴火の現象毎に写真など使用して、火山とはなにか　噴火の仕組みなどが解説されています。
・地球進化　46億年の物語（ブルーバックス）（ロバート・ヘイゼン（著）円城寺守（監訳）渡会圭子（翻訳）／講談社／¥1,276／ISBN=9784062578653）
地球・太陽系の誕生からはじめて、地球の歴史についてまとめられています。

科目コード	2694565
学習センター	長野学習センター
学習センターコード	20A
クラスコード	K
科目名	**伝わるレポートを書く**
科目区分	基盤科目
ナンバリング	110
定員	20名
担当講師	カトウ　ヨシコ 加藤　善子 信州大学教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 11月15日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	長野学習センター

授業概要

【授業内容】
大学の授業で課されるレポートを書くために最低限知っておく必要のある約束事や知識を習得し、簡単なレポートを完成させます。受講者はグループワークを通して、どのようなレポートが伝わるのかを体験的に学びます。そのために必要な技術（正しい日本語表現・要約・引用の方法・因果関係のつくりかた・論の運び方）などを合わせて身に付けていきます。
【到達目標】
作文や感想文と、レポートの違いを説明できるようになる。レポートの約束事を習得する。読み手に書き手の意図を正確に伝えるための文章スキルを身に付ける。教養科目のレポートを書けるようになる。
【授業テーマ】
第1回 レポートの基礎知識
第2回 文章作成の約束事
第3回 主張を見抜こう
第4回 段落をつくろう
第5回 論旨をつくろう
第6回 自分の学びをレポートの形に落とし込もう
第7回 効果的に引用しよう
第8回 レポートを実際に書いてみよう（レポート執筆指導）
【学生へのメッセージ】
レポートを書くための基礎的な知識や技術を、グループワーク形式で、楽しくかつ確実に身に付けていただきます。心身を整えて参加してください。
【受講前の準備学習等】
「自己学習サイト」の中の、「学び直す日本語」に取り組んでください。すべての単元に取りくみ、受講前にすべてを終えてください。
【成績評価の方法】
試験とレポートの評点により行います。当日にレポートを提出してもかまいませんが、時間をかけてレポートに取り組むことが望ましいため、後日郵送して提出できるようにもしています。後日提出する場合は、教員に事後指導を受けることができます。添削したレポートは、希望者に返却します。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具とすっきりした頭。２日目のレポート作成ではパソコンを使用してもかまいませんので、その場合はパソコンを持参してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。

科目コード	2694573
学習センター	長野学習センター
学習センターコード	20A
クラスコード	K
科目名	**はじめてのドイツ語作文**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	120
定員	15名
担当講師	イソベ　ミホ 磯部　美穂 信州大学教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 11月1日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00
実施会場	長野学習センター

授業概要

【授業内容】
授業では、ドイツ語の基本的な文の作り方を学び、いろいろな事柄をドイツ語で表現する練習をしていきます。ドイツ語の仕組みを学びながら、日本語との表現の違いや共通点を見つけていきます。
【到達目標】
他者の文化や言語慣習について理解し、自身の文化や言語慣習を客観的に捉え、身近な現象を幅広い視野で判断、説明できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 はじめに　ドイツ語の仕組みと用語の解説
第2回 文型（1）　主語と述語
第3回 文型（2）　主語と述語と３格目的語
第4回 文型（3）　主語と述語と場所の補足語
第5回 文型（4）　主語と述語と前置詞付き目的語
第6回 文型（5）　主語と述語と方法の補足語
第7回 文型（6）　主語と述語と４格目的語
第8回 文型（7）　主語と述語と３・４格目的語
まとめ　ドイツ語圏の文化
【学生へのメッセージ】
電子辞書や教科書・文法書をお持ちの方は持参してください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
授業で学修した内容や練習問題などを活用して復習を行い、理解を深めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・快速マスタードイツ語（磯部美穂／語研／¥2,640／ISBN=9784876153589）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2694581
学習センター	長野学習センター
学習センターコード	20A
クラスコード	K
科目名	**子供の障害とインクルーシブ教育**
科目区分	導入科目：心理と教育
ナンバリング	220
定員	30名
担当講師	ショウジ　マサシ 庄司　和史 信州大学特任教授／放送大学長野学習センター客員教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～17:00 11月15日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	長野学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では、まず、障害のとらえ方として医学モデルと社会モデルを紹介し、人間の障害とは何かを考えます。その上で子どもの発達を段階ごとに概観し、子どもの発達や学習に大きな影響を与える発達障害等の障害について、その困難状況等の理解を深めます。また、日本の障害児教育がどのように発展したかを概観し、現代の特別支援教育の基本的仕組みを解説します。さらに共生社会の形成にかかわるインクルーシブ教育の役割について理解し、共に学ぶためのさまざまな方法について考えます。
【到達目標】
障害の医学モデルと社会モデルを理解できる。また講義での説明やグループワークで実施する疑似体験におけるディスカッションを通して子どもの主な障害の特徴を整理し、生活や学習において直面する具体的な困難とその対応を考えることができる。さらにインクルーシブ教育システムの理念と方法、課題について考え、特別支援教育の仕組みとの関連を理解することができる。
【授業テーマ】
第1回 オリエンテーション（授業概要・諸注意）／障害とは何か（医学モデルと社会モデル、ICF等）
第2回 子どもの発達の概観（言語発達・認知発達・各発達段階における発達課題等）
第3回 発達障害を理解する①（限局性学習症SLD・注意欠如多動性症ADHD）
第4回 発達障害を理解する②（自閉スペクトラム症ASD）／中間まとめ
第5回 障害児教育の歴史
第6回 ノーマライゼーション原理、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム
第7回 インクルーシブ教育の現状、意義や課題について
第8回 全体のまとめ
【学生へのメッセージ】
障害を理解するために、授業の中で簡単な疑似体験を行います。また、適宜、グループディスカッションを行います。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容、参考書等を参考に自己学習を進めてください。
【成績評価の方法】
授業内容に応じて提出する4つのミニレポート（１日目３通、２日目１通）と、２日目に実施する筆記試験により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・発達障害　生きづらさを抱える少数派の「種族」たち（本田秀夫／SB新書／¥880／ISBN=9784797398328）
・学校の中の発達障害　「多数派」「標準」「友達」に合わせられない子どもたち（本田秀夫／SB新書／¥990／ISBN=9784815615833）
・発達障害の子どもに伝わることば（川﨑聡大／SB新書／¥1,045／ISBN=9784815623371）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2694603	**授業概要**	**【授業内容】** 諏訪湖を題材として、3名の専門の異なる講師による授業と実習を通じ陸水学が総合的な学問であることを学びます。 **【到達目標】** 諏訪湖における様々な事象を通じ、湖沼生態系が物理・化学的な環境と密接な関係にあることを理解し、それを説明することができる。 **【授業テーマ】** 第1回 講義　諏訪湖における水質および生態系の変遷（宮原） 第2回 講義　水質調査の目的と方法（宮原） 第3回 実習　パックテスト等による水質調査（宮原） 第4回 講義　諏訪湖の物理環境（水温成層について）（岩木） 第5回 実習　水温成層の形成と解消（岩木） 第6回 講義　諏訪湖における被食ー捕食関係（笠原） 第7回 実習　魚類の耳石の観察１（笠原） 第8回 実習　魚類の耳石の観察２（笠原） **【学生へのメッセージ】** ３名の講師によるオムニバス形式の授業です。化学、物理、生物といった異なる切り口で陸水学を紹介します。異なる講師から出された２つ以上の課題についてレポートを作成し、後日提出してください。課題の詳細は、各講師が授業内でお知らせします。 **【受講前の準備学習等】** ・日頃利用している水道水は河川水なのか地下水なのか、下水はどのように処理されどこへ放流されているのか、インターネット等で調べておいてください。 ・授業で学習した内容や配布資料などを活用して復習を行い、提出課題の作成に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
学習センター	長野学習センター		
学習センターコード	20A		
クラスコード	K		
科目名	**諏訪湖で学ぶ陸水学（実習）**		
科目区分	導入科目：自然と環境		
ナンバリング	220		
定員	20名		
担当講師	ミヤバラ　ユウイチ 宮原　裕一 信州大学教授 カサハラ　サトエ 笠原　里恵 信州大学助教 イワキ　マホ 岩木　真穂 信州大学特任助教		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具、身近な環境水（水道水や湧水などを、500mLペットボトルに入れて持参のこと、3回目の授業で使用します。※水質調査に影響が出ないように、ミネラルウォーターのペットボトルが好ましい。）、 ノートPC（なくてもかまいませんが、持参可能な方はお持ちください。） **【教科書】** 授業当日に補助教材を配付します。 **【参考書】** ・湖の科学（ワーウィック・ビンセント／共立出版／¥2,420／ISBN=9784320058361）
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 10月18日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15		
実施会場	この授業は、【長野学習センターおよび★信州大学諏訪臨湖実験所（長野県諏訪市)】で行います。		**【その他（特記事項)】** この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 10月17日は長野学習センターにお集まりください。第３時限から信州大学諏訪臨湖実験所（徒歩15分）へ移動する予定です。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2694611
学習センター	長野学習センター
学習センターコード	20A
クラスコード	K
科目名	**はじめての天文学**
科目区分	導入科目：自然と環境
ナンバリング	220
定員	42名
担当講師	ミサワ　トオル 三澤　透 信州大学教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	長野学習センター

授業概要

【授業内容】
天文学は人類史上最も長い歴史を持つ学問の一つと言われています。ガリレオによって拓かれた望遠鏡による天体観測はこの400年の間に大きく発展し、私達の宇宙観を大きく変えてきました。ビッグバンで始まった宇宙は現在に至るまで膨張し続け、その宇宙の中で星が生まれ、惑星が生まれ、そして生命が育まれてきました。この講義では、まず太陽系、銀河系、銀河宇宙を通して宇宙の様々なスケールについて考えます。後半では、138億年におよぶ宇宙の歴史の中でどのように宇宙が進化してきたのかを考えます。
【到達目標】
人類の世界観・宇宙観がどのような変遷を遂げてきたのかを知り、宇宙の階層構造と138億年におよぶ歴史を正しく修得することで、社会における天文学の役割りを学際的な視点から的確に表現できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 天文学の歴史
第2回 宇宙の大きさ　～太陽系～
第3回 宇宙の大きさ　～銀河系～
第4回 宇宙の大きさ　～銀河宇宙～
第5回 宇宙のはじまり
第6回 元素のはじまり
第7回 惑星のはじまり
第8回 生命のはじまり
【学生へのメッセージ】
特別な基礎知識は必要ありません。すでにお持ちの宇宙に対する知識を体系的にまとめて頂くきっかけになればと思っております。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、筆記試験により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2694620
学習センター	長野学習センター
学習センターコード	20A
クラスコード	K
科目名	**身近な教養の化学**
科目区分	導入科目：自然と環境
ナンバリング	210
定員	20名
担当講師	カツキ　アキオ 勝木　明夫 信州大学教授／ 放送大学長野学習センター客員教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 11月8日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	長野学習センター

授業概要

【授業内容】
皆さんは朝起きたとき、太陽の光を浴びます。その光が物体に当たると明暗だけではなく、物体固有の色も現れます。それは光と物体との相互作用によるものです。毎日着ている衣類を構成している繊維は、固有の色を示す染料で染色されています。繊維も染料も化学物質です。毎日食べている食べ物はタンパク質、炭水化物、脂質等の化学物質であり、体内で化学反応が起こり、分解されます。日用品も化学物質でできていて、化学反応が使われています。このように、皆さんの生活は多くの「化学」を利用していることがわかります。このような身の回りの日用品に即した教養の化学をご紹介します。
【到達目標】
身の回りの化学について、原因と結果を理解することができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 光と色　光と色と染色について演示実験を交えながら解説します。
第2回 光と色（2）　光と色と染色について解説します。
第3回 化学繊維とプラスチック　分子構造の観点から解説します。
第4回 石けんと界面活性剤　分子構造の観点から解説します。
第5回 食べ物　食品の生化学と現状について解説します。
第6回 食べ物（2）　食品の生化学と現状について解説します。
第7回 様々なエネルギー　様々なエネルギーについて解説します。
第8回 様々なエネルギー（2）　様々なエネルギーについて解説します。
【学生へのメッセージ】
様々なメディアで化学に関するトピックが取り上げられることが多くなっています。そのような報道や記事に関心を持つきっかけになればと思います。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具とノート
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2694638
学習センター	長野学習センター
学習センターコード	20A
クラスコード	K
科目名	**地球環境の歴史と人類**
科目区分	導入科目：自然と環境
ナンバリング	220
定員	24名
担当講師	オオツカ　ツトム 大塚　勉 信州大学特任教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	長野学習センター

授業概要

【授業内容】
微惑星の衝突、水惑星の成立、生命の出現、雪玉地球、生物の大絶滅など、これまでの地球科学的、惑星科学的研究によって、地球の46億年の歴史が明らかにされてきました。地球の状態は、太陽系の成立を出発点として、次々に様子を変えてゆきます。生命が地球の構成要素となると、地球は他の惑星とは異なる独自の進化を遂げてゆきます。授業では、「環境」というキーワードを軸として時系列的に学びます。人間の活動による環境破壊が進行する中、これまでの地球環境の歴史を振り返ることをとおして、現代を直視します。

【到達目標】
地球がこれまで歩んできた歴史を学ぶことによって、生物にとって地球環境が無二のかけがいのないものであることを理解できるようになる。その上で、地球環境の中で人類が与える影響を考え、これからどのような社会を目指すのか考える契機とすることができる。

【授業テーマ】
第1回 太陽系と初期地球の成立
第2回 地球大気と海洋の進化
第3回 生命と環境の相互作用
第4回 全球凍結と生命の爆発的進化
第5回 生命の上陸と環境
第6回 生物の大絶滅とその原因
第7回 氷期と人類
第8回「人新世」と環境変化

【学生へのメッセージ】
現在地球には約80億人のヒトが住んでいます。これだけの人口を支える地球はどのように進化してきたのでしょうか。進化の過程を知り、人間社会のあり方の特殊性についても考える機会としてください。

【受講前の準備学習等】
地球の歴史や地球環境に関する普及書はたくさん出版されているほか、ウェブサイトでも情報が発信されています。信頼できる情報源をとおして知識を得るようにしてください。

【成績評価の方法】
筆記試験により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具とノート。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・最新地球史がよくわかる本[第2版]（川上 紳一・東條 文治／秀和システム／¥2,680／ISBN=9784798024356）
・新版　地球・生命の大進化 -46億年の物語-（田近 英一／新星出版社／¥1,760／ISBN=9784405108196）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2689162
学習センター	長野学習センター
学習センターコード	20A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験３**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	フジカワ　マミノ 藤川　真美乃 慶應義塾大学研究員／ 信州大学社会人講座講師
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 11月1日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15
実施会場	長野学習センター

授業概要

【授業内容】
私たちの認知や意思決定はどのように行われるでしょうか。この授業では、その問いに関連する心理学の基礎的なテーマの中から、社会的判断（ヒューリスティック判断）・ストループ効果・囚人のジレンマ、の３つを取り扱います。これらの基礎的な実験を通して、その手法と考え方を学びます。受講生が、実験者と協力者のいずれもの役割を体験しながら、データを収集し分析します。原則として８回の授業すべてに出席し、すべての課題のレポートを作成・提出する必要があります。すべての実験結果の洞察までを丁寧に行うことで、心理学における実証的研究の理解を深めます。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 ガイダンス（心理学実験とは、レポートの書き方）
第2回 社会的判断（ヒューリスティック判断）の実験
第3回 社会的判断（ヒューリスティック判断）の実験のまとめ
第4回 ストループ効果の実験
第5回 ストループ効果の実験のまとめ
第6回 囚人のジレンマの実験
第7回 囚人のジレンマの実験のまとめ
第8回 全体のまとめとレポート作成指導
【学生へのメッセージ】
実証的研究の理解を深めるとともに、ぜひご自身の今までの経験と合わせ、深い洞察を得る有意義な時間にしてください。また、グループでも必要に応じて積極的に意見交換をし、実験にも意欲を持って参加してください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、ノート、電卓をご用意ください。
実験データ解析に表計算ソフトを使用しても構いませんので、その場合はパソコンを持参してください。（インターネットへの接続は必要ありません）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれかの科目からでも受講可能です。色識別を要する実験課題があります。

科目コード	2694646	**授業概要**	**【授業内容】** 授業は子ども・教師・教材（文化）の３つの要素から成り立ちますが、教師が教え込もうとすればするほど、子どもは受け身になってしまいます。20世紀に入ってから、環境を整えて教師が間接的なはたらきかけを行うことによって、子どもが主体的に自ら学ぶ力を育てようとする教育が生まれてきました。日本では大正期に始まり、特に戦後教育の中にこのような教育は底流として流れています。この講義では代表的な３つの小学校の実践を見ながら、「自ら学ぶ子どもを育てる学校」を創るには何が必要なのか、考えてゆきます。 **【到達目標】** １．自ら学ぶ子どもを育てる教育の思想と歴史について説明できるようになる。 ２．この講義で扱う３つの学校の特徴について説明できるようになる。 ３．「自ら学ぶ子どもを育てる学校」について自分の考えを持てるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回「自ら学ぶ子どもを育てる」とは 第2回 木下竹次の「学習法」（自律的学習法） 第3回「しごと」「けいこ」「なかよし」（奈良女子大学附属小） 第4回 教科をベースとする探究（富山市立堀川小） 第5回 ひびきあう授業（富山市立堀川小） 第6回 個を育てる授業―カルテと座席表－（静岡市立安東小） 第7回 対立拮抗型の話し合い（静岡市立安東小学校） 第8回 まとめとディスカッション **【学生へのメッセージ】** 学校関係者のみならず、広く学校と教育を考えてみたい方の参加を歓迎します。参考文献は絶版が多いので、基本的な資料は配付します。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に務めてください。また授業テーマに含まれる学校のHP（特に奈良女子大学附属小）を参照しておいてください。 https://www.nara-wu.ac.jp/fusyo/Welcome-jp.html **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	長野学習センター		
学習センターコード	20A		
クラスコード	K		
科目名	**自ら学ぶ子どもを育てる学校**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	42名		
担当講師	マツモト　ヤスシ 松本　康 放送大学長野学習センター所長／ 信州大学特任教授		
日程 実施時間	11月21日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～17:00 11月22日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00		
実施会場	長野学習センター		**【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・学習原論　<世界教育学選集64>（木下竹次著・中野光編／明治図書出版／¥4,081／ISBN=4180564246） 絶版ですが、明治図書ブックストア「復刊投票」から入手可能。 https://www.meijitosho.co.jp/fukkan/ ・「話す力、書く力、つなぐ力」を育てる－自律的に学ぶ子どもを育てる「奈良の学習法」－（奈良女子大学附属小学校学習研究会／明治図書出版／¥2,783／ISBN=9784181817282） 絶版ですが、明治図書ブックストア「復刊投票」から入手可能。 https://www.meijitosho.co.jp/fukkan/ 奈良女附小HPから購入申込みも可能。 https://www.nara-wu.ac.jp/fusyo/publication/index.html ・個と歩む―くらしをつくる子どもとともに―（富山市立堀川小学校／明治図書出版／¥3,047／ISBN=4182625153） 絶版ですが、明治図書ブックストア「復刊投票」から入手可能。 https://www.meijitosho.co.jp/fukkan/ ・個が深まる学び（上田薫・静岡市立安東小学校／明治図書出版／¥2,387／ISBN=418277809） 絶版ですが、明治図書ブックストア「復刊投票」から入手可能。 https://www.meijitosho.co.jp/fukkan/

科目コード	2694514	**授業概要**	**【授業内容】** この授業はカウンセリングに必要な基礎的な知識とスキルを学ぶことが目的です。カウンセラーを養成するものではなく、対人援助職やサービス業を含めた、仕事上での対象者への関わり方や職場の人間関係、また日常の人間関係にも活用できることを目的に、カウンセリングの専門スキルをわかりやすく説明していきます。また２日目の午後は、非言語的なアプローチである「コラージュ療法」の演習を行い、心理療法への理解をさらに深めていきます。 **【到達目標】** カウンセリングの基礎知識とカウンセリングの基礎的な面接スキル、およびカウンセラーに求められる態度・姿勢を身に付けることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 カウンセリングの基礎 第2回 カウンセリング技法①：雰囲気づくり 第3回 カウンセリング技法②：質問技法 第4回 カウンセリング技法③：反映技法 第5回 カウンセリング技法④：支持技法1 第6回 カウンセリング技法⑤：支持技法2 第7回 コラージュ療法1 第8回 コラージュ療法2 **【学生へのメッセージ】** カウンセリングの基礎理論と技法をできるだけわかりやすく解説し、仕事や日々の人間関係に活かせるような授業を行っていきます。また演習形式の授業ですので、積極的な姿勢で取り組むことを望みます。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価はレポートの評点により行います。
学習センター	長野学習センター		
学習センターコード	20A		
クラスコード	K		
科目名	**臨床心理学実習**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	コンドウ　タカシ 近藤　孝司 日本大学教授		
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 12月20日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	長野学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** コラージュ療法の演習を行うため、以下のものを用意してください。 ①カラーの写真・絵の載った不要な雑誌２～３冊（写真・絵を切り抜くので捨ててもよいもの） ②はさみ ③のり ※２日目に使用します。１日目に持参する必要はありません。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・ロジャーズ クライエント中心療法 新版　ーカウンセリングの核心を学ぶー（佐治守夫・飯森喜一郎編／有斐閣／¥1,650／ISBN=9784641173767） ・プロカウンセラーの聞く技術（東山紘久／創元社／¥1,540／ISBN=9784422112572） ・新しいカウンセリングの技法: カウンセリングのプロセスと具体的な進め方（諸富祥彦／誠信書房／¥2,310／ISBN=9784414403756） **【その他（特記事項）】** 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2694654	授業概要	**【授業内容】** 本授業では、フランス文学を食文化という視点から読み解き、文学と社会・文化との関係を考察します。フランスにおいて食は、階級意識や価値観、美意識と結びついた重要な文化的要素として発展してきました。作家たちは食事や料理、飲み物の描写を通して、時代精神や人間関係、社会構造を表現してきました。本授業ではグリモやブリア＝サヴァランによる食文化エッセイから、近現代文学における食の描写まで幅広く検討し、文学作品における飲食の表象が何を語っているのかを読み解いていきます。 **【到達目標】** フランス文学に描かれた飲食表象を読解して理解し、それらが文化や社会とどのように関わるかを考察できるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 ガイダンス 第2回 フランスの食文化の歴史的変遷 第3回 近代の食文化エッセイ：グリモとブリア＝サヴァラン 第4回 18世紀文学における飲食表象 第5回 19世紀文学における飲食表象 第6回 20世紀文学における飲食表象 第7回 21世紀文学における飲食表象 第8回 授業内容の総括と議論 **【学生へのメッセージ】** 本授業では、飲食表象を手がかりにフランス文学の多様性を探ります。料理や食卓の描写には時代背景や人間関係、作家の価値観が凝縮されています。予備知識は不要ですので、読む楽しさと考える力を深めてください。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	長野学習センター		
学習センターコード	20A		
クラスコード	K		
科目名	**食文化から読む フランス文学**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	310		
定員	42名		
担当講師	カマダ　タカユキ 鎌田　隆行 信州大学教授		
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	長野学習センター		**【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2694662	授業概要	**【授業内容】** 仏教は、人間の心をどのように捉え、分析してきたのでしょうか。言葉は執着を生み出す一方で、真理への橋渡しをするものであるとはどういうことなのでしょうか。この授業では、ブッダの教えを出発点として、大乗仏教に至る思想史的展開をたどりながら、心と言語をめぐる仏教の基本的な考え方を解説します。 **【到達目標】** 仏教における心の分析と言語哲学のポイントを理解し、自分なりの言葉で説明することができるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 ブッダの生涯とその教え 第2回 ブッダが説く心の分析 第3回『般若心経』が説く空の世界 第4回 ナーガールジュナの言語批判 第5回 唯識思想における心の分析 第6回 心と言葉―三性説 第7回 仏教の言語哲学－アポーハ論 第8回 慈悲と説法／授業のまとめ **【学生へのメッセージ】** 仏教哲学を中心に解説します。信仰のありかたや実践の方法についてはお答えすることはできません。 **【受講前の準備学習等】** インド仏教の歴史について、予習をしておいてください。特に「唯識思想」についてある程度、自分で関連する書籍などを読んでおくと理解が容易になります。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	長野学習センター		
学習センターコード	20A		
クラスコード	K		
科目名	**仏教における心と言葉**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	42名		
担当講師	モリヤマ　シンヤ 護山　真也 信州大学教授／ 放送大学長野学習センター客員教授		
日程 実施時間	12月5日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 12月6日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	長野学習センター		**【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・『インド仏教の歴史　「覚り」と「空」』（竹村牧男／講談社／¥1,375／ISBN=9784061596382） ・『インド人の論理学　問答法から帰納法へ』（桂紹隆／法蔵館／¥1,430／ISBN=9784831826183） ・『唯識の思想』（横山紘一／講談社／¥1,430／ISBN=9784062923583）

科目コード	2694590	**授業概要**	**【授業内容】** 現実空間と仮想空間を融合した社会（Society 5.0）がいよいよ現実のものとなり、ビッグデータやAIが積極的に利活用されています。本科目では、数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアムが発表したモデルカリキュラムにおけるリテラシーレベルで扱われている内容を中心に、長野県内での利活用の事例も取り上げつつ、全ての大学・高専生を対象にしたリテラシーレベルの素養を身につけるための学習を行います。授業では、オープンエンドな問いに対して複数名で解決するグループワークも取り入れながら、データ・AI利活用の重要性を概観します。 **【到達目標】** データ・AI利活用の重要性を理解し、データサイエンスの見方・考え方に沿ってさまざまな情報を捉えることができるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 データ・AI利活用の重要性 第2回 デジタルトランスフォーメーション（DX）の実現 第3回 生成AIの利活用 第4回 データ・AI利活用における留意事項 第5回 AI・機械学習・深層学習（ディープラーニング） 第6回 データの可視化 第7回 さまざまなデータ解析 第8回 まとめと今後の展望 **【学生へのメッセージ】** リテラシーレベルの内容を網羅的に扱うため、知識の習得が中心となります。授業中に実施するオープンエンドな問いに対するグループワークなどを通じて、その習得を確実にできるよう工夫します。 **【受講前の準備学習等】** 教科書を受講前に読んでおくと、授業内容を理解しやすくなります。目を通しておいてください。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	長野学習センター		
学習センターコード	20A		
クラスコード	K		
科目名	**データ・AI利活用の最新動向**		
科目区分	専門科目：情報		
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	ヒライ　ユウキ 平井　佑樹 信州大学准教授		
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 12月13日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	長野学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** パソコンがあると、講義資料や参考資料の閲覧に役立つ場合がありますので、用意できる人は持参してください。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 **【教科書】** ・教養としてのデータサイエンス（改訂第２版）（北川源四郎、竹村彰通（編）／講談社／¥1,980／ISBN=9784065379394）

科目コード	2694670	**授業概要**	**【授業内容】** **----------** **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** **【受講前の準備学習等】** **【受講者が当日用意するもの】** **【その他（特記事項）】** **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** **----------** この授業では、植物生態学に関する講義と実習を行います。（1）広域的な植生分布と森林の生産量に関して講義を行います。その後は、実習形式で、日本全国の森林の種数と気候条件の関係、森林の生産量について実際のデータを使って解析することで、講義内容の理解を深めます。（2）植物は葉で光合成をして成長しますが、植物はいかに効率よく葉を形作り、配置しているのかを解析します。 **【到達目標】** 以下のことを説明できるようになる。 ・植生分布と種数の気候との関係 ・森林の生産量の計算の仕方 ・葉の形態と配置の光獲得との関係 **【授業テーマ】** 第1回 植生分布（講義） 第2回 緯度傾度にそった種多様性のパターン（講義） 第3回 温量指数 第4回 日本の樹木の種多様性 第5回 葉の形態と配置 - 自己被陰の回避 Ⅰ 第6回 葉の形態と配置 - 自己被陰の回避 Ⅱ 第7回 森林の生産量 Ⅰ 第8回 森林の生産量 Ⅱ **【学生へのメッセージ】** 生態学は非常に広い学問分野ですので、この授業では、生態学の一部だけ扱います。植生分布、種多様性、森林の生産量、植物個体の葉の形態と配置に関して、講義と実習形式で理解を深めます。実習では表計算ソフトを使って解析します。 **【受講前の準備学習等】** 1. インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 2. OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 3. PCと表計算ソフトの基本操作は習得済みとして実習を行います。 4. シラバスの内容から判断して、ご自身で学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
学習センター	長野学習センター		
学習センターコード	20A		
クラスコード	K		
科目名	**表計算ソフトで学ぶ植物生態**		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	タカハシ　コウイチ 高橋　耕一 信州大学教授		
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月29日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	長野学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可です）。 2. OSの指定 Windows11 または MacOS が必要です。 3. ソフトのインストール ・ブラウザを使用しますが種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。 ・文書作成ソフトが必要です。WordやGoogleドキュメント等種類は問いません。 ・表計算ソフトが必要です。Excel や Google スプレッドシート等種類は問いません。 ・資料はPDFで提供する場合がありますので、Acrobat Readerをインストールしておいてください。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【その他（特記事項）】** 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2694689
学習センター	長野学習センター
学習センターコード	20A
クラスコード	K
科目名	**自然体験活動における理論と実践**
科目区分	総合科目
ナンバリング	420
定員	42名
担当講師	フルヤ　ケンイチ 古屋　顯一 信州大学特任教授／ 放送大学長野学習センター客員教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～17:00 12月20日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　13:50～15:20 第４時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	長野学習センター

授業概要

【授業内容】
われわれ人間は、いわゆる自然という環境からたくさんの恩恵を受けています。そのことが自然環境にとって、また人間にとってどのような意味を持つのでしょうか。この講義では、自然環境に入っていくための知識や技術について学び、自然環境に対してローインパクトな関わり方を理解するとともに、問題発見・問題解決能力を身に付けることを狙いとしています。
【到達目標】
自然環境に入っていくための知識や技術について理解し、自然体験を安全に活動できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 授業の概要説明と野外ゲームについて
第2回 自然体験に必要な用具の知識と実践について
第3回 読図とコンパスワークについて
第4回 危険な動植物・応急処置について
第5回 ロープワークについて
第6回 テント設営と撤収について
第7回 観天望気と気象予測について
第8回 自然に深く入るための考え方とまとめについて
【学生へのメッセージ】
自然や野外活動に多少でも興味のある学生の受講を期待しています。経験不問。
【受講前の準備学習等】
受講にあたり、ご自身の興味のある野外活動について調べてみてください。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】
この科目は所属コースのコース科目に該当します。
私は、野外教育が専門分野です。野外活動に興味がある受講生を待っています。

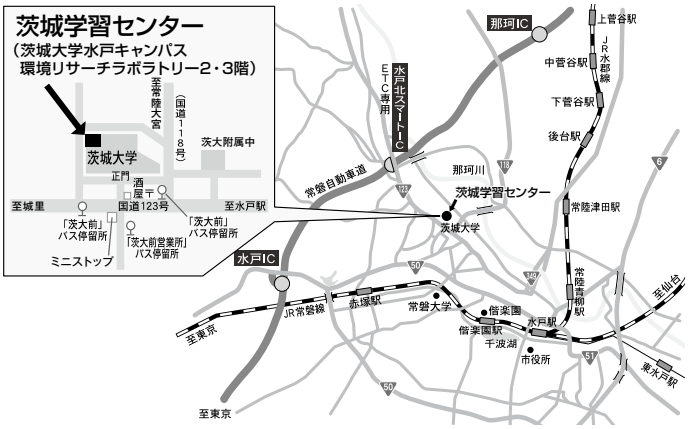
[学習センター・サテライトスペース案内図]

月曜及び火曜（時期により変更の可能性あり）、祝日、年末年始、及び臨時閉所時は利用できません。

茨城学習センター

029-228-0683
FAX 029-228-0685
〒310-0056　水戸市文京2-1-1（茨城大学構内）

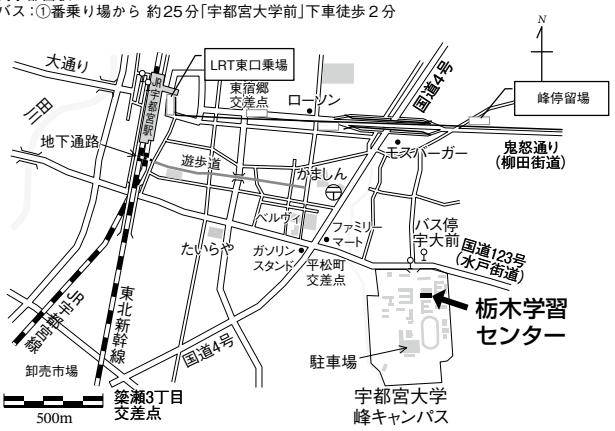
■水戸駅北口からバス約30分
　バスターミナル⑦番栄町経由茨大前行「茨大前」下車徒歩５分
■水戸ICから車約20分　■那珂ICから車約20分
■水戸北スマートIC（※ETC専用）から車約10分



栃木学習センター

028-632-0572
FAX 028-632-0570
〒321-0943　宇都宮市峰町350（宇都宮大学峰キャンパス内）

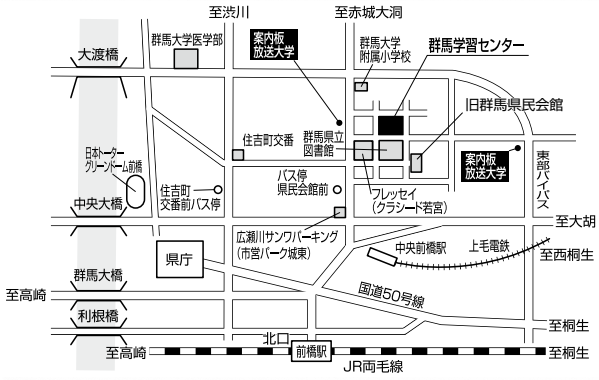
■JR宇都宮駅
　○徒歩（東口から）約30分（約2.2km）
　○バス：西口⑭番乗り場から約15分「宇都宮大学前」下車徒歩２分
　　：東口③番乗場からベルモール行 約10分「宇都宮大学前」下車徒歩２分
　○LRT（路面電車）宇都宮駅東口乗場から約５分「峰停留場」下車徒歩10分
■東武宇都宮駅
　○バス：①番乗り場から 約25分「宇都宮大学前」下車徒歩２分



群馬学習センター

027-230-1085
FAX 027-230-1094
〒371-0032　前橋市若宮町1-13-2

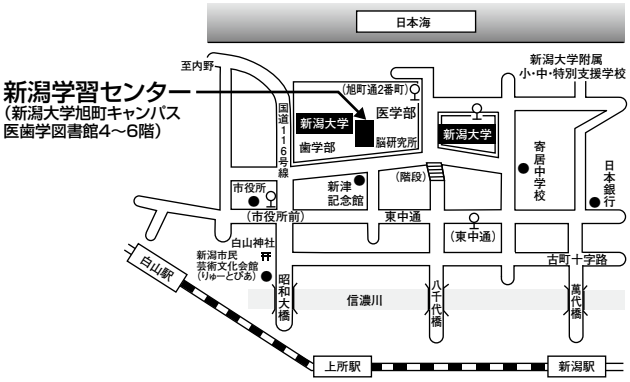
■JR前橋駅北口から徒歩30分
■上毛電鉄中央前橋駅から徒歩15分
■JR前橋駅北口からバス８分
　県民会館前下車徒歩５分，住吉町交番前下車徒歩８分



新潟学習センター

025-228-2651
FAX 025-228-2582
〒951-8122　新潟市中央区旭町通1番町754（新潟大学旭町地区内）

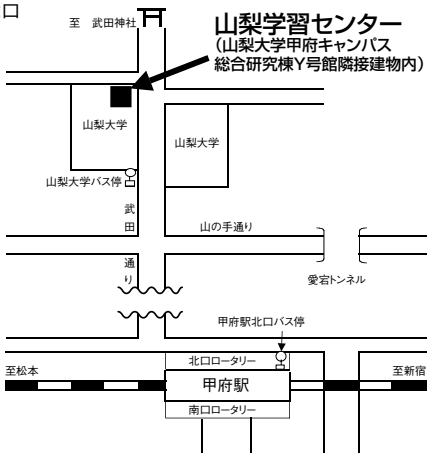
■新潟駅バスターミナル９番乗り場から「浜浦町線」に乗車（約15分）「旭町通２番町」で下車徒歩約５分、往路のみ
■新潟駅バスターミナル7番乗り場「西小針線」または８番乗り場「信濃町線」に乗車（約15分）「市役所前」下車　徒歩約10分



山梨学習センター

055-251-2238
FAX 055-251-2193
〒400-0016　甲府市武田4-4-37（山梨大学甲府キャンパス内）

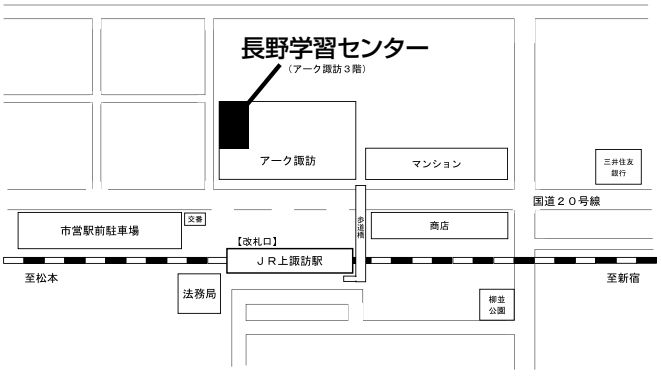
■JR中央本線「甲府駅」北口から徒歩20分
■甲府駅北口２番バス停から武田神社
　または積翠寺行バスで「山梨大学」下車
　（所要時間５分）



長野学習センター

0266-58-2332
FAX 0266-57-1135
〒392-0004　諏訪市諏訪1-6-1（アーク諏訪3階）

■JR中央本（東）線上諏訪駅
　下車徒歩3分



年　月　日

年度　第　　学期
(＿＿＿＿学習センター／サテライトスペース 開設科目)追加登録申請書

学生番号				－							－	

フリガナ 氏名		所属学習センター	
連絡先	〒　－	電話：　（　）	
		メール：	

一度登録した科目の変更・取消、授業料の返還はできませんので、あらかじめご了承ください。

希望	科目コード	クラス	科目名	第１回目の日程
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

〇複数の学習センターへ申請する場合は本申請書をコピーするか、面接授業ウェブサイト>「追加登録」について
　から申請書をダウンロードしてください。

〇提出前に必ずコピーをとり保管しておいてください。

備考

